

# 地域運営学校 活動事例集



令和3年度（2021年度）

八王子市教育委員会



## 目次

### 掲載校一覧

第一小学校	1	式分方小学校	29
第二小学校	2	横川小学校・横川中学校	30
第三小学校	3	恩方第一小学校	31
第四小学校	4	恩方第二小学校	32
第五小学校	5	元木小学校	33
第七小学校	6	川口小学校	34
第八小学校	7	陶鎔小学校	35
第九小学校	8	上川口小学校	36
第十小学校	9	美山小学校	37
中野北小学校	10	檜原小学校	38
清水小学校	11	松枝小学校	39
大和田小学校	12	加住小中学校	40
小宮小学校	13	由井第一小学校	41
高倉小学校	14	由井第二小学校	42
宇津木台小学校	15	由井第三小学校	43
横山第一小学校	16	長沼小学校	44
横山第二小学校	17	片倉台小学校	45
散田小学校	18	高嶺小学校	46
長房小学校	19	みなみ野小中学校	47
船田小学校	20	みなみ野君田小学校	48
館小中学校	21	七国小学校・七国中学校	49
山田小学校	22	浅川小学校	50
櫛田小学校	23	東浅川小学校	51
緑が丘小学校	24	由木中央小学校	52
元八王子小学校	25	由木東小学校	53
元八王子東小学校	26	由木西小学校	54
上壱分方小学校	27	鹿島小学校	55
城山小学校	28	松が谷小学校	56

## 掲載校一覧

中山小学校	57	恩方中学校	85
柏木小学校	58	川口中学校	86
南大沢小学校	59	檜原中学校	87
宮上小学校	60	由井中学校	88
秋葉台小学校	61	打越中学校	89
別所小学校	62	浅川中学校	90
愛宕小学校	63	陵南中学校	91
松木小学校	64	由木中学校	92
下柚木小学校	65	松が谷中学校	93
上柚木小学校	66	中山中学校	94
長池小学校	67	南大沢中学校	95
鑓水小学校	68	宮上中学校	96
高尾山学園	69	別所中学校	97
第一中学校	70	上柚木中学校	98
第二中学校	71	松木中学校	99
第四中学校	72	鑓水中学校	100
第五中学校	73	いずみの森義務教育学校	101
第六中学校	74		
第七中学校	75		
ひよどり山中学校	76		
甲ノ原中学校	77		
石川中学校	78		
横山中学校	79		
長房中学校	80		
櫛田中学校	81		
元八王子中学校	82		
四谷中学校	83		
城山中学校	84		

# 掲載内容一覧

No.	学校名	設置 年度	熟 議	支 援			
			基本方針に関する こと等	学校活動支援		学校を拠点とした地域活動	
				学習支援	学習支援以外	参加型	企画
1	第一小学校	29	○	○			
2	第二小学校	25	○	○		○	○
3	第三小学校	30	○	○			
4	第四小学校	28	○	○		○	○
5	第五小学校	26		○	○		
6	第七小学校	22	○	○	○		
7	第八小学校	31	○	○	○		
8	第九小学校	28		○	○		
9	第十小学校	30	○	○		○	○
10	中野北小学校	28		○	○		
11	清水小学校	26	○	○			
12	大和田小学校	29	○	○	○	○	○
13	小宮小学校	28		○			
14	高倉小学校	25		○	○		
15	宇津木台小学校	26		○	○		
16	横山第一小学校	24		○	○	○	○
17	横山第二小学校	29	○	○	○		
18	散田小学校	28		○			
19	長房小学校	23		○	○		
20	船田小学校	31	○	○			
21	館小中学校	22		○		○	○
22	山田小学校	28	○	○		○	○
23	栢田小学校	21	○	○		○	○
24	緑が丘小学校	27	○	○			
25	元八王子小学校	29	○	○	○		
26	元八王子東小学校	29		○	○		
27	上菅分方小学校	29	○	○			
28	城山小学校	29	○	○	○	○	○
29	式分方小学校	26		○		○	○
30	横川小学校・横川中学校	29		○		○	○
31	恩方第一小学校	29	○	○		○	○
32	恩方第二小学校	29	○	○		○	○
33	元木小学校	29		○	○		
34	川口小学校	31		○		○	○
35	陶鎔小学校	20		○	○		
36	上川口小学校	24		○		○	○
37	美山小学校	31	○	○	○	○	○
38	檜原小学校	29	○	○	○	○	○
39	松枝小学校	30		○	○	○	○
40	加住小中学校	22	○	○	○	○	○
41	由井第一小学校	30		○	○	○	○
42	由井第二小学校	29		○	○		
43	由井第三小学校	26			○		
44	長沼小学校	27	○	○	○		
45	片倉台小学校	29	○	○		○	○
46	高嶺小学校	25		○			
47	みなみ野小中学校	30	○	○	○	○	○
48	みなみ野君田小学校	30	○	○		○	○
49	七国小学校・七国中学校	31	○	○	○		
50	浅川小学校	20			○	○	○
51	東浅川小学校	19		○	○		
52	由木中央小学校	29	○	○		○	○
53	由木東小学校	29	○	○	○		
54	由木西小学校	27	○		○	○	○

# 掲載内容一覧

No.	学校名	設置 年度	熟 議	支 援			
			基本方針に関する こと等	学校活動支援		学校を拠点とした地域活動	
				学習支援	学習支援以外	参加型	企画
55	鹿島小学校	29	○	○	○		
56	松が谷小学校	29	○	○		○	○
57	中山小学校	21		○	○		
58	柏木小学校	23		○	○	○	○
59	南大沢小学校	23		○	○		
60	宮上小学校	21	○	○	○		
61	秋葉台小学校	30		○		○	○
62	別所小学校	30		○			
63	愛宕小学校	22		○		○	○
64	松木小学校	23	○	○	○	○	○
65	下柚木小学校	21		○	○		
66	上柚木小学校	29	○	○	○		
67	長池小学校	23	○	○	○	○	○
68	鎌水小学校	29	○	○	○		
69	高尾山学園	27	○	○		○	○
70	第一中学校	21	○	○		○	○
71	第二中学校	30		○		○	○
72	第四中学校	30	○	○	○		
73	第五中学校	29	○	○	○		
74	第六中学校	19	○	○		○	○
75	第七中学校	29		○	○		
76	ひよどり山中学校	25		○	○	○	○
77	甲ノ原中学校	29		○		○	○
78	石川中学校	29	○	○			
79	横山中学校	26		○		○	○
80	長房中学校	29		○			
81	桐田中学校	27	○	○	○		
82	元八王子中学校	20	○	○	○		
83	四谷中学校	31	○	○			
84	城山中学校	20			○	○	○
85	恩方中学校	24	○	○			
86	川口中学校	26		○		○	○
87	檜原中学校	30	○	○			
88	由井中学校	25	○	○		○	○
89	打越中学校	29	○	○		○	○
90	浅川中学校	22	○	○	○		
91	陵南中学校	21		○	○		
92	由木中学校	24	○	○			
93	松が谷中学校	29	○		○		
94	中山中学校	25		○		○	○
95	南大沢中学校	23		○	○	○	
96	宮上中学校	19		○	○		
97	別所中学校	31	○	○			
98	上柚木中学校	29		○	○		
99	松木中学校	22		○			○
100	鎌水中学校	29		○		○	○
101	いずみの森義務教育学校	29		○		○	○

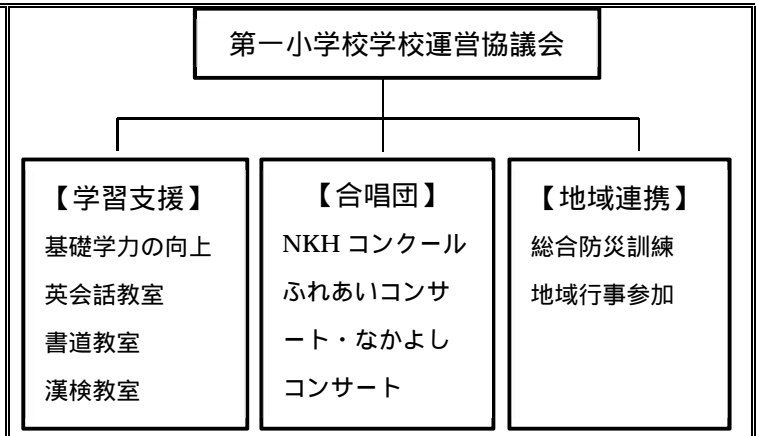
この一覧は本事例集に掲載されている事業のみについてであり、学校の全ての活動を表しているものではありません。

【凡例】

熟議		基本方針に関する事	教育基本方針について協議が行われている場合
支援	学校活動支援	学習支援	学習支援、体験学習、図書ボランティア、漢検・英検
		学習支援以外	安全ボランティア、通学路点検、保護者サロン、放課後子ども教室、学校農園、広報活動等
	学校を拠点とした地域活動	参加型 企画	地域防災訓練、地域清掃等 地域活動の企画

## 活動の目的・概要

○本校の教育方針である「地域で育ち、地域に生きる子の育成」をめざし、学力向上や体力向上、地域連携など、様々な視点から地域に根付いた教育活動について熟議を重ねている。また、年間行動目標を「学校支援活動の推進」とし、学校の応援団として、保護者や地域住民が協力して多様な活動を行う仕組みを構築している。



## 活動の特徴・工夫

### 放課後学習支援

平成29年度から毎週水曜日の放課後に、多目的室を利用して放課後学習支援を実施している。地域の方や保護者の方々に学習アドバイザーとして協力していただき、基礎学力の定着に向けた取組を行っている。また、週ごとに「英会話教室」「書道教室」「漢検教室」を実施し、児童の興味・関心を高め、学習意欲の向上や達成感の充実が図れる取組も行っている。活動後には毎回振り返りを行い、反省点や良かった点など、次回への申し送りをノートに記録し教職員と共有できる工夫をしている。昨年度はコロナ感染症予防のために、保護者会の時にしか実施できなかったが、今後も支援を続けていく。

### ○合唱団支援

八王子市立第一小学校には合唱団がある。合唱団を学校づくりに生かしている歴史のある唯一の学校であり、わかっているだけでも40年以上の歴史がある。現在は4年生から6年生、47名の有志で朝練習（午前7時45分～8時15分）と土曜日練習（午前9時から12時）を中心に仲良く活動をしている。最近はコロナ禍で発表の場が少なくなったが、「NHK 全国学校音楽コンクール」への参加を始め、学校行事や地域のお祭り、小中連携で行われる青少対主催の「ふれあいコンサート」など例年7回程度の演奏活動をしている。特に、いちょうホールで行われる「ふれあいコンサート」では、地域の方からたくさんの温かいお言葉をいただき、子供の励みになっている。また、夏のコンクールの前は講師の先生をお招きし、一流の演奏を学ぶ機会を設けている。これまでの子供たちの努力はもとより、保護者の皆様のご協力、地域の皆様の応援、そして学校教職員の日ごろの教育活動の成果であり、温かい愛情に支えられての活動だと感じている。これからも子供の心の高鳴りを歌声にのせて、皆と創り上げる喜びを味わいながら活動を続けていきたい。



## 活動の目的・概要

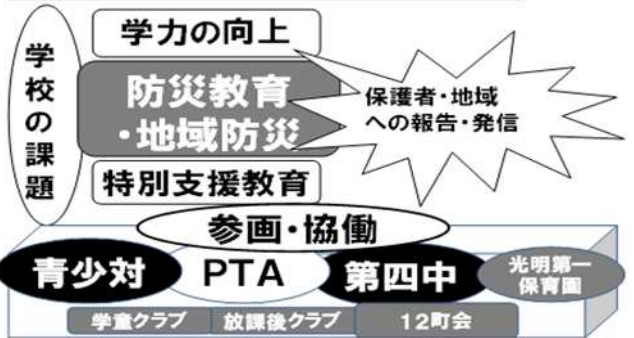
学校教育目標(よく学び考える子、思いやりがありやりぬく子、明るく元気な子)、学校経営方針の具現化を目指し、児童にとり安心・安全で居場所となる学校づくりを実現する。

「地域に学び共に生きる」をスローガンとし、保護者も地域も教職員も誇れる学校づくりを実現する。

地域と学校との絆を土台にして、地域・保護者と共に歩みさらに成長していく学校づくりを実現する。

保護者や地域と連携した学校づくりを推進する。  
保護者や地域の参画による学校の活性化を図る。  
「地域の子どもは地域で育てる」。学校・保護者・地域が連携し、児童の健全育成に努める。

## 学校運営協議会の取り組み



## 活動の特徴・工夫

## &lt;地域の力を生かした学校づくりの推進&gt;

## 本校の教育活動のさらなる推進

地域の参画による学校運営を推進し、地域の幅広いネットワークを活かした教育活動を推進。

教育課程の適正実施・基礎基本を重視した指導方法・更なる充実を目指した学校行事の精選・児童の安全を最優先にした学校施設の検討等について意見交換を実施。

第二小学校がある町を知り地域の方々との交流を通して地域を愛する心を育てる学習

日光ウォッチング

(信松院、産千代神社、興岳寺)

戦争のあった頃のお話

地域探検、商店街見学

甲州街道に絵を飾ろう

琴体験 等



## 学びを支える環境づくり

花いっぱい为学校(「児童一人一人の心にきれいな花を咲かせよう」)。学校運営協議会委員と地域住民等の連携。中庭や学級園に苗や球根の植栽活動実施。卒業式や入学式に向け、児童の門出を祝い、児童の学校生活を見守る。

## 基礎学力アップ丸つけ大作戦

児童一人一人に確かな学力定着。学校運営協議会委員や地域の方と教員が協力。2～6学年を対象に国語・算数を中心とした放課後の補習学習や添削実施。

## 地域の力を高める学校づくり

地域(12町会)、八王子市(防災課・施設管理課)、八王子消防署・消防団、第四中学校、光明第一保育園等と連携した学校地域合同防災訓練実施。

## 義務教育学校としてのスタート

令和9年度義務教育学校として開校予定(第二小学校と第四中学校合併)。令和2年度・3年度「中学校区における授業連携の在り方について～小中相互の共通理解に焦点をあてて～」を研修主題とし、第二小学校と第四中学校の小中一貫教育推進を図る義務教育学校開校に向けた「新しい学校」を構想・実現するための研究指定校として取り組む。

学校運営協議会の様子

教職員との顔合わせ

お箏体験

中学生ボランティア

シルクドソレイユの元パフォーマーとの交流会。

## &lt;学びを止めない！&gt;

## コロナ禍における特徴的な取組

運動会、学校公開(オンライン)、全校朝会、安全指導、児童集会等、「オンライン配信」を活用した取組。

学校説明会・新入学児童保護者説明会も「オンライン配信」対応。





## 活動の目的・概要

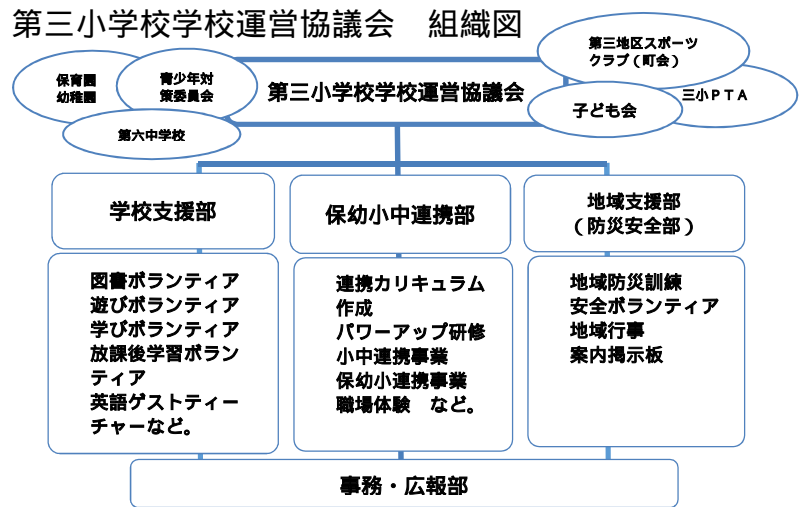
教育目標の『やさしく(徳...品格)・かしこく(知...教養)・たくましく(体...壮健)』を達成するために、学校運営協議会の運営目標の一つである「学運協の学校とともに家庭・地域・社会が連携した学校づくり」を推進している。

地域の人材を活用し、教育活動の充実を図っている。

いつでも話のできる大人がいる環境を整備している。

低学年に英語の授業を取り入れ、6年間を通して外国語に触れる機会を設け、学力の向上を図っている。

## 第三小学校学校運営協議会 組織図



## 活動の特徴・工夫

### こっこや

平成30年度から毎週木曜日、COCCOの皆さんに憩いの部屋で「こっこや」を開催していただいている。COCCOは、第三小学校を卒業した児童の保護者で組織されており、こっこやの目的は、いつでも話ができる大人が学校にはいるという環境を整えていくことである。低学年・中学年・高学年の各階を1週ごと回り、それぞれの学年にあった遊べるものを用意していただいている。扉が開くのを待ちきれないで、こっこやの部屋の前に並んでいる様子が見られるぐらい、楽しみにしている児童がたくさんいる。毎週のこっこやの活動後は、連絡ノートでその日の様子をCOCCOと学校が共有している。担任では分からない児童の様子やつぶやきを知ることができ、児童の理解にもつながっている。



### 低学年の英語の学習

地域の方に来ていただき、低学年で英語の学習を行っている。体を使ったコミュニケーションやペアによる会話など、楽しみながら英語に触れている。笑顔があふれ、元気いっぱい声が、教室に響き渡っている。

中学年、高学年に向けた外国語活動や英語の基礎となる活動になっている。



第三小学校は、地域・保護者の皆様との活動を通して、子どもたちの笑顔があふれる地域運営学校として、これからも地域と手をつなぎ、地域の大人がそばにいるのが当たり前の活動をさらに広げていきます。すべては子どもたちのために！

## 活動の目的・概要

四小の学校教育目標である「すすんで学びよく考える子・心豊かでみんなのために働く子・健康でいのちを大切にできる子」を、学校・保護者・地域の連携と協働で達成していく。「自立・共生・貢献」をテーマに熟議を重ね、「人・物・時間に対するあたりまえ」ができる児童の育成を図る。

学校運営協議会は、「学力向上」「地域連携」「環境美化」「記録広報」の4つの分科会を柱とし、未来を担う子どもたちの健やかな育成のために、学校・保護者・地域・関係機関が一体となって、学校支援活動を行い、社会に開かれた学校教育を行う。

### 第四小学校学校運営協議会

#### 学力向上部

- 夏休み学習支援
- 漢字検定

#### 地域連携部

- 地域防災総合訓練
- 図上訓練
- 地域施設との連携

#### 環境美化部

- 花植活動
- 学校環境美化活動

#### 記録広報部

- 運営協議会の記録
- 広報誌発行年2回

## 活動の特徴・工夫

### 「学力向上部」の取組・・・『夏休みパワーアップ教室』・『漢字検定』

学力向上部では、児童の基礎学力の定着を図るため熟議を重ね、夏季休業中の学習支援として『夏休みパワーアップ教室』を開設している。学習ボランティアとして、大学生や中学校の生徒が、東京ベーシックドリル等を活用し、個別に指導にあっている。毎年1月には『漢字検定』の実施に伴い、四小における会場運営にボランティアとして保護者に関わっていただいている。次年度の開催に向けて準備を進めている。



### 「地域連携部」の取組・・・『総合防災訓練』・『図上訓練』

毎年4月に保護者・地域・消防署等が連携して、児童の『総合防災訓練』に取り組み、消火体験などの様々な活動を通して、自助・共助・公助の大切さを学び、防災意識を高めている。また、『図上訓練』に参加し、地域の一員としてできることや、町会と連携して支援のあり方等を熟議している。



### 「環境美化部」・・・『街路樹植え込みへの花植活動』・『学校校舎内外の美化活動』・『芝生の手入れ』

『街路樹植え込み』の活動では、住んでいる地域の花植えや整備を地域の方と一緒にいき、環境づくりを行うことで、地域の方との絆を深めている。『学校校舎内外の美化活動』では、児童・保護者・地域が公園の花植えや花壇整備、学校の除草、剪定や清掃活動等を行い、環境美化を一体となって取り組んでいる。『芝生の手入れ』は、地域の方が中心となって活動と呼びかけ、芝生の管理を行っている。また放課後の校舎の消毒作業を行っている。



『記録広報部』・・・広報を年2回発行すると共に、四小のホームページにも掲載し、地域や保護者に向けて運営目標や活動等の情報を提供している。

『放課後子ども教室』・・・週に3回、放課後の校庭遊びの見守りを行う。学習アドバイザーを置き、放課後の補習支援を行う。

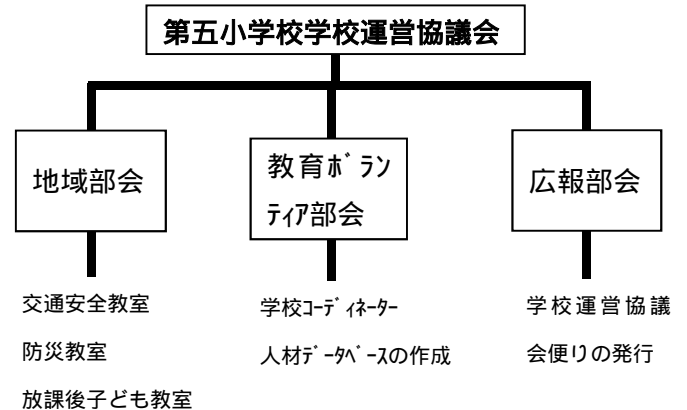


『児童の見守り活動』・・・月に数回、児童の学校活動の見守りをし、教職員と情報共有を行うことで児童に幅広い支援を行う。

## 活動の目的・概要

学校、家庭、地域の教育力を生かし、地域に根差したよりよい学校づくりを進めていくとともに、地域と連携しながら、子どもたちの心身ともの健やかさ、豊かな心を育む。

教育ボランティアの充実と活用により、確かな学力の向上を図る。



## 活動の特徴・工夫

### 放課後子ども教室

長年続いている本校の放課後子ども教室は、4～9月は午後5時まで、11～3月は午後4時まで、土日祝日を除くほぼ毎日実施している。長期休業中も実施しており、子どもたちの放課後の居場所が広がっている。

校庭での活動が主であり、雨天時や校庭が使用できない場合は、プレイルームで実施している。開放員の方々は地域の方で構成されており、「おじちゃん」「おばちゃん」と子どもたちも親しげに挨拶や話をする関係が築かれている。開放員の方々も温かく接してくださっているが、注意すべきことはきちんと指導してくださり、まさに地域と一緒に五小っ子を育てている。



### 伝統文化

「日本の伝統文化を知ろう」では、能やお囃子などの体験を行った。能体験では能楽師観世流シテ方の林宗一郎さんをお招きし、舞や謡について教えていただいた。子供たちは日本の伝統文化の表現のおもしろさや多様性に気付くとともに、和装の立ち居振る舞いについても学んだ。

また、お囃子体験では、八王子祭りで活躍されている地元のお囃子の方をお招きし、教えていただいた。八王子の伝統文化を知る機会となり、地元への興味関心が広がった。

これらの文化体験を通じて、日本の伝統文化の豊かさを知るとともに、日本の伝統文化が世界にも広まっていることを知り、児童が日本人としての自覚や誇りをもつことにつながった。



## 活動の目的・概要

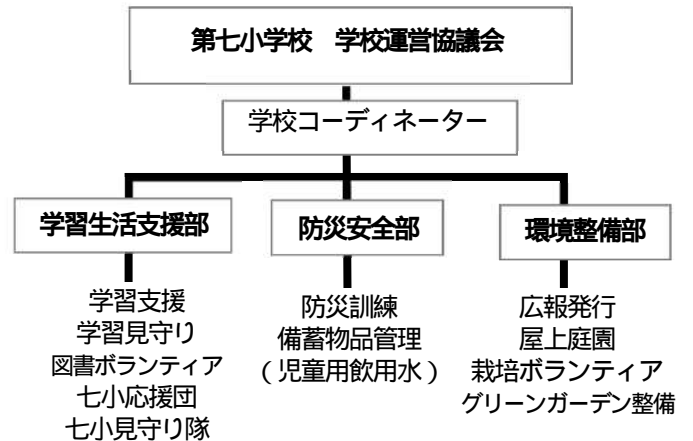
教育目標の「進んで学び、協力して責任を果たし、健康で心豊かな子どもの育成」を達成し、地域の将来を担う子どもたちを育成するために、地域運営学校として、地域との連携の充実を図る。

### ○安全・安心な学校づくりを推進する。

児童の学力の定着及び向上を目指す。

学校と地域とのパートナーシップの確立を目指し、地域がともに手を携えて教育活動の質的向上を支援する。

学校・地域・保護者が協働し多様な学校支援活動を構築していく。



## 活動の特徴・工夫

### 七小応援団・七小見守り隊（安全ボランティア）

「七小応援団」「七小見守り隊（安全ボランティア）」として組織を作り、地域の支援者の輪を広げ、保護者や地域の方の協力を得ながら、学校支援活動を展開している。

- ・登下校の見守り活動
- ・学習支援、教室での学びの個別支援や児童の学習補助への協力
- ・放課後算数教室：算数の苦手な児童を対象に放課後補習を実施  
第3学年以上の児童を中心に補習支援を行い、算数の苦手軽減に努めている。
- ・放課後子ども教室：放課後の安心、安全な児童の居場所を提供  
コロナ感染予防対策を徹底し、可能な限りの日程で実施。  
(地域の有志の方に学習アドバイザーとして参加いただく)

### 図書ボランティア

- ・朝読書の時間を利用し、読み聞かせを実施
- ・地域学習として昔話りの会の方々による高尾山や八王子のお話の会を実施

### ○園芸ボランティアとの協働による「花育」支援

- ・学級園の整備
- ・中庭（グリーンガーデン）プランターの整備
- ・屋上庭園の整備：ブルーベリーの収穫等
- ・栽培委員会の時間に参加し、子どもたちの活動を支援

### 地域防災（七小セーフガード）

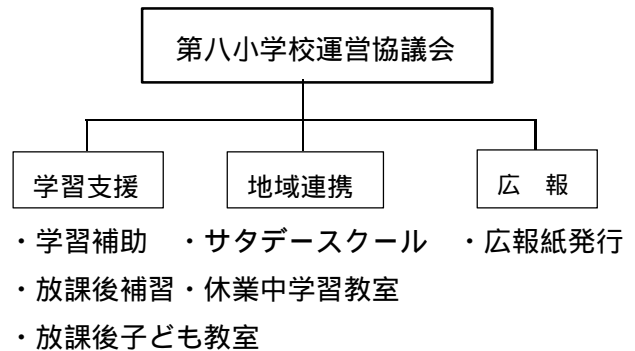
- ・緊急時飲料水（児童用：7年保存水→6年卒業時に個人に返却）の購入についてPTAに協力依頼。

## 活動の目的・概要

本校の教育目標達成のために、学校の現状の情報共有と学校運営協議会として何ができるか、より良い学校の実現をめざし熟議を行う。

学力向上のための取組である放課後補習教室「わくわくスタディ」や長期休業中の学習教室「わくわくワーク」を主催し地域人材を学習ボランティアとして活用する。

子どもの居場所づくりとして「さくらっ子広場」の運営やイベントの実施を行い児童の健全育成を図る。



## 活動の特徴・工夫

### 放課後補習教室「わくわくスタディ」

毎週火曜日の放課後、基礎・基本的な学習の定着が必要と思われる児童を指名し、「わくわくスタディ」を実施。学力定着のためのプリント等を活用し、基礎的内容の定着を図っている。地域の学習ボランティアが児童の学習のサポートを行っている。また、第一中学校の学習部の生徒を学習ボランティアとして活用している。



### 夏休み学習教室「わくわくワーク」

夏季休業中の数日間、地域のボランティアを中心に学習教室を実施。少人数の中でじっくり学習に取り組むことができる場として、定着している。



### 放課後子ども教室「さくらっ子広場」

毎週水曜日・金曜日の放課後に「さくらっ子広場」を開催。毎回、70名から80名ほどの児童が参加し、校庭で楽しい時間を過ごしている。シルバー人材センターを活用し見守りを行うとともに、学習アドバイザーのボランティアによる宿題や学習のサポートを行っている。



### 漢字検定

年1回、地域や保護者ボランティアの協力を得て実施している。毎回約60名の受検者があり、家族で挑戦する姿もみられる。

### サタデースクール

年間数回、土曜日午前中に実施。レクリエーション協会の方を中心に、様々なスポーツや工作に取り組んでいる。

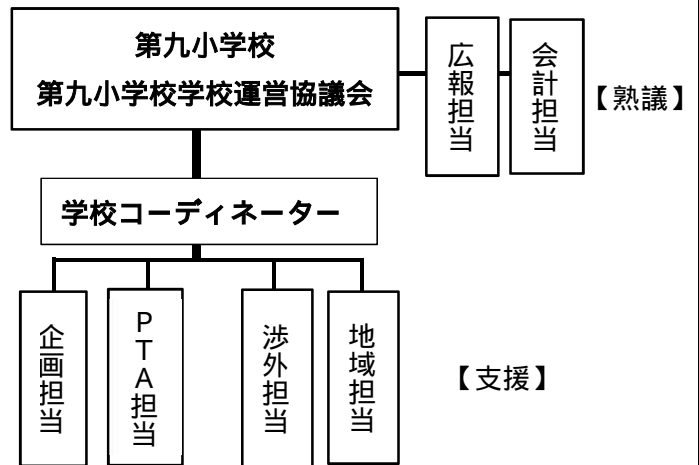
## 活動の目的・概要

地域の願いを学校運営に生かしながら、地域と学校とが強い連携で子どもたちの健やかな育成を目指す。

学校運営協議会、地域運営学校の理解促進のため、イベントの開催を通じて理解を広げていく。

学校運営協議会や地域の方々の協力を得て、補習教室を実施し、子どもたちの学力向上を目指す。

○コロナ禍での感染対策の徹底と可能な限りの学校行事の実施について協議し、学びを止めない学校教育を目指す。



## 活動の特徴・工夫

## 「職業体験」

学校運営協議会委員による、6年生対象の職業体験によるキャリア教育を実施している。地域のゲストティーチャーによる3種の職業の説明を受け、将来への展望を描く機会となっている。



この取組が定着しつつあり、今後はさらに地域力を活用した体験型授業の取組を多くの学年で企画・実施していく。

## ○「音読だいく」

本校では、教員のおすすめの詩を集めた冊子「音読だいく」を全児童に配布し、詩に親しみ、声を出して音読する活動を行っている。



学力向上の取組の一つとして、この取り組みを学校運営協議会と連携して実施し、教員だけでなく、委員の方々に子どもたちの音読を聞いてもらった。



たくさんの大人に聞いてもらえることが励みになり、すすんで取り組む子どもが増えた。また、地域の方々に子どもたちの頑張りを見てもらうよい機会となった。今後も継続して行っていく。

## ○「わいがや」

コロナ禍で対面での活動が中止になり、保護者同士の関わりが減っている。そこで、保護者会前に子育ての不安や困りごとを自由に語り合う「わいがや」を開催した。学校運営協議会の委員も参加し、保護者の方の不安や悩みを聞いたり、アドバイスや体験談を話したり、わいわいがやが楽しい時間となった。

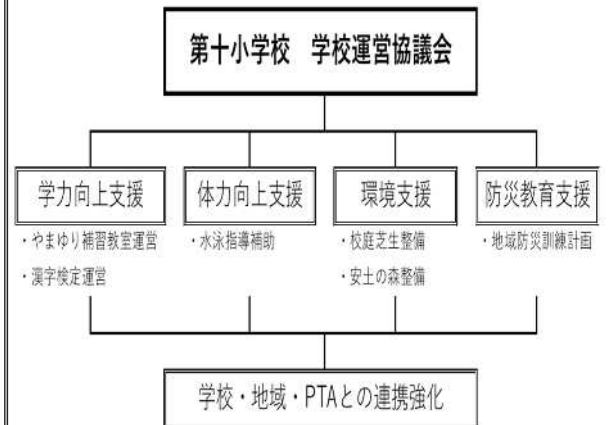


参加した保護者からは悩みを相談できてよかったなど好評であった。今後も継続して行っていく。

## 活動の目的・概要

第十小学校の目指す学校像である、「学校・保護者・地域社会が三位一体となり、子供と一緒に育てる質の高い教育活動が展開される学校」になるために協力していく。そして、教育活動の改善のための具体策を話し合い、学校と協働しながら、学校教育目標「確かな学力、豊かな心、健やかな体」の実現を目指す。

- 1 学校運営協議会を年8回行い、学校経営課題について改善に向けての方向性を熟議し、具体策の実施を推進する。
- 2 地域運営学校を平成30年開設後5年間で、組織と運営の更なる基盤を作る。



## 活動の特徴・工夫

### 学力向上支援

- ・平成30年度から、学校運営協議会が主催・運営し、学校を会場として漢字検定を実施している。学年末に行い、150名程度が受検している。コロナ禍の感染症対策として1教室あたりの受験者人数を減らしその分保護者や学生の運営ボランティアを募ることで実施することができた。

### 体力向上支援

- ・水泳指導の充実のため、4学級ある学年を2学級ずつに分け、安全管理員として1名を配置している。学校コーディネーター（学校運営協議会委員）がその配置運営を行った。

### 環境支援

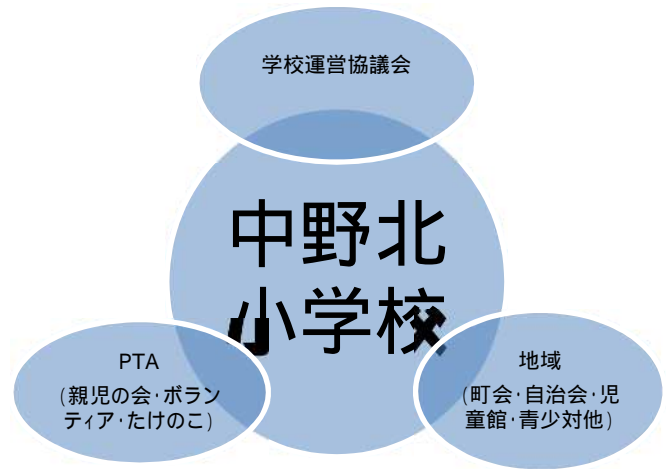
- ・安土の森の充実のため、町会長（学校運営協議会委員）及び育成指導員（学校運営協議会委員）が、稲を提供してくださる協力者を斡旋した。
- ・夏休みに2回、学校運営協議会の働きかけにより、地域の方々と教職員、保護者が一体となり、芝生の整備を行った。

### 防災教育支援

- ・震災等の大規模災害による避難所運営に学校運営協議会が積極的に関わるべく熟議を行った。令和3年度は、市の避難所初動要員、本部要員、町会の防災担当を交えて避難所運営についての共通理解を図ることができた。今後は、学校運営協議会が主体となって第十小学校に特化した具体的な避難所運営マニュアルを作成することで方向性がまとまった。
- ・3名の町会代表（学校運営協議会委員）を中心に3町会合同の防災訓練の開催を検討した。残念ながらコロナ禍で実施は見送られたが、学校運営協議会が主体となって企画、熟議を行うことができた。

## 活動の目的・概要

“みんなが輝ける学校”「なかきた」の創造  
地域の誇りとなる学校を実現するため、中野北  
小学校に関わる全ての方・地域の全ての方が「中  
野北小学校」の話題で笑顔になり、子どもたち  
をみんなで育てる“みんなが輝ける学校”「なか  
きた」の創造を目指す。



## 活動の特徴・工夫

### 学力向上の取組



本校では学力向上の取組として「わからない子をそのままにしない」丁寧な個別指導を実施している。その中の一つである水曜日の放課後開催の「中北ベーシック」、夏季休業中開催の「中北サマースクール」では、学校運営協議会委員を通して地域で学習ボランティアを募り、より多くの指導者が入ることで子どもたちに「わかる喜び」を実感させている。

### 放課後子ども教室「たけのこ」

毎週金曜日の放課後に開催。放課後子ども教室 推進委員会委員長は本校学校運営協議会会長であり、安全管理補助員も学校運営協議会委員の1人である。また、PTAの中に「たけのこ委員会」があり、PTA会員が当番で運営・安全管理を行っている。



### 地域人材の活用



本校の体力テストにおける課題の一つに挙げられる「投げる力」を伸ばすために、学校運営委員会委員の紹介で地域の野球チームのコーチによる「投げ方教室」を行った。子どもの能力に応じた丁寧な指導を受け、体力テストではその成果を発揮することができた。

### コロナ禍における特徴的な取組

○秋の展覧会では、開催日を3日間に増やし、保護者だけでなく、地域の方も鑑賞できるようにした。感染症予防対策を講じる関係で、地域の方が来校できる貴重な機会となった。

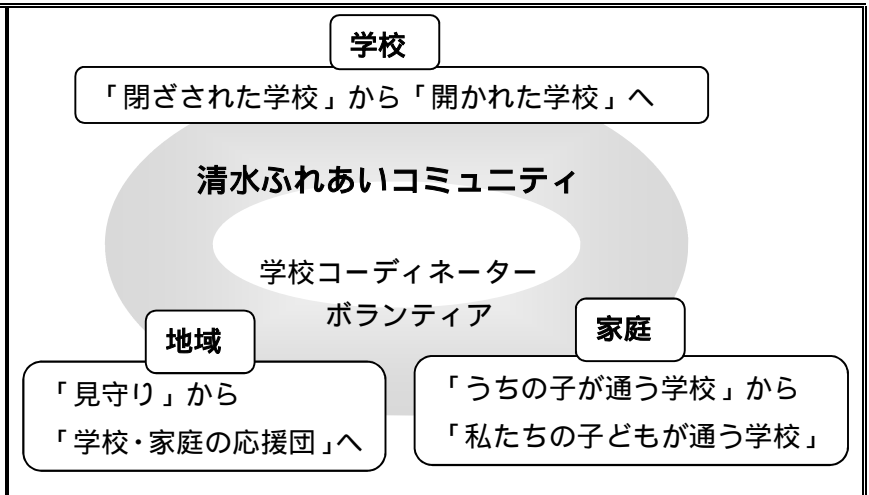


## 活動の目的・概要

## 清水ふれあいコミュニティ

学校と家庭、地域がともに知恵を出し合い、協働しながら児童の豊かな成長を支えていく「子どもたちをど真ん中にして、学校、保護者、地域がかかわり合える学校」のベースを作ることをめざしている。

「学力向上」「あいさつ」を重点目標として取り組んでいる。



## 活動の特徴・工夫

## 補習支援

・学校運営協議会の協議において、教育課程の中で、学力向上の方策について、

- (1) 授業の充実
- (2) 朝読書
- (3) 読み聞かせ
- (4) 家庭学習の充実
- (5) 漢字検定
- (6) 補習支援の充実

などが挙げられ、学校運営協議会としてもできることはないか検討した結果、読み聞かせや補習支援に協力している。

・補習支援は、毎週金曜日の放課後に、補習を必要とする児童と補習を希望する児童を対象として、算数の支援に取り組んでいる。担任一人では算数が苦手な児童に対して十分な対応ができないところから、学校運営協議会委員が地域の方へ働きかけを行い、ボランティアを募っている。

ボランティアの方には、事前に年間の開催スケジュールを配布している。補習に来られた際には、当日担当してもらった教室をカードでお渡ししている。

・複数の大人が入ることにより、よりきめ細かく丁寧に児童に対応することができ、児童は意欲的に学習に取り組んでいて、「〇〇先生！」と廊下まで迎えに来てくれる児童もいる。



## 活動の目的・概要

『楽しい学校』・『みんなの学校（地域とともにある学校）』を目指し活動する。

大きく変化する環境や社会の中で、SDGs、多様性を尊重した人権教育、オリンピック・パラリンピックを知り、児童・教職員・保護者・地域住民の皆が、自ら考え行動できる思考力・判断力・表現力を協働しながら育み達成していく。

1. 学校内および周辺の安全・防犯・防災体制を再確認する。
2. 地域住民や保護者、近隣の小中学校に対して、学校の情報を積極的・速やかに提供しながら、よりよい関係性を提示できるようにする。

### 大和田小学校 学校運営協議会

#### 校内支援

- 学習支援の充実
- 感染症対応支援
- 開校50周年記念行事支援

#### 校外支援

- 地域交流
- 地域防災
- 近隣小中学校連携

## 活動の特徴・工夫

コロナ禍の中、地域との連携や交流が難しくなった昨今、学校運営協議会が学校と地域の橋渡し役になり、新しい形での連携を進め、学校と地域の協働活動の幅を広げている。

### 学習支援の充実

- ・学力向上に向けた学習支援の実施（漢字検定の実施）
- ・生活科や総合的な学習の時間、読書活動の支援の実施（動物とのふれあい体験、読み聞かせ）

### 感染症対応支援

- ・運動会受付での健康観察、検温の実施

### 開校50周年記念行事支援

- ・カナダと各教室を結んでオンラインによる卒業生の話の実施

### 地域交流

- ・地域運営学校の周知によりPTA、おやじの会、町内会、地域機関等の地域の目を学校に向け連携を図ることで、地域と学校の協働体制を強化し、お互いが支え合える関係を創出

### 地域防災

- ・災害時（風水害、地震等）のスムーズな避難所の運営
- ・防災倉庫の物資の確認

### 近隣小中学校連携

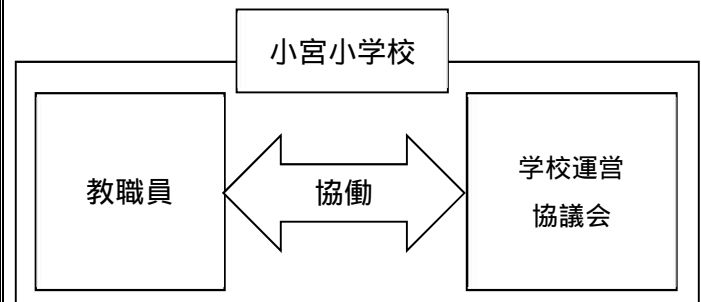
- ・第一中学校校区の4校の学校の学校運営協議会との連携の強化



開校50周年記念行事支援

## 活動の目的・概要

「地域運営学校」として、「地域とともにある学校」を目的に、各種の取組、放課後学習支援、学校施設等の改善を検討し、その実現を目指して活動している。



## 活動の特徴・工夫

### 学校運営に関する協議

- ・学校の感染対策の具体的な取組
- ・コロナ禍における学校行事等の在り方（セーフティー教室、学校説明会、運動会及び学芸会、給食、委員会活動、道徳授業地区公開講座など）

### 地域のボランティアと連携した放課後補習教室の運営

- ・放課後算数教室の運営及び実施

月3回程度、2年生～6年生を対象に、放課後算数教室を実施している。算数ボランティアの方々の協力もあり、楽しく学習を進めている。現在、コロナ感染状況により実施回数は減ってしまっているが、100名を超える児童の在籍と、5名のボランティアで運営することができている。

### ダンス講習会の実施

- ・地域在住のアーティストを招へいしてのダンス講習会
- 「ぼくらの八王子」を毎年実施している。



### 漢字検定の準会場運営と実施

- ・学校運営協議会が主体となり、保護者からボランティアを募り、検定を運営している。令和3年度の検定には、200名に迫る応募があった。実施日直前のコロナ感染状況により中止となったが、返金対応まで事務分担を実施して取り組んだ。冬の一大行事として定着している。

### プログラミング指導のための専門講師招へい

- ・「scratch」によるプログラミング学習を全学年で実施。継続した取組とすることで、令和3年度のU16プロコンにて入賞者を輩出するなど成果をあげている。

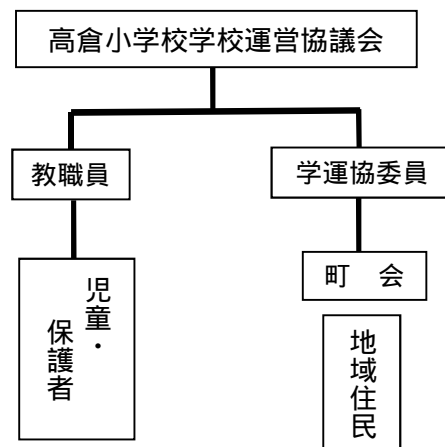
## 活動の目的・概要

### 目的

- (1)漢字検定は保護者も児童とともに学べる機会を設け、学習に対する関心を喚起する。本校児童の学力の向上を目指す。
- (2)ニュースポーツを地域住民とともに体験する機会を設け、体力向上、生涯にわたって親しめる児童の育成を図る。
- (3)放課後子ども教室に学習スペースを設け、児童の学力向上と学習意欲の向上を図る。

### 概要

- (1)本校を準会場として漢字検定を実施する。
- (2)学期ごとにニュースポーツデーを実施する。
- (3)放課後子ども教室内に学習スペースを設け、運営する。
- (4)地域・町会からスタッフを募ることで、学校運営協議会委員を介して地域と学校がつながる機会となる。



## 活動の特徴・工夫

### 漢字検定

- ・学校運営協議会は、町会との連絡・調整と保護者・児童への案内、地域住民は、会場準備・片付け、当日の試験の監督をしている。教職員は、児童への受検の案内や励まし、学習の方法のアドバイスをしている。このように役割を明確にし、分担して取り組んでいる。
- ・地域住民（小中高高校生、大学生・一般社会人・高齢者など）が漢字検定を受けられる学校を目指している。また、学校が地域の拠点になることを目指している。
- ・漢字検定の実施は平成27年度から開始したが、漢字検定の補助員を引き受けてくださる方も試験の監督や事務作業等に慣れてきており、受検者も事前の周知等で増えてきている。
- ・実施後に30分程度の反省会を行うことで、PDCAサイクルを確立するとともに、異なる町会の方々が触れ合えるようにしている。



### ニュースポーツデー

令和3年度は感染防止対策のため活動を行うことができなかった。学校運営協議会では、感染状況を考慮に入れて再開時期等について協議を行った。令和元年度までは、児童、保護者などが参加して様々なニュースポーツを体験する機会を持ち、生涯スポーツに親しみ、楽しめる児童を育成していた。

### 放課後子ども教室における「学習スペース」

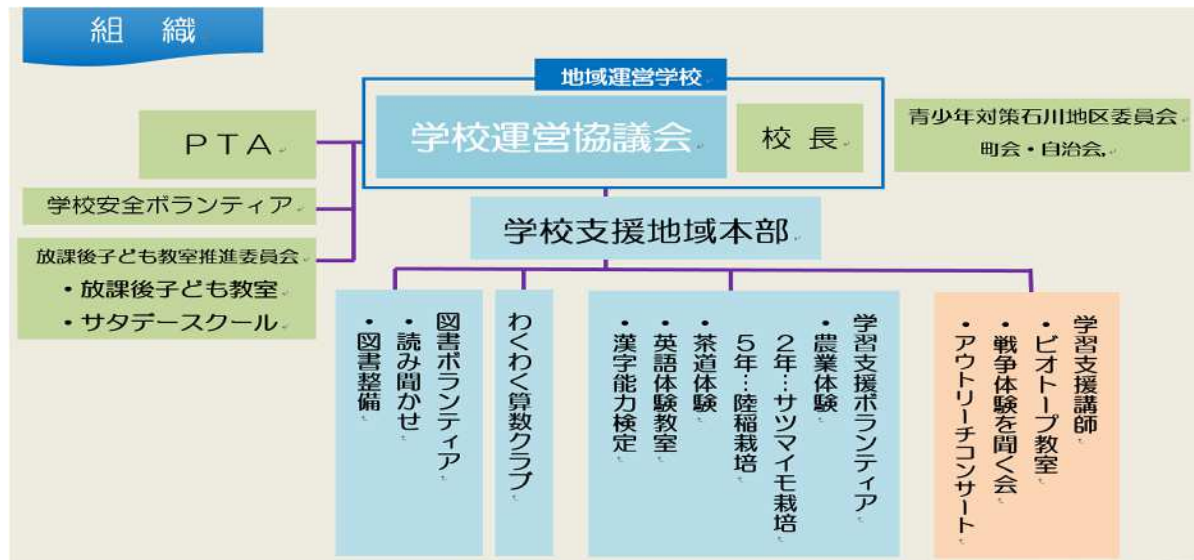
- ・コンスタントに児童が来て、自主的に学習を進めた。友達と一緒に学習し、地域の方に教えていただくなど、寺子屋的な空間となっている。
- ・隣接する都立八王子東高等学校とは、生徒による学習ボランティアの活用について共通理解をしている。今後進めていきたい。

## コロナ禍における特徴的な取組

- ・漢字検定は、感染拡大防止対策のため、令和3年度は児童のみの実施とした。
- ・ニュースポーツについては、用具の購入・整備を行い、いつでも活動が再開できるように準備を進めた。
- ・放課後子ども教室の学習スペースは、臨時休業後に活動を再開した当初は、多くの人数が集まり三密になることを回避するため、学年によって日を分けて開催した。また感染防止対策のため、屋外で実施した。

## 活動の目的・概要

地域と学校が一体となって様々な教育活動を行う中で、子どもたちにいろいろな体験を積み重ね、豊かな心と健康な体を育むことを目的として活動する。



## 活動の特徴・工夫

### 通学路点検

9月16日に学運協の皆さんと通学路を歩いて回り、危険箇所等の安全点検を行いました。道端に背の高い雑草が生い茂り、運転手から子供たちの視界が遮られてしまう場所や工事の柵による歩行者の通行の妨げになる場所等が挙げられました。雑草に関しては、市に除草の要望を行いました。



### 学習発表会

11月5日、6日に学習発表会を行いました。2, 4, 6年生は、舞台発表で、1, 3, 5年生とすぎの子学級は展示発表でした。学運協の方々にも体育館や校舎内を回っていただきました。肯定的なご感想をたくさんいただきました。



### その他

- ・地域の方々の協力をいただき、年1回、漢字検定を実施しました。
- ・昨年度は、コロナ蔓延防止策のため、思うように活動ができませんでした。茶道教室や戦争体験の話等、来年度は実施できればと考えています。

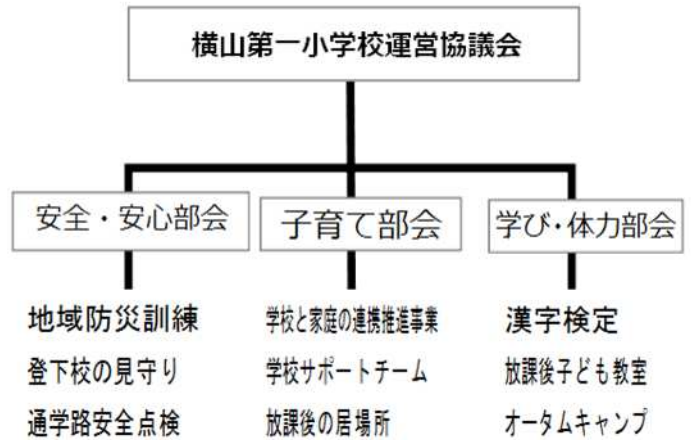


## 活動の目的・概要

児童の「学力の向上」「体力の向上」「地域行事への積極的な参加」を目指す。

地域資源（人材、自然、施設）の発掘、活用を図り、地域と一体となった学校作りを進める。

学校運営協議会を核として、「安全・安心、地域連携・地域防災部会」「子育て支援部会」「交流活動・伝統文化、学び・体力部会」の3つの専門部会を設置し、学校の分掌組織やPTAのボランティア組織と連携させた協働的な活動を行う。



## 活動の特徴・工夫

漢字検定（9月・2月）

「学び・体力部会」が中心となって、年間2回、漢字検定を行っている。子どもたちの自主的な参加は、漢字学習への動機づけや、漢字の習得への意欲につながっている。

オータムキャンプ（9月）

家族や友達と泊まる体験だけでなく、理科実験教室の実施や、ドラム缶風呂や流しソーメン体験などの普段できない体験ができるように工夫している。（R3年度は日帰りキャンプを実施）



ドラム缶風呂

テント張り

放課後子ども教室（年間約170回）

「学び・体力部会」の放課後子ども教室推進委員会で、子ども達の放課後の居場所づくりをしている。児童館や地域のスポーツ推進委員、地域学習ボランティア等と連携し、行事を企画するなど、子どもたちを地域で育てている。

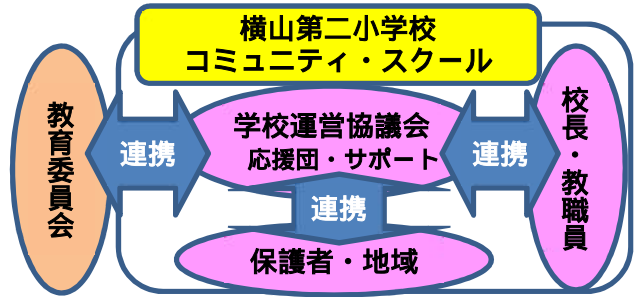
地域防災会議（年間5回、地域防災訓練12月）

「安全・安心部会」が中心となり、地域の町会・自治会長や防災担当者と連携し、学校を避難所とした地域防災訓練を実施している。



活動の目的・概要

学校教育目標(思いやりのある子、よく考える子、体をきたえる子)、学校経営方針の具現化を目指し、児童にとり安心して安全で居場所のある学校づくりを実現する。  
 「花と緑と笑顔の学校」をスローガンとし、地域も、保護者も、教職員も誇れる学校づくりを実現する。  
 「地域の子どもは地域で育てる」学校・保護者・地域が連携し、児童の健全育成に努める。  
 地域の願いを学校運営に生かす、地域に開かれた学校づくりを実現する。  
 地域の方々を先生として迎え、地域と連携した教育を推進する。



・学校運営協議会開催(年6回)  
 ・学校だよりにより毎月「学校運営協議会」掲載  
 ・地域運営学校だより発行(協議会終了後)  
 ・活動内容、協議会の内容等報告

活動の特徴・工夫



< 出会い・顔合わせ >

新年度当初、第1回学校運営協議会では本校PTA役員・教職員との顔合わせ会を実施している。互いの顔と名前を知ることで信頼関係が生まれ、結び付きが強固になる。学校運営協議会は学校の味方であり応援団であることをアピールしている。

< 協議会 >

議事進行が滞りなく進行するよう最新の資料を迅速、的確に提供し、情報共有を図る。委員も活発に発言している。

< 活動紹介・発信 >

学校運営協議会の活動内容をホームページ、地域運営学校だより等で発信。最新情報の共有化を図っている。



< 授業参観・給食試食 >

学校運営協議会の開催日は毎回、授業参観を実施している。児童の様子を直接、見る機会を設け本校の課題等を明確にしている。土曜日の学校公開時には給食試食会も開催している。八王子市が掲げる食育の大切さを委員と一緒に考えている。

< 放課後子ども教室 >

夏季休業中の放課後子ども教室は委員や保護者が講師となり、勉強を教えている。児童と関わりが深まる。

< 地域防災会議 >

行政、消防署、幼稚園・保育園、町会・自治会、学校等と緊急応援職員との顔合わせ、防災倉庫見学を毎年実施。



< あそびの広場 >

保護者・地域・教職員が協力し合う学校行事。消防団、防災士等、毎年400名近い方々が参加し、年々増加している。

< 安全ボランティア >

児童の登下校の見守りを毎日、行っている。児童は安全ボランティア(含:委員)の方々と顔を覚え合い、街中も気軽に挨拶している。「地域の子どもは地域で育てる」児童には「いつも見守られている安心感」が生まれ、地域を誇りに思う気持ちが育つ。

< 学校評価アンケート >

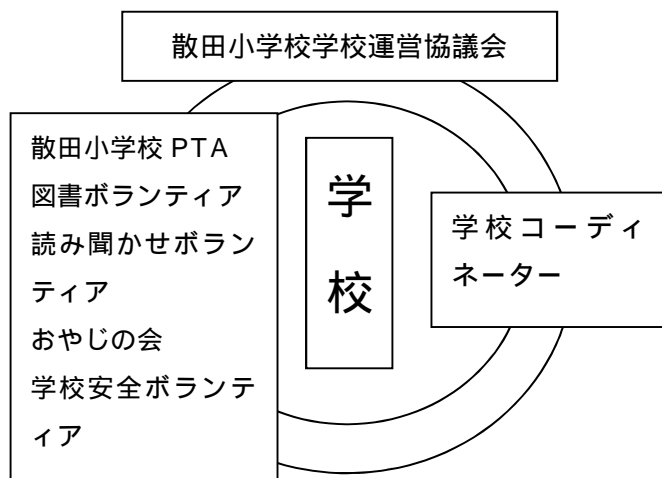
学校評価アンケートを地域住民に配布し回収している。いただいたご意見を教職員で共有し教育課程に反映させている。

## 活動の目的・概要

学校教育目標の「思いやりのある子・学びあう子・たくましい子」を実現するために、学校の教育活動をサポートする。

子どもたちの成長のために、学校、家庭、地域をつなぎ、様々な協力を行う。

学校運営協議会を毎月開催し、学校の教育活動を支援する活動に取り組む。



## 活動の特徴・工夫

地域の教育力の活用（ゲストティーチャーを招いての活動）

多様化する社会を生き抜くためには、基礎学力だけではなく、様々な課題に正対し、乗り越えていく力を育む必要がある。その一環として、広い視野を養うために、地域の方を講師として招き、体験活動を展開している。



和太鼓の学習（3年生）



箏の学習（4年生）



遊びのミニ学校の自由木工



昔の散田小のお話（2年生）



## 活動の目的・概要

- 学校だけでは実施できない行事を、地域、保護者の方の協力により行うことで、子どもたちには、地域の一員としての自覚や愛着心を育て、長房地域を誇らしく思う心を育てることができる。
- 農耕体験・食育の学習を通じて、感謝の気持ちをもたせることができる。
- 放課後子ども教室(すまいる)等を通じて、地域の方との触れ合い、コミュニケーションの実践力・体力を育てることができる。
- 地域、保護者の方がボランティアとして様々な活動で来校する機会が増える。そのことにより子どもたちの学校での様子を見てもらうことができる。

下記の4つを軸に活動

- 1 スクールサポート  
広報誌の発行、図書室整備、読み聞かせ、箏・和太鼓、算数教室(学習支援)、人形劇
- 2 イベント  
端午祭り、地域の夏祭り、いちよう祭り、焼き芋大会、川の学習、どんぐり笛づくり
- 3 ボランティア  
安全ボランティア、花壇ボランティア、盆踊りボランティア、スクールファーム活動
- 4 長房ファーム農園活動(通年) 収穫した野菜は給食の食材として提供したり、児童・教職員・地域での活動の際に調理したりする。

## 活動の特徴・工夫

## 長房小の学校農園

校庭に隣接する商業施設の土地の一部を『長房ファーム』としての位置付けで、約140坪を借り受け、令和3年5月1日から引き渡しを受けて、学校(教職員・児童・保護者)・学校運営協議会・地域が一体となって活動しています。夏野菜(ナス・トマト・キュウリ)の収穫、秋にはサツマイモが採れました。秋晴れの中、まずは低学年となのはな学級の子どもたちで『いもほり』をしました。



## 放課後子ども教室「すまいる」

放課後子ども教室「すまいる」には毎日たくさんの子どもたちが元気いっぱい過ごしています。子どもたちは地域の皆様に守られた恵まれた環境の中で放課後の時間を楽しく過ごすことができます。



## どんぐり笛づくり

低学年の子供たちが「どんぐり笛」づくりのお手伝いをしていただきました。どんぐりの中身を掘っていく姿は真剣そのもの。夢中で作業をすすめていきます。完成した「どんぐり笛」は、短く切ったストローを使うときれいな音を出すことができました。

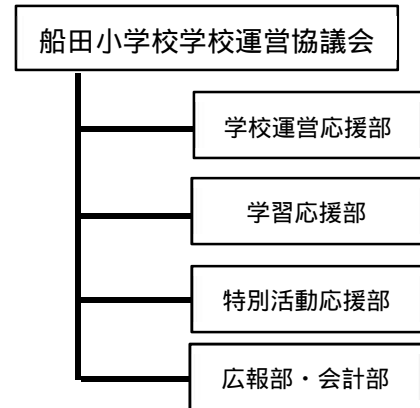


## 活動の目的・概要

経営方針である「児童が『学びたくなる学校』、保護者が『通わせたい学校』、地域が『誇りに思う学校』、教職員が『勤めたい学校』」を、学校・家庭・地域の協働により達成していく。

地域住民や保護者に対し、運営目標や協議の結果を積極的に情報提供していく。

- ・ 会合を年12回行い、学校・家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。
- ・ 学力向上に向けた課題や児童の実態（家庭環境を含む）を学運協で共有し、課題解決に向けて協議する。
- ・ 学習支援ボランティアや環境整備ボランティア等の活動を充実させるための環境づくりを行う。
- ・ 学習活動の充実（授業中の子どもたちの支援）のために、地域人材を活用した学習支援ボランティアに取り組む。



## 活動の特徴・工夫

### 学校運営応援部

児童の学習支援及び校内環境整備（学習支援ボランティア及び校内環境整備ボランティア）

- ・ 図書ボランティア  
学校司書、図書担当教員らと連携し、図書館整備（蔵書整理・廃棄・掲示物・表示等）や読み聞かせ等を行い、児童の読書環境の充実に努めている。
- ・ 園芸ボランティア  
学期、夏季休業日を通して校内環境整備事業として花壇の植栽等園芸ボランティアが活動し、校内に花や植物があふれる環境を整備している。
- ・ 学校安全ボランティア  
登校時や学校行事において児童の見守りを行い、安全を確保している。児童が地域に守られているという安心感を持ち、地域の一員としての自覚や地域に愛着がもてるようになる。
- ・ ICTボランティア  
一人一台端末の導入サポートや運動会動画配信など、ICT関連のサポートを行う。

### 学習応援部

- ・ 夏季休業日当初の2～3日間を補習学習期間と設定し、学習ボランティアの力で補習学習の補助をしている。
- ・ 夏季休業中に学校運営協議会主催の漢字検定を行っている。令和元年度より毎年実施している。年々参加者は増加し、100人近い児童、保護者、地域の参加があった。運営事務の為にボランティアを地域・保護者にお願いして、安全に効率よく運営している。
- ・ 地域人材の発掘に伴う学習支援の一環として、令和2年度より「星空を見る夕べ」を開催している。天文学に造詣の深い地域の方の協力で、夏季休業中に実施し、親子で夏の夜空の星々を観測することができた。
- ・ その他にも、積極的に地域の人材を発掘し、学習支援に生かしていく。

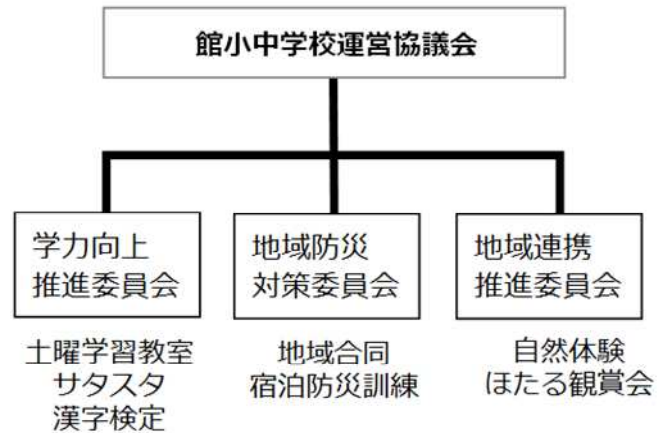
### 特別活動応援部

- ・ クラブ活動やスポーツテスト、低学年の地域学習・全校遠足等の学習支援を行っている。

## 活動の目的・概要

平成22年度以前は、館小・館中それぞれに学校運営協議会が設立されていた。平成23年度の小中一貫校設立に伴い、学校運営協議会も統合して運営している。

本会は、国立教育政策研究所によるコミュニティスクールを支える学校運営協議会の4つのタイプのうち、「総合型」を目指し、地域に開かれた学校、地域に支えられる学校の実現に向けて、一層の力を注いでいる。



## 活動の特徴・工夫

### クリーン作戦

- ・年に3回、クリーン大作戦と銘打って、地域の清掃を行った。たくさんのゴミが集まり、歩道などがとてもきれいになった。



### 防災ゲーム

- ・以前は地域と合同で宿泊防災訓練を行っていたが、コロナ禍ということで、その代わりに防災ゲームを実施した。小1～中3まで学年に応じて、シェイクアウト訓練と、防災グッズについて考える、避難についてシミュレーションを行う等の取り組みを実施した。



### 花いっぱい運動

- ・本校舎、分校舎どちらもたくさんの花が咲き誇っていて、地域の方々からも楽しみにしているというお話をいただいている。

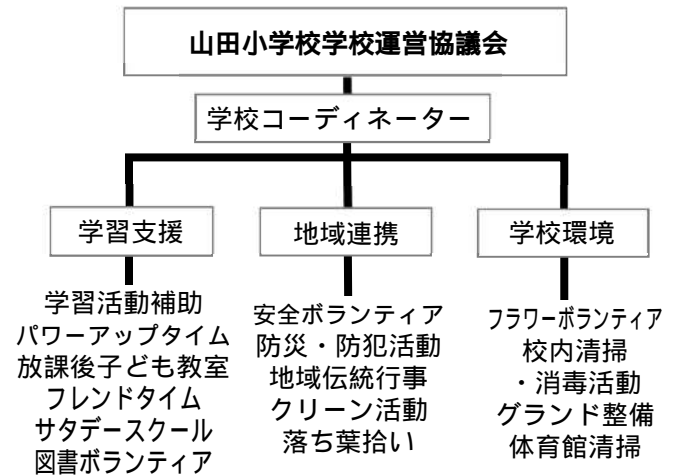


## 活動の目的・概要

学校の教育目標の具現化のために、地域・保護者・学校の連携を深め、より地域に開かれた学校を目指し、地域の将来を担う子どもたちを地域とともに育てていくためのよりよい学校運営を推進する。

地域と学校が共に手を携え、教育活動の質的向上を目指す。

地域・保護者・学校が一体となって多様な学校支援活動や放課後支援活動を行う仕組みを構築する。



## 活動の特徴・工夫

### 防災体験教室

本活動は、サタデースクール事業の一環である「災害体験企画」として、申込者だけで実施していたが、平成24年度からは、学校の防災教育の一つとして位置付けている。全校児童に対し、災害時において自らの命を自分で守り、また地域の一員として他者を守る方法について体験活動を通して学ぶなど、自助・共助の意識を高めることをねらいとして行っている。毎年9月中旬の学校公開日に実施しており、内容を低学年、中学年、高学年で変えて、様々な体験を行えるよう工夫している。当日は学校運営協議会、PTA本部に加え、八王子消防署、八王子市役所、八王子市赤十字奉仕団の協力のもと実施している。

### 学校環境整備

平成31年度から学校提案型予算を活用して、学校運営協議会とPTA、地域が連携して、児童が使える環境の再生をめざして整備を進めている。また、グラウンド整備や体育館清掃なども定期的に行っている。

### フラワーボランティア活動

平成29年度から、保護者のボランティア活動の一環として始まり、ガーデニングに詳しい地域の方の協力を得て、花の美しさを見たり感じたりできる学校環境の整備に取り組んでいる。東門から西門に伸びる通路は「山田小フラワーロード」と名付けられ、色とりどりの花が咲き、美しさを途切れることなく感じられるよう工夫されている。

### 山田小学校かるた

平成29年の「八王子市市制100周年」を記念して、「山田小学校かるた」を作成した。イラストは地域に住む方が作成した。児童や保護者、地域の方に、郷土のよさを感じてもらうため、地域や学校に関わる事柄をかるたにした。第3学年児童は八王子かるた、山田小かるたを使って郷土学習を実施している。また、令和元年度には地域の方に英訳をお願いし、英語版を作成、遊びを通して英語に触れることができるようになった。予防接種会場の待機場所に掲示し好評であった。

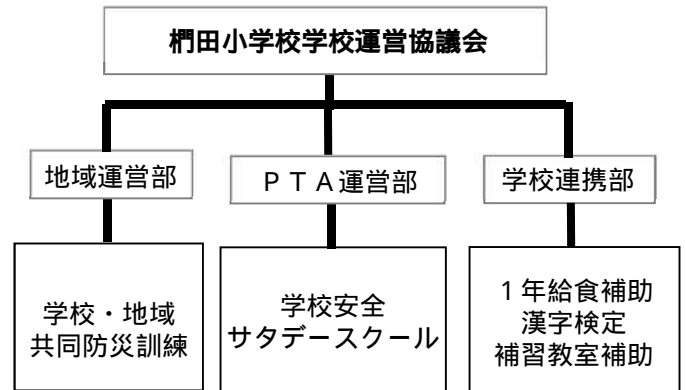
## 活動の目的・概要

教育目標における目指す児童像を「よく考える子・いつも元気な子・こころ豊かな子」とし、「よいこが創る楽しい学校」を合言葉に、学校・家庭・地域の協働により、その実現を目指す。

学校運営協議会を年11回行い、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進している。

年間行動目標を「地域協働」とし、学校運営協議会を通じて、地域が教育活動に関わっている。

「学校・地域共同防災訓練」を毎年実施し、災害時の自助・共助・公助の精神を培う。



## 活動の特徴・工夫

### 学校・地域共同防災訓練（地域運営部）

- ・学校運営協議会、PTA役員、八王子消防署消防士、八王子消防団第9分団の協力の下、平成24年度から隔年で実施している。平成30年度から毎年実施する方向で運営している。
- ・令和3年10月16日（土）の学校公開の際に、6年生の総合的な学習の時間「梶田防災プロジェクト」と合同で開催した。協力してくださった地域の方々以外にも、参観に来校した保護者も参加した。中には、6年生の保護者ではなく、他学年の保護者も参加する様子も見られた。
- ・校庭、体育館合わせて11箇所設置し、スタンプラリー形式で自由にブースを回る。以下、各ブース名  
「煙ハウス体験」「初期消火訓練」「ロープワーク」「AED救助・担架訓練」「通報訓練」「応急手当訓練」「各地区の防災訓練設備について紹介」「東浅川給水所について（応急給水施設）」「簡単に作成できる防災グッズについて」「避難場所紹介」「地震や火事からの身の守り方」「梶田防災プロジェクトの活動説明」



### 漢字検定（学校連携部）

- ・平成26年度から学校主体で平日の放課後に実施していたが、平成31年度（令和元年度）より学校運営協議会が主体となって実施している。
- ・土曜日の実施として、保護者等ボランティアを募り、新たに運営が始まった。当日、教員の有志も支援に入るが、保護者等ボランティアをさらに募集し、地域で運営していくという目標をもっている。
- ・令和3年度は本校の児童138名が受検をした。コロナ禍の中ではあったが、基本的な感染症対策と共に、受検者の動線などにも配慮し、安心して受検できるように学校運営協議会、地域・保護者ボランティアの皆様と協力して実施することができた。

## 活動の目的・概要

経営施策の重点「みんなの子どもは、みんなで育てる」を学校・家庭・地域の協働により達成していく。

学校運営協議会を年11回行い、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。

「子どもたちの知・徳・体の調和のとれた成長を目指す」ことを目標とし、学校運営協議会として協議を重ね、学校、保護者、地域が協力し、子どもたちの豊かな成長を支える。

～みんなの子どもは、みんなで育てる～

## 学校運営協議会

## 学校

緑豊かな環境  
を生かした特  
色ある教育

## 家庭

・緑が丘応援団  
・みどりっ子  
算数教室

## 地域

・合同防災訓練  
・地域の伝統  
文化の継承

## 活動の特徴・工夫

## PTA主催の日本漢字能力検定に協力

緑が丘小学校では、毎年2回PTA主催で日本漢字能力検定を行っている。団体として登録することで、学校を準会場として使うことができる。普段から慣れている学校の教室で受検できるので、保護者や児童の負担を減らすこともできる。

令和3年度は、6月26日(土)と1月29日(土)に実施した。それぞれ、保護者も含め、42名と58名の受検があった。新型コロナウイルス感染症不安から令和4年度に繰り越す児童が数名いた。

学校運営協議会としても、漢字検定の取組を、児童の学習意欲につながる良い機会ととらえ、全面的に支援している。当日は、検定会場となる教室の掲示物をはずしたり、目隠しをしたりするなど検定開始2時間前から準備を行った。また、受検前に児童が使う控室での見守りや試験監督なども務め、片付けまで当日の運営についてPTAを支援した。



## 学校行事のサポートやPTA・学校と協働した学力向上への支援

運動会では、開門前に並んでいる保護者への声掛けや、競技中、校庭と校門周辺の見回りを実施し、学校行事の支援に取り組んだ。また、令和3年度は、運動会と展覧会において受付を分担し、来校者の検温や手指消毒の声掛けを実施した。

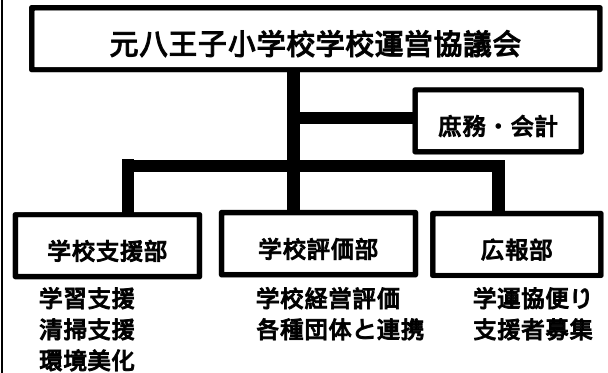
平成28年度から学校運営協議会主導のもと、保護者による「緑が丘応援団」を設立した。放課後補習の時間「みどりっ子算数教室」に採点等のボランティアとして参加し、算数の学習支援を行っている。また、高学年に実施している「みどりっ子算数道場」の様子を視察したり、校内研究の授業を参観したりするなどして、児童の学力向上を様々な方面から支援している。



## 活動の目的・概要

元八王子地区の将来を担う子どもたちの「社会的自立」に向けた成長を目指し、学力向上や人格の形成を図るための支援を行う。

学校経営目標「日本一の学校づくり」を目指し、学校・家庭・地域の強力な連携において、学校支援事業を行う。様々な取組の中で、子どもたちの成長やその成果を振り返り、よりよい学校運営協議会の方向性・運営の仕方を定着できるように取り組んでいる。



## 活動の特徴・工夫

### 学校運営協議会・PTA主催「学び舎研修」

新学習指導要領について地域、保護者、教員が外部講師からともに学び、次代に向けて子どもたちに必要となる力を意識した教育を、学校・家庭・地域が協力・連携して行っている。

### はちっこボランティアを活用した学校支援活動

平成30年度から、学校支援の人材を地域から広く募集し、授業や朝学習、清掃活動等、普段の学校生活で子どもたちを支援している。

#### ・丸付けボランティア

ベーシックドリルや補充プリントの丸付け支援を実施している。

#### ・清掃活動支援

掃除の時間に子どもたちに正しい清掃を教え、頑張っている子どもに声をかけるなど、清掃活動への意欲を高めている。

#### ・放課後子ども学習教室支援

放課後子ども教室主催の学習教室で、元八王子中学校の生徒ボランティア及び高学年児童による学習支援を行っている。

### 児童会活動や学校行事と連携した学校支援活動

#### ・校内美化活動

環境美化委員会と連携して、中庭の花壇に花を植える等の校内美化活動を行っている。(元八王子地区青少対と連携)

#### ・海外との交流支援(令和3年度は動画・手紙による交流)

アメリカのコロラド州にあるダン小学校と元八王子小学校の交流支援を行う。

### 保護者・地域協働型キャリア教育

子どもたちが主体的に自分の将来を考え、自立(律)した生き方ができるよう、「保護者・地域協働型キャリア教育」を進めている。地域人材と協働したキャリアガイダンスや職業インタビューを実施。

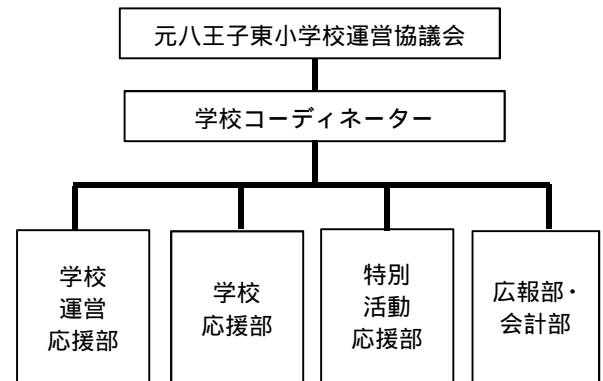
### 地域連携型学校支援組織「PTCA」の設置準備



## 活動の目的・概要

将来、地域を背負っていける子どもたちを育てていくことを目的に、地域と連携した学力向上、自己肯定感の醸成、自他愛に満ちた子どもの育成について協議を重ねる。

学校が地域にできること、地域が学校にできることを考え、お互いを補完できるような活動を目指し、学校と地域が一体となって学校・地域の活性化を図るよう、様々な活動に取り組む体制を構築する。



## 活動の特徴・工夫

### 園芸ボランティア

学校環境の充実のため、園芸ボランティアの方が学校花壇への花植え活動を行っている。四季折々にきれいな花が彩られ、子供の豊かな情操を育てることにつながっている。



### 図書ボランティア

学校図書館の充実のため、図書ボランティアの研修会を毎学期実施し、図書の補修や図書室の掲示の装飾などを行っている。季節に合わせた装飾をすることで、楽しく、読書に親しみたくなる環境となっている。また、読み聞かせを行い、児童の読書意欲を高めることにつながっている。



### 東小スタディ

平成30年度から、週に1日放課後に、放課後子供教室「東小スタディ」を実施している。地域の方に学習ボランティアとして御協力いただき、それぞれの子供の習熟に応じて基礎学力の定着を進める取組を行っている。一人一人個別のファイルを作成し、自身で取り組んだ足跡が振り返られるようにして、努力を続ける大切さを感じるとともに学力の定着につながっている。



### 漢字検定

漢字検定を夏と冬の2回実施しており、多くの子供たちが参加している。漢字を学ぶ意欲を高めるとともに、基礎学力の向上につながっている。受験に際しては、検温・消毒等のコロナ対応も万全である。





## 活動の目的・概要

学校の教育目標の一つである「地域とともに歩む学校」の実現に向け、地域社会と学校の連携を促進し、「地域を愛する児童」の育成を図る。

学校・保護者・地域が連携して、有意義な教育活動を行い、生き生きとした子どもたちを育てる。  
自尊感情教育を育むために、児童の学力向上に寄与する。

上巻分方小学校運営協議会

学校コーディネーター

かみっこ教室  
放課後学習教室

各種ボランティア

地域自治会等

## 活動の特徴・工夫

### 児童の学力向上と自尊感情の育成

#### ・漢字検定

平成29年度より開始。本校の全児童から受検者を募り、漢字検定準会場として登録し、実施している。その試験官は、学校運営協議会委員が分担して実施している

これまでに延べ600人以上の児童が受検し、そのおよそ半数が合格することができた。この合格率は各家庭での保護者の教育の成果である。そこで、学校運営協議会としては、合格証とともに漢字検定協会から送付されてくる表彰状に加え、独自の基準（受検回数、得点率、合格率等）で学校運営協議会会長賞、努力賞、校長賞等を新設し、より多くの児童が努力を賞賛され、自尊感情をさらに伸長するよう工夫して取組を進めている。

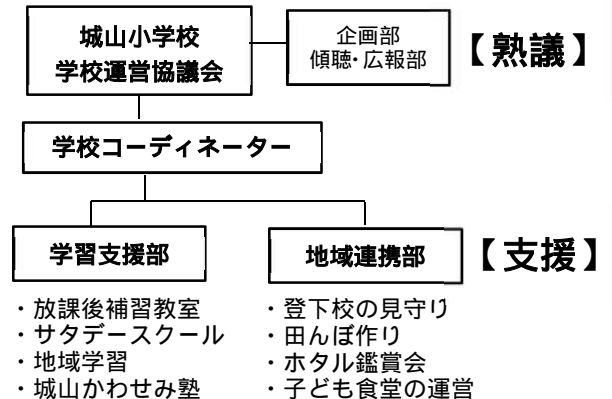
本校の児童の向上心がさらに高まるように図ったところ、回数を重ねるごとに受検者は徐々に増加してきている。今後ともこの取組を継続することで、児童だけでなく、保護者や地域住民等も含めた地域社会全体の意識の高揚と、自尊感情の醸成をさらに推進していくことを考えている。

## 活動の目的・概要

教育目標の「かしこい子」「やさしい子」「たくましい子」 みんなでのびる城山の子 を学校・家庭・地域の三者協働により具現化していく。

城山中学校とつながり、小中合同の運営協議会を各学期1回開催し、9年間を地域が見ていく形で家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。

年間行動目標を「児童・教職員支援」とし、学校運営協議会として実施方法を熟議し、遂行する。



## 活動の特徴・工夫

### 放課後補習教室の運営支援

本校児童の学力調査結果では、読むこと・書くこと、四則計算などの基礎的な問題に課題が見られる。そのため、地域の方にボランティアに入ってもらい、国語、算数の放課後補習授業を実施した結果、算数好きの子どもが増え学力向上の成果が見られた。

### サタデースクールの企画・運営支援

サタデースクールを年4回計画した。学校運営協議会が企画段階から主体的に参加し、講師の折衝、運営の支援や地域の学習資源の掘り起こしをしている。コロナ禍のためすべて中止せざるを得なかったが、各回で熟議を行い、実施方法を検討した。

【企画内容】 ホタル鑑賞会(6月) かけっこ教室(9月) 防災訓練(11月) ④凧づくり(12月)

### 元八王子地域学習総合マップの活用

地域学習に役立たせるため住民協議会に協力し制作した「地域学習総合マップ」を全教職員と学校運営協議会委員に配布し、地域のことを啓蒙している。特に新しく赴任した教員に地域のことを知ってもらう資料として活用している。(学校ホームページにも掲載)

### 不登校児童の居場所づくり

当協議会では城山中学校の協議会と協働し、不登校児の居場所として「城山かわせみ塾」を運営している。今年度は小学生の参加者はいなかったが中学生5名が利用した。先駆的な事例であり、今後も継続して取り組んでいく。



学校運営協議会委員と教職員



満席のホタル講座



元八地域の史跡・旧跡マップ

### 特記事項 コロナ禍における特徴的な取組

・会長宅がホストとなり Zoom オンライン会議システムを活用することにより予定した会議7回をすべて実施し、新型コロナウイルスの感染を防ぎ、充実した協議を行うことができた。

## 活動の目的・概要

## 地域の風が行き交う学校

コミュニティ・スクール 式分方小学校

地域住民から式分方小学校への関心を高めることで、小学校を中心とした地域コミュニティの再生を目指す。

子どもたちが、保護者や教職員だけではなく、多くの大人たちと出会い、活動をともしることにより、地域と関わろうとする心、地域を大切にしようとする心の育成を図る。



## 活動の特徴・工夫

## 夏休み体験講座「わくわくサマースクール」の企画・運営

夏休み中も子どもたちが安全に過ごせるよう、学校が居場所となり、「わくわくサマースクール」を学校運営協議会主催で開催している。地域人材を活用し、工作・手芸・理科実験・地域探索・各種球技・パソコン教室など、10を超える講座を開催した。



## 式分方スポーツフェスティバルでのPR活動



学校運営協議会の知名度拡大と活動の理解を図るために、式分方スポーツフェスティバル当日のジュース購入者に「かっぱいこ」がデザインされた缶バッジを配布し、認知度を高めている。多くの保護者・地域の方に配布することができた。

マスコット「かっぱいこ」



## 青少年対策元八王子地区と連携した緑化活動

学校正門周辺や使用されていない花壇の整備に青少年対策元八王子地区の緑化活動部と連携して取り組んでいる。学校を彩る草花を育てて、卒業式や入学式のころには子どもたちを祝う花々が咲き誇るよう育てている。



## 広報誌「にぶっこみゆこみゆ」を年3回発行

広報誌を通して、学校運営協議会の活動報告、ボランティア募集等を行い、地域の学区内の各町会、学校関係者に配布している。



## 八王子観光PR 特使

## 「UPLIFT」をお招きして！

UPLIFT をゲストティチャーに迎え、5月には道德授業地区公開講座を12月には6年生を中心に、昨年作った歌「未来へ」の歌詞を基に、今後の人生について考えを深めたキャリア学習をおこなった。



## 活動の目的・概要

横川地区の子どもである横川小学校・横川中学校の児童、生徒を小中合同の学校運営協議会が中心となって、小中の教職員、PTA、青少年対策横川地区委員会等の各種団体との連携を強化し、地域ぐるみで育てていく。

- ・毎月1回の学校運営協議会の開催
- ・学力向上の手立てを図る（学習支援部）
- ・地域防災体制の確立に向けた活動の推進（地域連携部）

### 横川小中合同学校運営協議会

#### 学習支援部

- ・学習教室
- ・漢字・英語検定
- ・日常の学習支援訓練

#### 地域連携部

- ・地域防災
- ・小中合同引取り訓練

## 活動の特徴・工夫

### 小学校の学習支援、地域のボランティアの活用

小学校からの要請により、学習支援部が中心となり、地域ボランティアを募って学習支援を行っている。ボランティアの内容は多岐にわたり、家庭科のミシンボランティア、社会科の「昔の道具紹介」ボランティア、生活科の「町たんけん」引率ボランティア、花いっぱいボランティアなど、様々な地域人材集めの中心を担っている。



花いっぱいボランティア

### 学校運営協議会企画事業「まちをつくろう」の運営

実践女子大学名誉教授高田典夫先生と、協力建築家の方々をお招きして、「まちをつくろう」というプロジェクトを学校運営協議会主催で毎年行っている。校庭いっばいにダイナミックに安全な木材を組み合わせてグループごとに家を建て、町を作って発表会を行っている。



まちをつくろう

6年生が代表して行っているが、全校児童が休み時間には見学しに来て、様々な質問をしたり感想を言ったりして、異学年交流の場になったり、数年後の活動の憧れをもつきっかけの場となったりしている。

### 漢字検定・英語検定の実施

PTAの協力を得て、漢字検定・英語検定を年間3回ずつ実施している。小学生、中学生だけでなく、保護者もできるように募集をかけている。年度の終わりの保護者会では、次年度の予定を配布し説明するなどして、計画的に取り組みきっかけとなるよう、保護者にも早めにお知らせをしている。

### 特徴的な取組

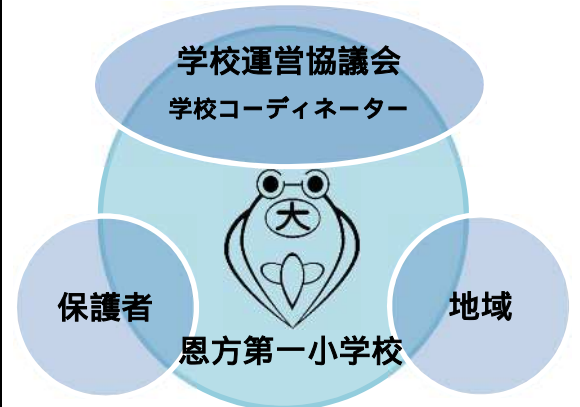
青少年対主催、学校運営協議会共催でのクリーンデーを年3回行う。全員軍手を着用し、感染症対策を万全に行った上での実施で、基本は小学生と中学生と一緒に活動することになっている。



## 活動の目的・概要

恩方第一小学校の学校経営方針の具現化をめざし、学校・保護者・地域が協働する学校づくりを実現する。

- ・学校運営協議会を年11回行い、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。
- ・広報活動により、地域運営学校の主旨や活動内容について積極的に周知するとともにボランティアの人材発掘を図る。
- ・学校と協働して、学力向上の取組を行うことで、児童の学力の向上を図る。



## 活動の特徴・工夫

### 地域清掃活動

青少対恩方地区委員会やPTAなどと連携・協働して年3回の地域清掃活動を実施している。児童・保護者・教職員・学校運営協議会委員が協働して行う清掃活動を通して、相互の交流を図るとともに、地域を知り、地域を愛する心を養っている。



### 漢字検定・漢字検定模試（ボランティア）

恩方第一小学校では、漢字検定を準会場として行っている。一昨年度までは、年1回の漢字検定と漢字検定前の模試を行っていた。昨年度から機会を増やし年2回ずつ行っている。学校運営協議会を中心として、地域・PTAと連携して会場運営や模試の丸付けを行っている。子供たちの参加だけでなく、生涯学習の観点からも保護者等にも参加を募集している。また、恩方中学校と連携して各校での実施の通知を行い、恩方地区で年間計5回の機会を設定している。



### サマースクール支援（学習ボランティア）

夏季休業中に学校で実施するサマースクールの運営を支援している。放課後学習の夏季休業版であり、学習時間が長時間になる活動である。学校運営協議会として、ボランティア募集を行ったり、丸付けボランティアとして児童の学習プリントの丸付けを行っている。



### 活動の目的・概要

学校経営方針の「楽しい学校」創りを学校・家庭・地域の協働により達成していく。

地域住民や保護者に対し、恩方第二小学校学校運営協議会の運営目標や協議結果を積極的に情報提供していく。

学校運営協議会を年11回行い、学校の運営を参観し、行事等に参加する中で、学校・家庭・地域が連携した学校づくりを推進する。

年間行動目標を「地域の特性をさらに生かした学校運営」とし、学校運営協議会として協議を行う。

### 恩方第二小学校学校運営協議会

#### 学校・地域・家庭の協働

学校コーディネーター

学校サポートチーム

学校安全ボランティア

教育支援ボランティア

放課後子ども教室

### 活動の特徴・工夫

学校運営協議会委員は、学識経験者、町会長、民生児童委員など、地域に関する知見が深く、地域で活躍し、経験豊富なメンバーが多い。「困っているときは、手を差し伸べる」をモットーに活動している。

#### 学校の教育環境整備

自然豊かな恩方第二小学校の環境を十分活用できるように学校運営協議会が中心となり裏山や校庭の整備などを行っている。子供たちはタケノコ掘りをしたり、裏山探検をしたりして楽しい体験をしている。



#### 災害に対する対応

土砂災害、雪害に見舞われる危険の高い土地柄で、地域としてどのような対応が可能か話し合っている。合同地域防災訓練では、防災会会長と緊密に話し合い、全児童、教職員と地域との防災訓練を実施している。



#### 地域を生かした教育活動

自然豊かで歴史のある恩方地区である。

地域の目を学校に向けることで、学習支援者・ボランティアの人材を発掘し、教育活動に繋げる。恩方漁業協同組合の協力を得て、ヤマメ里親体験を全児童で行っている。



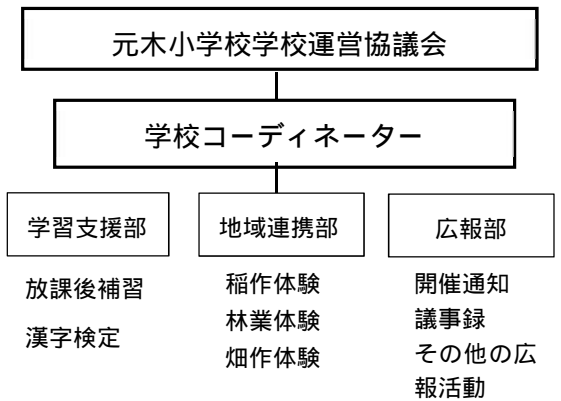
#### コロナ禍における特徴的な取組

少人数を生かし、感染予防対策を取りながら通常通りに近い活動を行っている。

## 活動の目的・概要

地域の将来を担う子どもたちを自らの手で育成することを目的に、学力向上や地域と連携した「生きる力」の育成について熟議を重ねている。

学校運営協議会の運営目標である「学校と地域とのパートナーシップを確立し、学校・地域・保護者が一体となって学校・地域の活性化を図る」をモットーに、多様な活動を地域全体で行う仕組みを構築している。



## 活動の特徴・工夫

### 水曜放課後補習

従前から毎週水曜日に3～6年生の希望者を対象に実施していた放課後補習教室を、平成29年度から学校運営協議会が実施主体となって活動を展開している。地域の方に学習アドバイザーとして協力いただき、基礎学力の定着に向けて、学習の躓きをなくす取組を行っている。児童は意欲的に参加し、「できる・わかる喜び」を味わっている。



### NPO法人小津倶楽部と連携した活動

・平成29年度から、3年生を対象にNPO法人小津倶楽部と連携した農業・林業体験活動を実施している。

耕作放棄地を活用した農業活動では、学校運営協議会、NPO法人小津倶楽部が立会いのもとで、児童・保護者が参加し、オリーブ植樹を実施。60本のオリーブが植樹され、その成長を見守っている。植樹されたオリーブの管理は、日本オリーブ協会の指導により、市の協力のもと、学校、学校運営協議会、NPO法人小津倶楽部が連携して行っている。今後3年～5年の期間の生育状況を見て農業として成り立つかを検証していく構想である。

・平成30年度からは、薪割りやブンブンごま作り、のこぎりを使っての檜コースター作りなどの体験学習も行っている。

・令和3年度は、竹の楽器作りを実施した。



H30.2.3 大雪 極寒の中  
頑張ったオリーブ

### 漢字検定の実施

平成29年度から、漢字検定を実施している。恩方中学校で5月、元木小学校で1月に実施し、小中連携しての事業となっている。

令和3年「竹の楽器作り」



## 活動の目的・概要

地域に根ざした学校運営を進めるため、青少対、各自治会等地域の事業と連携した学校運営協議会を運営し、校内組織との関係を密にする。  
学校とともに家庭・地域が連携した学校づくりを推進する。  
地域の人材を活用し、教育活動の充実を図る。

### 構成メンバー

- ・地域関係者  
各町会長 民生児童委員 育成指導員
- ・保護者
- ・学識経験者
- ・校長  
(副校長、主幹)

## 活動の特徴・工夫

### 農業体験学習

地域のボランティアの方々の協力のもと、5年生では田植え・稲刈り体験、3年生では川口エンドウの栽培を行っている。田植え・稲刈り体験では、機械に頼らずに作ることで、普段何気なく口にしているお米(米飯)がどのようにして作られているのか、作り手の大変さを知り、お米(食べ物)を無駄にしない気持ちを育てている。

また、川口エンドウという地域の食材を実際に育てることで親しみをもち、大切にしようとする気持ちを育んでいる。

### 地域清掃活動

青少対やPTA等と連携・協働して年1回地域清掃活動を実施している。児童・保護者・教職員・学校運営協議会委員が協働して行う清掃活動を通して、相互の交流を図るとともに、地域を知り、地域を大切にすることを養っている。年々参加者も増えている。

### 漢字検定

PTAと協力して漢字検定を年1回実施している。児童だけでなく、保護者の受検もできるように募集をかけている。感染防止対策を講じながら実施している。

### 図書ボランティア

学校図書館の充実を図るため、PTAを中心とした図書ボランティアの方々が図書の補修や図書室の掲示の装飾等を行っている。また、朝読書の時間に図書ボランティアの方による読み聞かせを定期的に行い、児童の読書意欲の向上を図っている。

### 放課後子ども教室

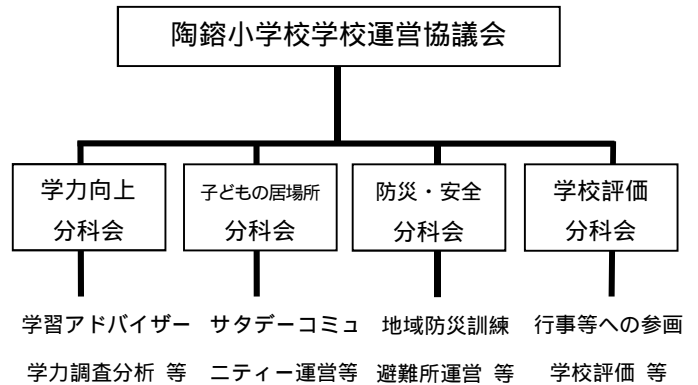
土日祝日を除くほぼ毎日実施しており、子どもたちの放課後の居場所づくりを行っている。管理員の方々は地域の方で構成されている。



## 活動の目的・概要

「進んで学び、粘り強く自己を高める子どもを育てる学校づくり」「子どもの社会性を育てる地域づくり、安心・安全な地域づくり」を推進するために、年11回の定例会での審議のほか、学校や地域のイベントに参画する。

それぞれの分科会がコーディネーターとして地域・家庭・学校を協働させ、知育・徳育・体育の調和のとれた「真の学び舎」を目指した取組を実施している。



## 活動の特徴・工夫

### 陶鎔サタデーコミュニティー

子どもたちの「サードプレイス(心のよりどころとして集う場所)」の実現を目指し、毎月第1土曜日に実施している。PTAサタコミ委員会を中心に運営を行い、地域の方を指導者として、様々な体験的な活動を展開している。

「和太鼓」「スポーツ」等の講座を開設し、100名以上の子どもたちが活動に参加している。さらに「陶鎔小学校おやじの会」との共催で、夜の学校を巡る「ナイトツアー」や「ランタンナイト」を毎年実施し、300名以上が参加する地域行事となっている。



### 学習アドバイザー

学習指導や児童の心理について見識の深い委員が、週1回「学習アドバイザー」として、各学級を巡回している。学校生活になじめない子どもや学習に困難を感じたりしている子どもたちへのサポートや教員への指導方法について具体的なアドバイスを行っている。



### 「どんぐり山」「心の池」「成長の池」の改修工事

おやじの会との連携により、29年度は「どんぐり山」、30年度は「心の池」、令和3年度は、「成長の池」の改修工事を実施。工事に必要な原材料となる砂利や砂、コンクリート、丸太等については、八王子市の提案型予算により出資したが、人件費をゼロにするために、おやじの会のメンバーが、熱心に工事に参加して、それぞれ一年近くかけて完成した。



## 活動の目的・概要

地域の教育資源を活用し、児童への学力の保証を行う。児童の豊かな心の育成を図る。  
学校、地域、保護者が協働した教育活動を行う。  
計画的に人材を活用できる組織を作る。



以上の目的のもと、お互いに意見を交換し合いながら教育活動の充実を図る。

### 構成委員

- ・地域関係者  
各町会長、民生児童委員、育成指導員  
子ども会会長
- ・保護者
- ・学識経験者
- ・校長  
学校関係者として副校長、主幹教諭が参加  
必要に応じて、主任教諭や教諭も参加

## 活動の特徴・工夫

### 家庭学習のてびき

学校運営協議会、学校、PTAが協働して家庭学習の手引きを作成。  
学校と家庭の学びの連携を図ることで、確かな学力の定着を目指している。  
保護者向けの内容だけでなく、子どもたちに向けて、学年ごとに家庭学習の進め方や内容についてもまとめている。

### 地域参加型行事、保護者参加型活動の推進

学校行事への意見等をいただくとともに、学校への関心を高めてもらう機会を設けている。

- ・運動会で地域の「獅子舞」をアレンジした「子ども獅子」を全校児童で踊り、伝統文化を継承する。
- ・児童の稲作栽培活動を地域ぐるみで支援している。
- ・学校運営協議会と共催で道徳授業地区公開講座を開催している。

### 学校運営協議会を介した地域行事への参加

- ・子ども獅子を町会の夏祭りで披露することで、地域との交流を進める。
- ・炭焼き体験でできた竹炭と農業体験で育ててできた野菜を上川農業センター祭りで展示する。

### ボランティアの募集

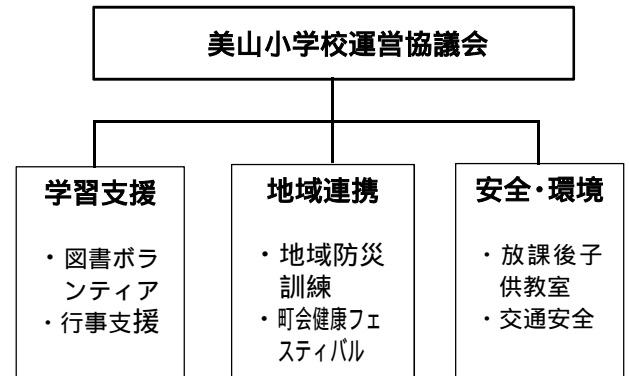
学校運営協議会で協議した学校支援活動等を実施するために、学校コーディネーターと連携し、地域人材の募集をしている。学習ボランティアやサマースクールなど学校運営協議会も積極的に参加し、充実した取組を展開している。



## 活動の目的・概要

教育目標「元気な子」「考える子」「やさしい子」を育てるために学校と地域・保護者が連携して学力向上や自立した児童の育成に取り組み、地域と共に発展する学校を目指す。

定期的な学校運営協議会を通して、学校・地域の課題を共有し、学校行事や地域行事の中で協力・協働しながら地域の活性化と教育活動の充実を図る。



## 活動の特徴・工夫

### 学習支援

- ・学校図書館を地域の資源として、地域開放型図書館という位置付けで家庭・地域の方々に活用していただいている。
- ・八王子お話の会や学校図書館ボランティアによる読み聞かせを行い、家庭・地域と連携した読書活動の充実に取り組んでいる。
- ・社会科や生活科、総合的な学習の時間に地域の施設やお店を訪問させていただき、地域をより深く知る機会としている。また必要な教科・単元のなかで、ゲストティーチャーとして御来校いただき、お話を伺ったり御指導をいただいたりすることで、児童の興味・関心の向上につながっている。
- ・運動会や展覧会の中で、地域と連携した行事の開催に取り組んでいる。

### 地域連携

#### ・地域防災訓練

9月中旬の土曜日午前中に開催される、美山町会主催の自主防災訓練に参加している。大規模災害が発生したときに児童自らが自分の命を守るために、適切な行動がとれるよう訓練を行っている。令和3年度はVR防災体験車で災害の怖さをバーチャル体験した。また、同時に起震車体験や心肺蘇生にも取り組み、充実した訓練となった。このように地域で防災訓練に取り組むことで、非常時の絆作りに生かしている。



### 安全・環境

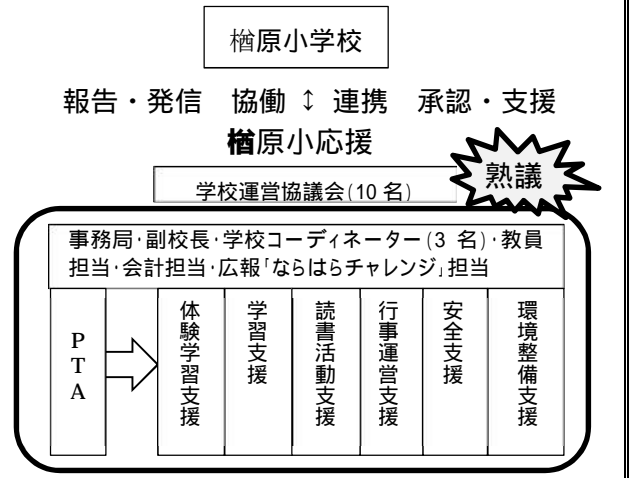
#### ・放課後子ども教室

保護者の協力を得ながら、子どもたちの放課後の安全を確保するために、放課後子ども教室を開催している。1年から6年までの全児童が参加可能で、子どもたちの自主的な活動を通して、コミュニケーションを図りながら人間関係を深めている。

## 活動の目的・概要

子どもたちの幸せのために、人と人をつなぐ。そして、檜原の素晴らしい豊かな資源(自然・人材)を活かし、各々が成長できるような学びの環境をつくるため、以下の3点を活動の指針とする。

- 1 豊かな自然環境を利用した、「体験学習の場」と仕組みづくり
- 2 学校を含めた地域の人々との、「温かな交流の場」と仕組みづくり
- 3 個性豊かに一人一人の児童が、たくましく成長し、自分らしく輝けるよう、「見守り支える場」と仕組みづくり



## 活動の特徴・工夫

### 広報活動・情報共有

地域運営学校としての取組を学運協だより「ならはらチャレンジ！」で発信。学校だよりやPTA通信でも紹介している。自治会や青少対の情報ははじめ、地域の行事についても、校内や各家庭に発信し、情報共有を図っている。また、地域運営学校としての理念と目的意識を共有するために、全教職員との熟議を行っている。

### ○地域人材・地域団体の活用

・学校コーディネーターを中心に、保護者・地域からボランティアを募り、教育の充実を図っている。教員・保護者以外の大人との交流が、子どもたちに新たな学びや多様な人と関わる機会となっている。また、保育園・幼稚園で児童が仕事体験をさせていただいていることで、保幼の先生方が学校参観に積極的に来てくださり、保幼小の交流が深まっている。

・PTA「防災キャンプ」に檜原小学校を中心とした地域合同防災対策を統合させ、地域行事として開催している。

### ○学校支援活動

PTAや地域による支援活動(学校行事支援や安全見守り、読書活動、体験活動の支援など)に加え、下記項目等にも力を入れて活動を推進している。

・学校農園「ハピネスファーム」の整備

敷地に隣接する学校農園用地を活用し、地域の専門家と連携した、農作物栽培体験活動を充実させている。

・不登校支援のための「ハピネスルーム」の整備

不登校児童に教室、保健室以外の居場所をと整備し、学校コーディネーターを中心に運営している。

・漢字検定の実施

平成29年度より学運協主催で年に2回実施している。

・様々な学習支援と体験活動の充実

総合的な学習の時間や家庭科等の実習授業や校外授業、プール等の支援を行う。また、放課後子ども教室「檜っ子クラブ」にも学習アドバイザーを配置し、児童の見守りと支援を積極的に行う他、授業や放課後子ども教室に専門家を呼び、教育の充実を図っている。これまで、東京八王子ビートレインズによるバスケットボール指導や明星大学星山麻木教授による特別支援教育講演会などを行っている。令和3年度より、NARAHARA GLOBAL GATEWAY(NGG)のサポート事業としてCLIL教育も開始している。



## 活動の目的・概要

○学校運営協議会のスローガン「皆で見守り、皆で育てる」の達成  
 ○「すべての子供たちに居場所があり、一人一人を大切に」「子供たちの良さや可能性を伸ばす」「子供・保護者・地域・教職員に愛される」学校に  
 上記2つの達成のために、「安全」「読書」「学び・遊び」「地域連携」の4つの柱を立て、自主的に創意工夫をして活動し、学校・地域・保護者が一体となって、子供たちのために多様な活動を行う仕組みを構築。

### 学校運営協議会

防災・安全グループ(地域防災会議)

読書のまちグループ(読み聞かせ)

学び・遊びグループ(放課後子ども教室)

学校連携グループ(保・中・高校など)

## 活動の特徴・工夫

### 防災・安全グループ(地域防災会議・登校の見守り・通学路点検)

【活動内容】学校安全ボランティアの拡充と継続を図る。

地域防災会議等との連携を図り、地域五町会合同避難訓練は、子供たちも参加し地域防災への関心を高める。

P T A ・ からまつ明生会 ・ 交通安全協会の方々が曜日等を分担し、子供たちの安全な登校を見守る。

通学路安全点検を行い、カラー写真付き通学路危険箇所マップを作成配布する。

通学路安全点検から見てきた危険箇所を、合同安全点検にて行政と建設的な相談をし、改善に生かす。

・ 防災会議(五町会合同) ・ 学校安全ボランティア ・ P T A 校外

### 読書のまちグループ(地域図書館連携・読み聞かせボランティア)

【活動内容】特色ある教育活動として読書の充実を図るため地域の人材を活用し推進する。

川口図書館との連携を図り、授業として全ての学級が訪問し、図書活動を行う。

ボランティア団体「りいでいんぐくらぶ」が、毎月1回、全学級一斉に読み聞かせを行う。

・ 川口図書館 ・ 町内会、自治会 ・ 図書館ボランティア ・ P T A

### 学び・遊びグループ(放課後子ども教室・漢字検定)

【活動内容】放課後や長期休業中における安全な学び・遊び場の居場所づくりを行う。

主催するN P O法人と連携をとり、週5日の放課後子ども教室(松枝っ子)を支援する。

放課後も長期休業中も入学式等の行事でも、児童が宿題をしたり思い切り遊んだりできる場所を確保する。

毎年100名以上の参加がある漢字検定を年に一度行い、より学ぼうとする意欲を高める機会を設ける。

・ 町内会、自治会 ・ 放課後子ども推進委員会 ・ P T A

### 学校連携グループ(幼保中・学童クラブ・川口児童館・子ども家庭支援センター・民生児童委員等との連携)

【活動内容】保幼・学童クラブの連携、地域団体との連携による、子供たちの健全育成を図る。

新1年生や卒業生の情報共有等を行う。地域郷土学習として各施設を訪問し、交流活動を行う。

からまつ学童保育所や子ども家庭支援センター、民生児童委員と協力し、指導の連携を図る。

・ からまつ学童保育所 ・ からまつ保育園 ・ 川口中学校 ・ 川口児童館

### コロナ禍における特徴的な取組

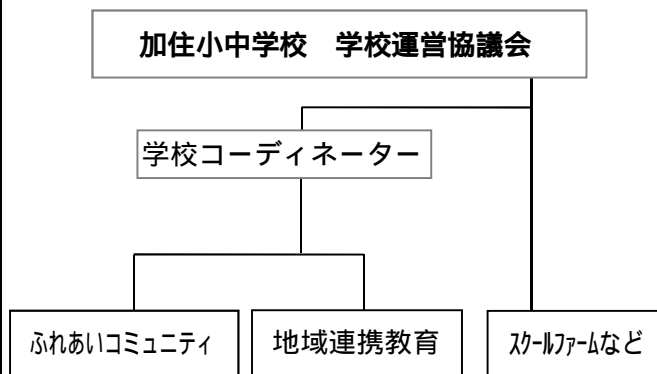
密にならない・換気をする・マスク着用・手洗いの徹底を行い、できる限り活動した。

例) 図書館訪問：学級毎 読み聞かせ：机配置工夫 漢字検定：教室人数設定 交通手段：路線バス貸し切り

## 活動の目的・概要

小中一貫校における9年間を通じた教育を推進していく上で、学校の応援団として、基本的な計画や基本的な方針を熟議・承認するとともに、教育活動に必要な地域の人材を確保する。

地域運営学校ならではの特色ある取組（加住ふれあいコミュニティ・地域と連携した教育活動・スクールファーム等）を学校・保護者・地域の連携の中で推進・支援していく。



## 活動の特徴・工夫

### スクールファーム

地域の方の協力のもと、総合的な学習の時間を活用し、スクールファーム（学校における農業体験）に取り組んでいる。栽培した野菜は、宿題として家に持ち帰った後に、料理・レポート作成を行い、学習発表会で掲示することで、地域の方にも成果を見ていただく機会を設けている。

スクールファームが生徒と地域の方とが関わるきっかけとなっており、人の輪が広がっている。



### 滝山城址見学

地域の方たちで組織されている「滝山城跡群・自然と歴史を守る会」の方と、今年度は拓殖大学国際学科町づくりゼミの方たちも一緒になって、地域の歴史的名所でもある滝山城跡地を見て回り、学んだ。なぜこのような地形になっているか、ここはどのような工夫がされているのかといったことを教わりながら、身近なものから歴史を感じ、郷土への愛着を深めていた。



### ふれあいコミュニティ

学校コーディネーターが中心となり、地域の高齢者の方々と本校の放課後子供教室「スマイル」に参加している児童や学童の子供たちの交流機会を設定している。「春の七草植え」や「折り紙・クイズ」などの交流体験を実施、地域の方々とのふれあいの中で、思いやりや高齢者の方々に対する労りの心を育んできた。

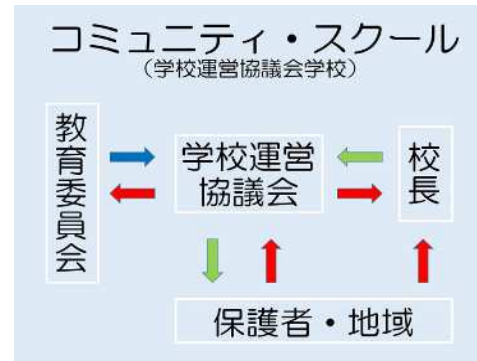
## 活動の目的・概要

地域を愛する

地域に愛される

みんなが輝くシャイニスクール

- ・学校運営協議会を年11回行い、学校の運営を参観し、行事等に参加する中で、学校・家庭・地域が連携した学校づくりを推進する。
- ・年間行動目標を「地域の特性をさらに生かした学校運営」とし、学校運営協議会として協議を行う



## 活動の特徴・工夫

学識経験者、町会長、住民協議会会長、保護司、青少年育成指導員、主任児童委員など地域を支える人材の他、元PTA会長や元学校コーディネーターなど、学校現場に詳しい人材が委員となっている。地域の子どもの育成にかかわっていききたいというメンバーが多い。

### サマースクール

地域人材を活用し、夏休みにはクッキング教室や水泳指導・算数指導（隣接校である打越中学校生徒）などを行っている。



### あいさつ運動

青少対、近隣3校で連携し、地域全体であいさつ運動に取り組んでいる。



### 安全の見守り

児童の登下校の安全管理に目を配り、交通安全協会や南大沢警察署とも連携を図っている。



### ビオトープの整備

校内にあるビオトープや校内の樹木、田んぼ、畑を有効利用できるようにしている。



## 活動の目的・概要

地域運営学校として、広報・啓発活動を推進し、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを目指す。  
地域人材を活用し、学力向上・自然観察・農業体験・地域伝統芸能等について学ぶ活動を推進する。  
小中一貫教育の取組を推進する。

### 由井第二小学校学校運営協議会

#### 広報

学び推進部  
遊び推進部  
小中連携推進部  
保・幼・小連携推進部

#### 教職員

地域  
PTA  
近隣小中学校

## 活動の特徴・工夫

### 学校運営に関する協議

年度当初に学校経営計画について協議し、年度末には学校長より評価を説明し、次年度の計画に活かしている。また、地域での安全・安心について随時協議し、地元町会と連携して、防犯カメラの設置や交通安全の取り組み等について情報交換したり検討したりしている。

### 放課後子ども教室

「放課後子ども教室」を全平日開催し、1～6年生までの放課後の安全な居場所として機能している。運営はNPO法人に委託し、シルバー人材センターを活用して実施している。学校の時間割に応じて、体育館や校庭、図書室などを使用し、子供たちは、宿題をしたり、校庭で運動遊びをししたり、将棋やカードゲーム等を楽しんだりしている。



### 漢字検定

平成30年度から、年間2回、金曜日に漢字検定を実施。約100名の受検者がいて、検定当日には地域のボランティアに協力いただき、運営を行っている。

漢字検定の実施を通して、基礎学力の向上や漢検に対する意識が定着してきている。令和2年度は新型コロナウイルス対策で2学期に1回だけの実施だったが、令和3年度は7月と11月の2回実施できた。



### 地域行事への参加

青少対主催のCC大作戦(地域清掃活動)へ年3回参加予定だったが、今年度はコロナのため中止になったり参加を見送ったりした。

### コロナ禍における特徴的な取組

#### 由井二小桑畑チャレンジ

3年生が総合的な学習の時間で育てる蚕のための校内の桑の木が枯れてしまった。時節柄地域に集めにいくこともできず困っていたが、学運協を中心とする地域の方が桑の挿し木の仕方を教えてくださり、今、校内で桑の栽培中である。





## 活動の目的・概要

地域の教育資源を活用しながら、本校の特色ある教育活動である「夢大地」の取組(自然観察・農業体験・伝統芸能習得活動等)を継続し、さらなる充実を目指す。

学校運営協議会委員による授業参観を設定し、さらなる授業改善に努める。

令和5年度に迎える開校150周年に向けて、学校、PTAと連携し、記念式典・記念行事の準備を進める。

## 150周年準備部会

記念式典・記念行事の計画・準備  
記念誌の作成

## 学習応援部会

夢大地の取組  
地域の調べ学習、昔遊びの支援  
海洋教育の支援

## 安全・安心部会

校内施設・設備の安全点検・改修等促進  
通学路等、校外環境の安全確保  
児童を見守る体制の充実

## 活動の特徴・工夫

## 夢大地

本校の特色ある教育活動「夢大地」の取組は、学校運営協議会の支援によって一層充実した活動となり、学校周辺の豊かな自然とのふれあいや、古くから伝わる伝統文化の理解につながる教育が更に充実している。

1年生は、学校の隣の広場で季節ごとに虫や植物の変化を楽しみ、2年生は、この地域ならではの牧場見学を行っている。3年生、5年生は、地域の方からお借りしている畑で、野菜の栽培について教えていただき、ほうれん草や大根を育てている。4年生は、学校のそばを流れる湯殿川を探検し、6年生は、太鼓の先生に教わり、毎年運動会で豊年太鼓を披露している。

豊かな環境や地域の方々のご指導の下、学年に応じて様々な活動を体験することで、自然の大切さ、動物の飼育や農作物の栽培を行うことの大変さ、難しさ、収穫した時のうれしさ、達成感などを感じる貴重な学びとなっている。

子どもたちは体験活動を通して様々な課題を見付け、解決のために情報を集めたり、友達と話し合ったりして、主体的・対話的で深い学びの育成につながっている。また、小比企・片倉の良さをより一層理解し、郷土愛が生まれ、未来を担う子どもたちが育っている。



豊年太鼓(6年)



大根の栽培(5年)



川探検(4年)



虫さがし(1年)



牧場見学(2年)



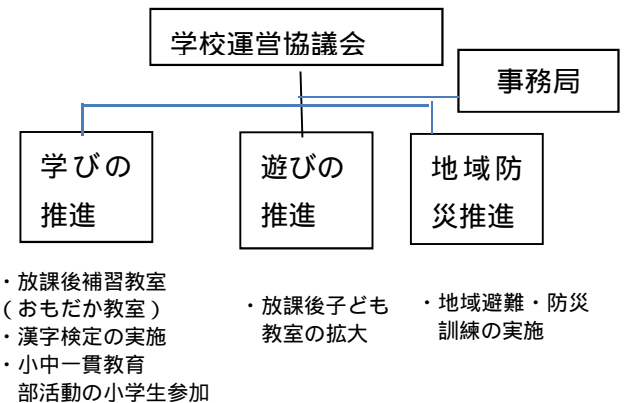
ほうれん草の栽培(3年)

## 活動の目的・概要

学校運営協議会の運営目標の柱を、学校・保護者・地域で子どもと一緒に育てる「共育」(ともいく)とする。

子どもの学力の向上、放課後の子どもの居場所の確保、防災教育の推進という3つの運営課題の解決のために、具体的取組を計画・実施する。

会長、副会長、事務局を置き、委員が「学び推進部」「遊び推進部」「地域防災推進部」の3つの組織に分かれて活動する。



## 活動の特徴・工夫

### 学校運営に関する協議

新型コロナウイルス感染症対策が必要な学校行事について協議を行った。運動会は子どもの思いを実現させながら、どのように実施していくかを検討し、2回に分けて種目を精選し開催することができた。音楽会では、密を避けるためフローア形式で行い、兄弟学年で鑑賞し合いながら、他学年の鑑賞はオンラインを活用するなどの感染症対策を行った。また、緊急事態宣言や蔓延防止措置が発令された際は、学校運営協議会として「学びを止めない」ための対応を協議した。



### 地域のボランティアと連携した放課後補習教室の運営

平成27年9月から、毎週木曜日15時25分～16時25分に高学年児童を対象として基礎・基本の定着を目的にした補習支援を展開している。地域・保護者から学習ボランティアを募り、児童には課題を決めさせ、自主学習を支援する活動を行っている。専用の出席カードの配布や年度末には修了証を発行するなど、子どもたちの参加意欲を高める工夫を凝らしている。地域の方と子どもたちとの交流も深まっている。



### 地域人材を活用した農業体験

生活科・総合的な学習の時間に野菜作りや米作りを地域の方をゲストティーチャーとしてお招きして、学習の充実を図ってきた。学校にある畑で野菜を栽培したり、地域の方の畑をお借りして稲作や野菜作りをしたりするなど子供たちの体験活動を充実させることができた。



### ○放課後子ども教室の拡大

水曜日と金曜日の週2回実施。地域の安全管理員にお願いし、また、子どもの参加数も年々増加している。新型コロナウイルス感染症対策を行い運営してきた。子どもたちの放課後の居場所の確保だけでなく、学力や体力の向上にもつながっている。

## 活動の目的・概要

教育目標の「心も体も健康な子・すすんで助け合う子・よく考えて実行する子」を学校・家庭・地域の協働により達成することを目指す。

学校運営協議会を年9回行い、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。

「地域の特性を生かした教育支援体制の推進」を年間行動目標に位置付け、学校運営協議会と学校で協働して活動する。

片倉台小学校学校運営協議会

学校コーディネーター

学習支援事業

- ・夏休み補習教室
- ・学習ボランティア他

地域連携事業

- ・花いっぱい栽培活動
- ・地域防災訓練他

## 活動の特徴・工夫

### 夏休み補習授業・学習ボランティア事業

平成29年度より、夏休みの補習学習に学校運営協議会の協力を得ながら、補習授業を実施。地域の方に学習アドバイザーとして協力いただき、基礎学力の定着に向けて、学習の躓きをなくす取組を行っている。また、2学期から3学期にかけ、日常の授業にも学習ボランティアを配置し、算数を中心に困り感のある児童の支援に当たれるように、学校運営協議会で検討した。



### 花いっぱい笑顔いっぱいの学校を目指した活動

学校運営協議会の設置に伴い、「花いっぱいの栽培活動」を、より地域の方々と連携した活動として実施している。月に1回程度、縦割り班活動として、地域の方にも各班に入っただき、児童と地域の方が一緒になって花壇の整備や花を植えたりしている。



令和3年度は、7回実施

### 学校・家庭・地域・行政が連携した総合防災訓練

学校運営協議会の設置を契機に、地域と学校、関係団体が一体となって災害に立ち向かう体制づくりを行うため、学校や自治会が個々に行っていた防災訓練をより連携を深めて実施している。

訓練は授業の一環として全校児童が参加している。地区班に分かれ、地域や保護者の方と一緒に体験コーナーを回って体験訓練を行うことで、地域のつながりが深まり、お互いの顔を知ることができるように工夫している。訓練は、市や消防と連携して、応急救護や初期消火など、本格的な内容となっており、学校を拠点とした防災体制の確立につながっている。

令和3年度も実施に向けて学校運営協議会で検討を重ねた。



## 活動の目的・概要

高嶺小学校学校運営協議会が目指す  
児童像と子育て環境

どの子どもも健やかに育ち たくましい骨太っ子に

(健やかな心身)

「確かな学力から自信へ」

自尊感情の育成

「多様性を認める他者理解」

協働する力の育成・インクルーシブ教育の推進

「認められる体験」

豊かな体験活動の推進

「一人で抱え込まない子育て」

ともに育てる環境づくり

学校・保護者・地域が一体となった子育ての推進

高嶺 小学 校学 校運 営協 議会	環境美化部	「花壇、校庭の草取り」「池、高嶺富士の清掃」「花植え」等
	学習支援部	「放課後補習教室『くすの木教室』」「漢字検定」等
	体験活動部	天体観望会」「焼き芋大会」等
	安全対策部	「交通安全教室」「登下校時の見守り」「行事の安全対策」等
	子ども保護者支援部	「親子草取り」「青少対クリーン活動」「世話人会と連携」等

## 活動の特徴・工夫

## 校内外の環境美化活動

令和3年度は、コロナの影響により、これまで取組んできた活動がほとんど行えなかったが、唯一行えたのが校内外の環境美化活動である。活動としては、校庭の花壇の手入れ、卒業式・入学式に向けてプランターでの花の育成、学校池の掃除・浄化などである。

正門を通過して昇降口や玄関までの間に、花壇の色鮮やかなたくさんの花が子供たちや保護者や地域の方を迎えてくれる。また、卒業式や入学式の際には、校舎と体育館の渡り廊下にプランターが並び、節目を華やかに彩ってくれた。また、学校池の清掃や浄化も行い、子供たちのオアシスとなっている。

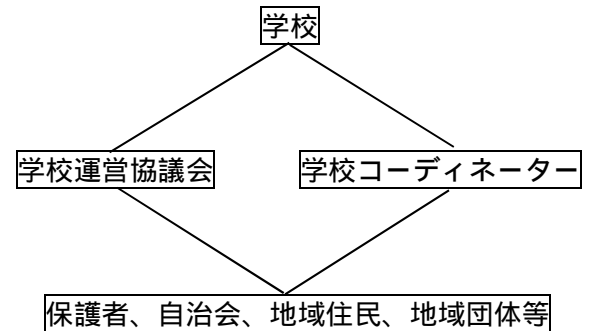


## コロナ禍における特徴的な取組

本来であれば、子供たち同士、親子、保護者間、地域と子供たち、保護者と地域の交流の場として活動したかったが、コロナ禍ということもあり、大人だけで行ったり、人と人との間隔を設けて作業を行ったりしたため、本来の活動ができなかった。

## 活動の目的・概要

○令和3年度の学校経営方針のテーマ「義務教育学校への移行を見据えた施設一体型小中一貫校の使命と創意工夫」を、新型コロナウイルス感染防止への対応を含め、具体的に学校・家庭・地域の協働により達成していく。1年間の学校運営協議会の議題を計画的に設定するとともに、臨機応変な対応も組み込み、学校と共に家庭・地域社会が連携したシステムづくりに取り組む。みなみ野小中学校と地域の連携を深め、地域に貢献する学校、地域に愛される児童・生徒の育成に取り組み、みなみ野の街づくりの一翼も担う。



## 活動の特徴・工夫

### 街づくりへの参加

子どもたちが、地域づくりに参加し、街づくりの担い手としての自覚をもち、学びや体験活動を充実させ、自己肯定感や他人を思いやる心を育てる活動を展開している。例えば、青少対の地域清掃の取組は参加者も増加し活発に行われている。また、学校近隣の栃谷戸公園では、地域の市民団体と学校とが連携し、里山の再生に取り組むなど、地域環境の保全と文化の継承などの活動に取り組んでいる。これらは、地域人材を活用した教育活動の充実、社会に開かれた教育課程の実現にもつながっている。



### 教職員との交流・熟議・協働

多忙な教職員の実情を、委員と面談し交流することにより、学校が抱えている詳細な課題まで明らかになり、その改善のための具体的なアクションにつなげる工夫を熟議している。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、学校行事の可否などについて学校の対応を協議している。

### 地域学校協働活動に向けて

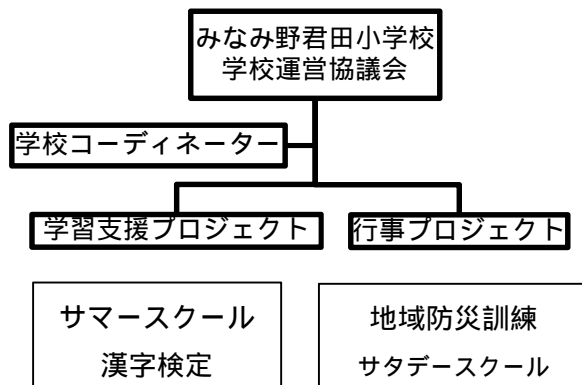
学校や地域の課題を共有し、校長のリーダーシップのもと、共通の目標・ビジョンをもち、より多く、より幅の広い層の地域住民団体、住民等が参画することをめざしている。穏やかなネットワークを形成する「地域学校協働本部」的な役割を担う組織として、学校コーディネーターを要に、持続可能なマネジメントの体制を築く基盤づくりを行っている。その具体的な取組として、コロナ禍で中止となっていた漢字検定の復活と実施方法を工夫し、新たなボランティアの募集・組織・運営に取り組むなど、既存の活動を踏まえながら、より効果的に展開している。これらの活動を、令和4年度には地域学校協働活動本部として位置付け、さらなる活動の充実を図っていく。



## 活動の目的・概要

学校教育目標の「学んで伸びる子・強く優しい子・健康に過ごす子」を学校・家庭・地域の協働により達成する。

- 地域住民や保護者に対し、運営目標や協議の結果を積極的に情報提供する。



## 活動の特徴・工夫

**サマースクール**

夏季休業期間に地域の方を交えて補習及び体験型の企画を行っている。

地域ボランティアが指導することで、コミュニケーション能力と主体的に学ぶ力を付けることを目的としている。ボランティアと児童が楽しそうに話しながら学習を進めることができている。

**地域防災訓練**

放課後子ども教室推進委員会の共催で身近な地域における児童の防災意識を高めることを目的に行っている。

毎年、町会の協力を仰ぎ、消防署・消防団・自衛隊・赤十字等を招いて初期消火訓練やロープワーク、心肺蘇生法など体験活動を多く取り入れている。

**漢字検定**

学力向上の一環として団体の準会場受検を行っている。家庭の関心が高く、例年全校児童の半数近くが挑戦している。

学校運営協議会でボランティア（監督者）を募り、会場の環境整備や試験監督等の運営を実施している。

**サタデースクール**

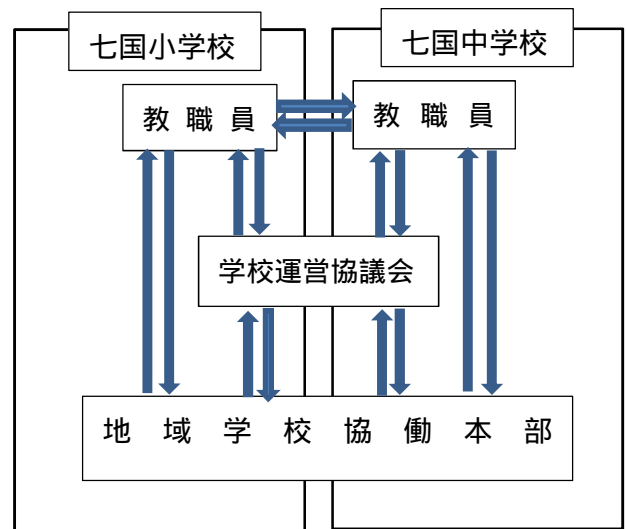
放課後子ども教室推進委員会との共催で、土曜日に、月1回程度行っている。

学校のクラブ活動や地域の団体が集まり、音楽、ダンス、演劇など多様なジャンルの表現活動を披露し合う場となっている。

### 活動の目的・概要

学校の経営・運営・管理上の課題を改善・解決することを目的に、次の(1)～(3)の視点から学校運営について協議するとともに、学校の運営にかかわる地域学校協働本部を組織化し、支援する。

- (1) 子どもにかかわる各種組織・団体が連携し、地域の子どもである七國小・中学校の児童・生徒を、地域ぐるみで育てる。
- (2) 七國小・中学校の学習指導、児童・生徒理解、学校・学年行事等の行事、特別支援教育等の教育活動全般にわたり、各種組織・団体がより一層連携し、学校の教育活動を活性化させる。
- (3) 七國小・中学校が、地域に開かれた教育拠点としての役割を果たす。



### 活動の特徴・工夫

#### 学校運営についての協議等

- ・学校運営を進めていく上での課題や今後の取組についての協議
- ・地域との連携を深めていく上での課題や今後の取組についての協議
- ・地域学校協働本部の役割について協議
- ・他の学校運営協議会の取組についての研修

#### 地域や保護者への周知

地域運営学校としてスタートしたことや学校運営協議会の目的、活動、学校運営協議会委員について学運協だよりを発行し、学校ホームページ掲載、印刷配布し、周知を行った。

#### 七国コミュニティ・カレンダーの作成

小学校、中学校、どんぐりの会、ななくに会、地域、青少対、その他関係諸機関等、それぞれの活動・取組を一覧できる七国コミュニティ・カレンダーを作成した。

#### 数学検定の運営・実施

第1回 7月10日 第2回 10月16日

#### 学校行事

小学校 運動会 学校公開 校内書写展 作品展示会 卒業式  
 中学校 避難訓練 道徳授業地区公開講座・意見交換会 合唱コンクール 薬物乱用防止教室 展示  
 発表会 卒業式

#### コロナ禍における特徴的な取組

小学校 オンライン授業 音楽発表会(配信)

## 活動の目的・概要

キャッチコピー「ふるさと高尾、ふるさと浅川、心豊かな浅川の子」を掲げ、自ら進んでやりぬき、思いやりを持ち、助け合う、健康で明るい子どもを、みんなで話し合い、協働しながら実践し、振り返る活動を重視しながら、育成を図る。  
地域の教育力を生かし、緑あふれる高尾の自然を活用した郷土学習などを推進できるようサポートする。  
教職員及びPTA、地域の関係諸団体と緊密に連携し、子どもの実態や主体性に沿った支援を行う。

## 浅川小学校学校運営協議会

## チーム あさかわ

**あいさつチーム**  
～あいさつ運動など、  
地域ぐるみの運動～

**さがそうチーム**  
～地域人材・  
学習素材～

**かがやきチーム**  
～個性伸長、  
基礎学力向上～

**わをつなごう  
チーム**  
～地域や、組織との連携～

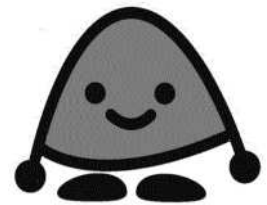
## 活動の特徴・工夫

## 熟議を重ねて活動し、キャッチコピー、あさっこマークを作成

・学校運営協議会の活動は、常時活動の学校サポーターや行事ごとの係の仕事など、学校と連携しながら進めている。しかしながら、多様な学校内外の組織や連携活動がある中で、保護者も含めた町会・地域などの一般の方々が学校運営協議会を認知することは難しい。  
そのよう状況を打破するために熟議を重ね、活動を活発に展開し、充実させ、さらに次世代の学校運営協議会委員の育成を図ってきた。併せて活動や主旨を広く周知し、協力体制を充実させるPR活動も行ってきた。本校では目指す児童の活動や様子を想起させる「キャッチコピー」を定め、活動時のアイキャッチ的なモチーフとして「あさっこマーク」を作成した。

## キャッチコピー

ふるさと高尾、  
ふるさと浅川、  
心豊かな浅川の子



あさっこマーク

## ONEWキャラクター3テング

・平成30年度には、「3テング」のキャラクターを新しく開発・作成し、あさっこマークに続く、本校の代名詞となるように活用している。

運動頑張る 「いだてんぐ」  
お仕事頑張る 「がってんぐ」  
勉強頑張る 「まんてんぐ」



いだてんぐ



がってんぐ



まんてんぐ

## 学校運営協議会事前会議の実施

基本的には協議会の前日に会長、副会長、校長、副校長による事前会議を実施している。会の議題を事前に確認し、会議の流れや意見を出し合う方向性を協議して、本会議の効率化、熟議の充実を図っている。

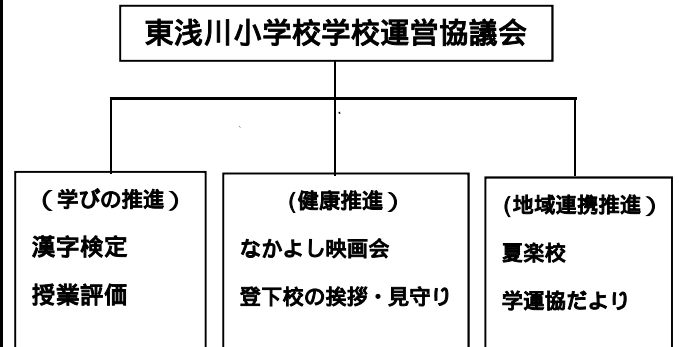
## 歴史ある小中一貫教育 中学校と行う「あいさつ運動」

浅川小学校と浅川中学校は1対1校の小中一貫校として連携を図っている。学校運営協議会の委員にも両校で活躍している方も多く、「あいさつ運動」では年に3回、地域の方も巻き込みながら、青少対ともあいさつの輪を広げている。



## 活動の目的・概要

児童の学力向上に向けた取組を企画・推進する。  
豊かな心を育む環境作りを推進する。  
保護者、地域住民の学校運営への参加を促進し、  
地域に開かれた学校づくりを推進する。



## 活動の特徴・工夫

**夏楽校**

例年、児童が日頃味わえない様々な体験活動を通し、日常生活の中でも生かされることをねらいとして事業を実施している。

内容としては、昔遊び、バスの安全と乗車マナー、車椅子体験、AEDの使い方、戦争体験学習として毎年定着している。

**なかよし映画会**

1学期の学校公開で、人間関係をテーマとした映画鑑賞会を行っている。いじめや不登校、自殺等の現代社会の問題について取り上げ、親子で語り合い、ともに考え、自他の心に向き合うことをねらいとしている。

**漢字検定**

3学期に本校を準会場として実施している。確かな学力を身につけた子どもの育成のひとつとして、多くの児童の漢字力向上をねらいとしている。

**授業参観・授業評価**

学校公開での授業参観と授業評価を通して教師の授業力向上をねらいとしている。

**登下校の挨拶見守り**

大規模マンションや大型ショッピングセンターが通学路と近接していることから、甲州街道や町田街道、けやき通り等、通学路における登下校の挨拶見守りを通し、安全を図ることをねらいとしている。

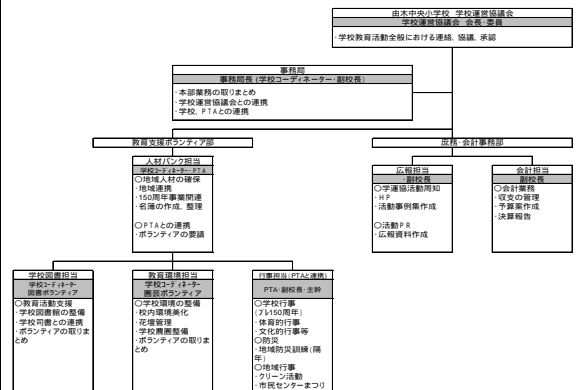
**学運協だより**

月に1回の学校運営協議会の内容を、保護者や地域の方々に周知し、理解と協力を仰ぐことをねらいとしている。

## 活動の目的・概要

教育目標の「すすんで学習しよう・あったかい心をもとう・じょうぶな体をつくろう」を学校・家庭・地域の協働により達成していく。  
学校運営協議会について、地域住民や保護者に情報提供をしていくとともに、組織の活性化を図っていく。

令和4年度 由木中央小学校協働推進本部組織及び事務局体制(案)



## 活動の特徴・工夫

### ○地域連携部の取組「防災訓練」

学校運営協議会が主催し、防災に関する研修を行った。感染状況が芳しくない状況であったため、学校運営協議会委員、PTA 本部役員、本校職員等に参加者を制限し、八王子市役所の水環境整備課、水再生施設課、防災課の三課の指導の下で実施した。今回の研修は、本校にある施設で災害時に活用できる「水の汙水装置」「緊急時給水施設」「災害用トイレ設置」について体験を交えながら取り組んだ。



### 環境部の取組

学校運営協議会と保護者のボランティアが連携した園芸活動を通して、学校環境向上に取り組んでいる。ガーデニングに詳しい保護者の方の協力を得て、月に1回、花壇の整備を行っている。登下校する児童達だけではなく、由木中央小学校前バス停を利用する地域の方々にも憩いの花壇としても親しまれている。入学式では桜は散り始めていたが、育てた花々をバックに写真撮影をする家族が多くみられた。



### 図書部の取組

本校の言語活動向上の一環として、詩の暗唱と読み聞かせを行ってきた。コロナ禍のためボランティアによる関わりは控えているが、環境整備に力を入れ、図書室前には読書への意欲をもたせるような掲示を作成する等、取り組んでいる。



## 活動の目的・概要

教育目標「見つめ 考え 言える子、ねばり強く やりとげる子、心も体もじょうぶな子、すすんで力を合わせる子」を学校・家庭・地域の協働により達成していく。

- 1 学校運営協議会を年6回行い、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりをさらに推進する。
- 2 年間行動目標を「地域の良さを生かした運営体制」とし、学校運営協議会として協議を行う。

学校運営協議会

教育支援ボランティア部会

保幼小中連携部会

環境美化・行事部会

広報活動部会

## 活動の特徴・工夫

### ○地産地消、食育の取組

低学年を対象に、理科の実験や観察のための利用が終わった畑に地域の方の協力や指導を得ながらサツマイモを栽培した。収穫したサツマイモを食すことは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から実施できなかったが、家に持ち帰り食すことができた。サツマイモのつるは、おもちゃ作りをしたり、リースづくりをしたりして、生活科の学習にもつなげることができた。

### 図書ボランティア

保護者から図書ボランティアを募り、図書室の整備や読み聞かせ等の活動を行っている。読み聞かせは、今年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から実施はできなかった。整備については1年を通して実施することができた。



### 地域のゲストティーチャーを招いての郷土学習

3年生総合的な学習の時間と社会科では、郷土学習の一環として地域めぐりをしながら由木のまちについて調べる学習を進めた。調べていく中で疑問に思ったことや不思議に思ったことをまとめ、地域のゲストティーチャーに来てもらい、課題を解決した。また、調べてことは「東っ子学習発表会」で劇仕立てにして発表した。発表会の様子は、地域の方にも見てもらった。

地域に愛着をもち、由木のまちをこれからも大切にしていこうとする心情を育むことができた。

### コロナ禍における特徴的な取組

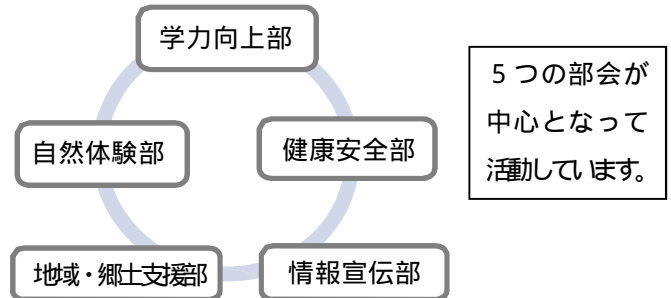
3年生の社会科の「昔の暮らし」の学習では、地域の方にゲストティーチャーとして参加してもらった。その際に、1クラスで授業を実施してもらい、他の3クラスはGoogle Meetを活用して、オンライン配信を行い、学年全員で集合した授業形態ではなく、三密にならない工夫を行った。

## 活動の目的・概要

「由木西小だからこそできる教育の実現」を推進するため、学校運営協議会は以下の役割を担い、学校教育活動を支援する。

- (1) 学校の基本方針について承認する。  
(教育目標・学校経営計画・教育課程の編成・学校の組織編制・予算編成・施設管理等)
- (2) 学校運営や職員の採用・任用について校長や教育委員会に意見を述べる。
- (3) 特色ある学校づくりを推進するために様々な活動を行う。

### 由木西小学校運営協議会 組織図



## 活動の特徴・工夫

### グリーンファミリーズとガーデニングラバーズ 自然体験部

学校林を利用した自然体験活動は、本校の特色ある教育活動の一つである。グリーンファミリーズは、学校林の自然を維持・保全する活動を行い、児童、保護者、卒業生、地域住民、教職員の交流促進を図ることを目的としている。また、ガーデニングラバーズは、学校の花壇や植栽の整備活動を行い、季節ごとに色とりどりの美しい草花で学校を彩ってくれる。



学校林保全活動

### 交通安全ボランティア 健康安全部

登下校の安全を守るために毎日通学路に立ち、児童と笑顔であいさつを交わし、コミュニケーションを図っている。



交通安全ボランティア

### 地域の歴史研修会 地域・郷土支援部

上柚木地区、鑓水地区の歴史研修会を実施している。コロナ禍でこの2年間については現地実施ができていないが、歴史研修担当が学運協便りの掲載や資料等で地域の史跡についての広報活動を年間通して行った。地域への理解と愛着を深めるとともに、学校運営協議会のメンバーと教職員、保護者の交流の機会となっている。

### 由木西小だより 情報宣伝部

毎月情報宣伝部から発行される「由木西小だより」では、学校の紹介や行事のお知らせを掲載している。さらに、この歴史ある地域の自然環境や史跡についての興味深い考察や、語り継がれる物語の連載など充実した内容となっている。



ガーデニングラバーズ



## 活動の目的・概要

教育目標「じょうぶな子 よく考える子 なかよくする子 がんばる子」を達成するため、学校・保護者・地域が協働する学校づくり、地域に根ざした、地域とともにある学校づくりを実現する。

- 1 学校を応援し、地域の実情を踏まえた特色ある学校づくりを進めていく。
- 2 小中一貫教育推進のため、3校合同学校運営協議会を行い、児童・生徒のよりよい育ちについて協議する。

### 3校合同学校運営協議会

鹿島小学校学校運営協議会

松が谷小学校学校運営協議会

松が谷中学校学校運営協議会



青少年対策

松が谷地区委員会

鹿島連絡協議会

松が谷連絡協議会

## 活動の特徴・工夫

### ○小中一貫教育

松が谷中学校、松が谷小学校の3校で、「自ら考え判断し、行動できる児童・生徒」「自主的に学習に取り組むことができる児童・生徒」「思いやりや感謝の心をもった感性豊かな児童・生徒」「地域に愛着をもち、貢献できる児童・生徒」の育成を目指し、9年間を通じた教育課程の編成について協議している。

### あいさつ運動

青少対松が谷地区委員会と、本校の保護者と教師の会が、門に立って、「あいさつ運動」を行っている。登校してくる児童にあいさつをすると、少し照れながらも、すすんであいさつをする児童がたくさんいて、気持ちの良い一日のはじまりになった。地域と学校が一体となって、すすんであいさつをすることができる児童を育てていく。

### 鹿島から世界へ（外国語・国際理解教育）

平成30年度からイングリッシュルームで1年生から6年生まで英語に親しむ活動、英語活動、英語の授業を進めている。国際交流学習として、オーストラリアやニュージーランドの児童との直接交流を行っている。児童は、習った英語や手作りのイラストを使って、積極的に交流した。

### 地域とともにある学校

学校コーディネーターでもある学校運営協議会委員が、地域の方をゲストティーチャーとして紹介し、生活科等の授業で教えていただいている。令和3年度は、11名の方に来ていただき、3月に昔遊びを行った。サツマイモの収穫祭は、感染症対策をとりながら地域の方々のお手伝いをお願いした。学校運営協議会と学校コーディネーターとの連携で、体験活動等の充実を図っている。



## 活動の目的・概要

地域の将来を担う子どもたちを自らの手で育成することを目的に、地域や地域にある教育機関と連携して、心豊かな児童を育成していく。

学校運営協議会の運営目標である「学校と地域との連携を確立し、学校・地域・保護者・教育機関が一体となって、生き生きとした活動を展開する」ことを目指して、地域や地域の教育機関と連携して、多様な活動を行う仕組みを構築していく。

### 松が谷小学校運営協議会

#### 学校コーディネーター

#### 教育部会

#### 行事部会

#### 地域部会

低学年英語活動 スポーツ教室 あいさつ運動  
放課後英語活動 アートフェスティバル 防災訓練  
プログラミング学習 体育フェスティバル 清掃活動

## 活動の特徴・工夫

### 学校運営に関する協議

「安全・安心な学校」を目指すために、感染対策に特化しながら、「学びを止めない」方針のもとで、学校経営を支援する方法を探る。また、保育園・幼稚園・小学校・中学校・高校・大学の連携や地域との関わり方について、今後の方向性を検討する。

### 低学年英語活動

英語学習は年齢が上がるほど間違えたら恥ずかしいという気持ちや自信のなさから積極性が薄れる傾向がある。そこで、英語にもっと早い段階から慣れ親しみ、恥ずかしがらずにできる低学年から英語活動を推進している。1・2年生の全クラスでALTを入れた英語活動を、年間各クラス15時間実施している。これにより英語でのコミュニケーションを楽しみ、年齢が上がっても積極的に英語活動を楽しむようになっている。

### 放課後英語活動

松が谷高校のESS同好会による放課後英語活動を3年生・4年生を対象に行っている。ESS同好会の生徒さんとALT、顧問の先生が来校して、児童たちと英語でゲームや歌を楽しんだり、英語のフレーズを使って楽しくコミュニケーションを図ったり、英語への関心を高めている。

### プログラミング学習

必修化されたプログラミング学習を推進するため、中央大学と連携を図り、大学生が来校して、児童への学習支援を行っている。タブレット端末に馴染みがない児童もスムーズに使いこなせるようになっている。

### 松が谷・鹿島地区合同防災訓練

大規模災害時に備え、松が谷中学校への一時避難、地区・団地ごとの行動等を訓練している。これまでは、学校や町会が個々に防災訓練を行っていたが、地域一体となって災害に立ち向かう体制づくりを行うため、関係団体と連携して総合防災訓練を実施している。住んでいる地域ごとに分かれて訓練を行うことで、地域のつながりを深め、お互いの顔を知ることができるように工夫している。AEDによる救急救命、消火器使用訓練、アルファ化米炊き出し訓練等を行い、防災意識の向上、災害に備える知識・技能を習得している。

### コロナ禍における特徴的な取組

コロナ禍で、例年委員が参加を予定する行事等が実施できないものも多いが、協議会において写真・資料等を活用した取り組み方の提示により、学校経営の在り方について賛同を得るようにする。

## 活動の目的・概要

学校・家庭・地域の連携を深める  
 家庭の教育力・地域の教育力を取り入れ、開かれた学校づくりに努める。  
 個性を尊重する  
 子どもたちの個性を生かし、能力・適性に合った活動を展開する。  
 豊かな人間性を育てる  
 人間教育を基本に、福祉・ボランティア活動を推進する。

中山小学校学校運営協議会

学校コーディネーター

生き生き部会

栽培・食育

元気な子部会

行事

のびのび部会

学習

地域・校内支援団体

地域 評議員

おやじの会 ひまわりの会

放課後子ども教室

図書ボランティア

(読み語りの運営を含む)

## 活動の特徴・工夫

## ○読み語り、エコキャップ運動

朝の時間に本の世界で落ち着いた時間をもつため、毎週水曜日、各教室で読み語りを実施している。また、児童会が中心となり、エコキャップ運動を推進できるように、活動を継続的に支援している。



## ○焼きいも祭り

さつまいもの栽培活動、収穫を祝い焼いて食べる活動までを子どもたちと一緒にしている。焼きいも祭り当日は、おやじの会の協力を得ながら実施している。



## 環境整備

学校の正門前の花壇の花植えや、児童が大好きな校舎裏手のビオトープの清掃活動等を実施している。



## コロナ禍における特徴的な取組

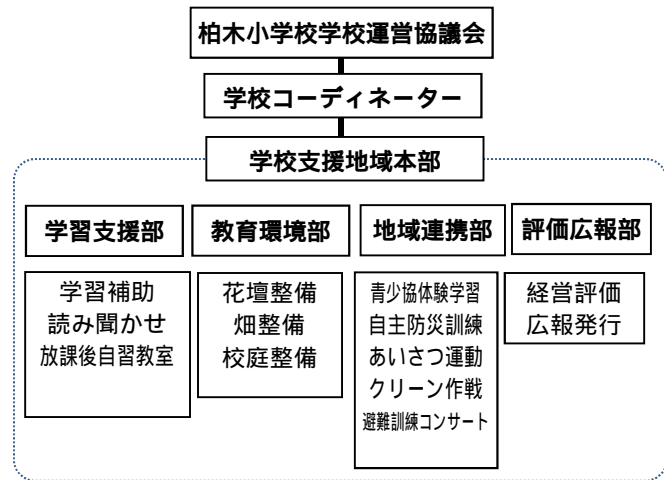
学校の教育活動と同様、その時点での最新の知見をもとに、「どうしたらできるか」「何ができるか」を、知恵を出し合い工夫することで、子どもたちはもちろん、家庭・地域を巻き込んで実施することができた。

・米づくり、餅つき ・川口エンドウ栽培 ・パンジー栽培 ・中山中学校での漢字検定(2回)

## 活動の目的・概要

持続可能な地域づくり、自治力のある人材の育成を目指し「明日を生きる力を育むために」というテーマのもと、地域の将来を担う子どもたちを地域自らの手で育成することを目的とし活動している。

学校運営協議会の役割である「学校と地域とのパートナーシップを確立し、地域全体で教育活動の質的向上を支援していくこと」をベースに、学校・地域・保護者が一体となって多様な学校支援活動等を行う仕組みを構築している。



## 活動の特徴・工夫

### おはようコミュニケーション

南大沢中・南大沢小との3校学校運営協議会で「あいさつができる子」の育成とそれを支える地域づくりを目指し、毎月第一水曜日の朝にあいさつ運動を行っている。

### 放課後自習教室

放課後の学校施設を利用して週2日、その日に出された宿題をやる。担任の知らない児童の一面を発見することもあり、その情報を教員と共有することで多面的な児童理解につなげている。

### 避難訓練コンサート

南大沢文化会館（近隣施設）との連携事業であり、子どもたちがクラシックの曲を鑑賞する際に、コンサート会場で地震が発生したという想定で避難訓練を行っている。校外で避難訓練を行うことのできる貴重な体験となっている。

### 「本物との出会い」体験

例年、行っていた地域の方々の協力による「昔遊び体験」や、「南大沢囃子連」の方々の協力によるお囃子体験は中止になってしまったが、地域人材による「チェロ・バイオリンコンサート」を開催し、キャリア教育としても活用できた。

### 花壇・畑整備

校地内に畑を作り、地域の方の協力のもと野菜を栽培している。収穫した野菜は給食食材としても使用し、食育にもつなげている。近隣保育園との交流も図っており、右下の写真は保育園の子どもたちが収穫にきた際のもので、保小連携にも栽培活動が一役買っている。花壇やプランターで花を育て、「花いっぱい運動」に取り組み、学校環境の整備を図っている。自然愛護や生命尊重の学びにもつなげられた。





## 活動の目的・概要

学校に対する地域の興味関心を高め、将来、地域の核となる学校づくりに向け、学校や学校と地域がともに考えるべき問題・課題を地域と学校がともに話し考える場(学校運営協議会)を中心に共同運営する地域運営学校を目指して、熟議を重ね活動を展開している。

「みなみ会」(保護者と教職員の会)・南大沢地区3小中学校及び幼保育園・青少対南大沢地区委員会等地域諸機関との連携を図り、「地域の子どもたちを地域で見守り、地域で育てる」との意識のもと、多様な学校支援活動や放課後支援を行っている。



## 活動の特徴・工夫

教職員との合同の学校運営協議会の場で、教員から学習支援に関するニーズを把握し、地域の施設や人材との橋渡しの役割を担ったり、学校運営協議会委員自身が次にあげる活動等に加わったり、児童保護者とともに汗を流す場面もある。

### (1) 農園活動

地域の方の大きな支援を受けて、全学年で農園活動に取り組み、特に稲作については、田んぼづくりから精米、米や稲わらの利用までご指導いただき、豊かな実りの喜びや農作業の体験をさせていただいている。



### (2) 保護者への制度理解支援

共働きの家庭が大半を占める保護者に対して、地域運営学校としての理解促進を図るとともに、「みなみ会」(保護者と教職員の会)や放課後子ども教室、サタースクール等の学校が主体となっていない児童に関わる地域組織の活動について、学校説明会等において学校運営協議会委員が説明をする場を設けている。また、毎月小中3校合同の挨拶啓発活動である「おはようコミュニケーションデー」の開催や地域の保育園・幼稚園に学校や地域の行事についてまとめたパンフレットを置き、活動への参加や学校・地域についての理解を深める活動を行っている。



### (3) 学習支援

主に社会科や生活科・総合的な学習の時間・特別活動(児童活動)で、地域の方から戦争体験や昔の地域の様子等のお話や縄ないやわら細工・昔遊び、身の回りの自然について教えていただいている。

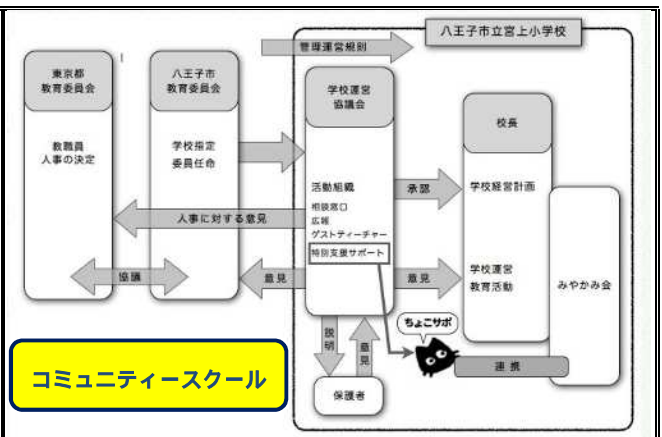


## 活動の目的・概要

本校の教育目標は「**み**なぎる力(体)」「**や**さしい心(徳)」「**か**んがえる知恵」の育成を基本として、「世界を**み**わたす」ような人材を育成することである。



- 学校・家庭・地域の協働により、学校の信頼関係を深め、学校運営の改善や子どもたちの健全育成を図り、安全・安心で地域に開かれた学校づくりを目指す。コミュニティスクールとしての特色を活かした学校教育活動を充実させる。



## 活動の特徴・工夫

### 1 英語講師の招へい

地域の英語教育で実績のある講師の招へいという形で、充実した英語活動を行っている。子どもたちへの授業のほか、英語講師の授業を教員が参観することにより、英語指導のスキルを高めることにつながっている。

令和3年度は、平日に開催した学校運営協議会の際に英語の授業を参観する機会があった。英語講師の授業はとても充実しており、子どもたちがとても楽しそうに授業を行っていた。

令和4年度も昨年度と同様に英語講師の招へいを行い、子どもたちの授業や教員の英語指導スキルを高めていきたいと考えている。

### 2 「宮上小思い出づくりミニ祭り」の開催

コロナ禍において、何か子どもたちが感動を得られるようなイベントを企画・運営していきたいという教職員からの意見を受け、学校運営協議会で「宮上小思い出づくりミニ祭り」を令和3年12月開催した。

当日は子どもたちだけではなく、一緒に参加した保護者からも「とてもよかった。子どもたちがこんなに喜ぶなら、次はぜひ協力したい」などの意見が出され、地域との交流が深まった。また、参加した保護者から、自分とつながりのある地域の大学生のサークル活動などで協力できることがあれば協力したいという声をいただき、今後の学校教育活動につながる機会が広がった。

令和4年度は学校運営協議会の主催で、近隣の東京都立大学の男子チアリーディング部を招き、チアリーディングの演技披露と子どもたちとの体験活動を7月に行うことを企画している。



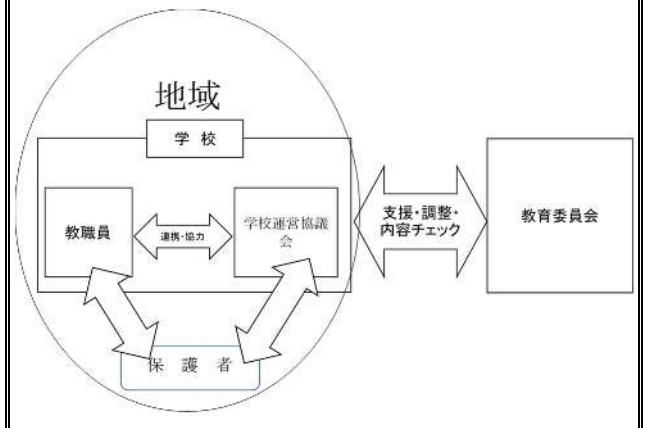
「宮上小思い出づくりミニ祭り」の風景

## 活動の目的・概要

本校の開校は平成2年4月である。開校当時は学校周辺の児童が多く在籍していたが、世代が変わりゆく中で、野猿街道やニュータウン通りを越えてやや遠距離を通学してくる児童が増え、児童数全体の増加とともに交通安全等に対する懸念が増大している。地域運営学校として活動するにあたり、児童の安全・安心を第一に、地域とのつながりを強め、「子どもたちのために」共生し活動する学校をつくる。

### 【学校運営協議会を中核とした取組】

- 交通安全や花壇などのボランティアの活性化
- サマースクールを中心とした地域の大学や企業有識者との連携事業の推進
- 読み聞かせや英語ボランティアによる授業支援
- 地域と連携した避難訓練などの緊急時対応の充実
- 放課後子ども教室の拡充などによる児童の居場所づくりの創生



## 活動の特徴・工夫

### 別所フェスティバルの実施

秋葉台小学校では、夏季休業中に行う「夏季水泳」「補充学習」と保護者・地域の方のご協力のもと行う体験的な学習講座を合わせて秋葉台・サマースクールを行っている。また、別所フェスティバルを保護者の会と連携し学校運営協議会で、開催した。例年は地域、保護者がブースを担当していたが、コロナ過のため秋葉台防災フェスティバルを企画した。災害時の地域、学校との連携や防災について学び体験する機会となった。

サマースクールはコロナ感染予防のため、直前で中止となったが、各組織との連携、口座開設のマニュアル、参加申し込みの仕組みづくりを進めた。



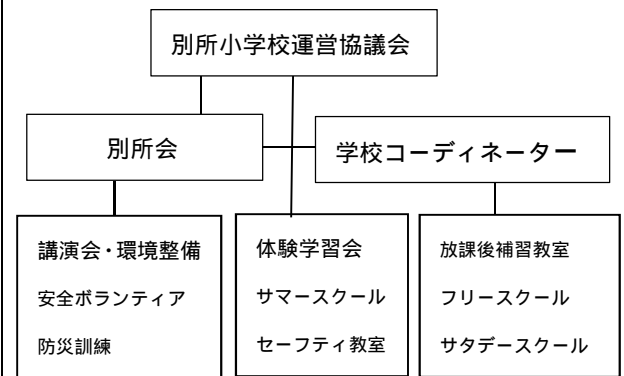
### ボランティアによる活動

秋葉台小学校では、ボランティアによる活動が充実している。四季折々の花を植え、きれいに整えている花壇ボランティア、毎週火曜日に読み聞かせを行い、図書室の掲示や蔵書の整理などに力を貸してくれる図書ボランティア、野猿街道とニュータウン通りを横断するなど学区が広がった本校の交通安全に力を貸してくれる交通安全ボランティア、外国籍の児童や保護者への支援を行う外国語ボランティアなど多くのボランティアが学校コーディネーターを軸に活動している。中でも特色として挙げられるボランティアが「交通安全ボランティア」である。これは平成30年度に立ち上がったボランティアで、広い学区や大きな幹線道路2本を挟んだ学区のため、地域・学校全体で取り組む必要がある。

犬の散歩、ランニング、日々の生活の中で交通安全や防犯に取り組むこととして、全家庭への黄旗・オリジナルバンダナの配布、希望者への防犯ランニングベルト・散歩バック等の配布を行い、地域全体で子供たちを守る意識を高めた。

## 活動の目的・概要

地域で育つ子どもたちの安全を守り、健全な育成を目的として、学力向上の取組や生きる力を育てるための様々な体験学習等の活動を学校・保護者・地域と連携して行っている。



## 活動の特徴・工夫

### セーフティ教室

学校との協働事業として、スクールソーシャルワーカーを講師に招いたSNSに関する講演会を行っており、対象となる高学年児童は、SNSの危険性や自分の身の守り方について学んでいる。保護者へは、「子どもの安全をどう守るか」というテーマで講演会と意見交換会を行い、地域で子どもの安全を守っていくための考えを深める活動となっている。



### 夏休み中の特別教室

夏休み中の児童の安否確認と、宿題や自由研究に困っている児童への支援を行うために、地域・保護者の協力者と学生ボランティアに協力してもらい、学校の図書室や家庭科室等で学習教室や工作教室を行っている。地域で子どもたちの健康状態の確認をし、安全を守るという意味で、有効な活動となっている。



### 障害者スポーツ体験学習会

「障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例」にもあるように、共生社会をめざし、学校と地域が連携して、障害者理解教育を推進していくために、児童の福祉に関する学習を学校との協働事業として行っている。パラアスリートの招聘を行う活動は、児童の障害者理解が深まると同時に、生き方を学ぶ機会になっている。



### コロナ禍における特徴的な取組

コロナ禍においても子どもの学びを止めないという市の方針の下、オンラインを活用した出前授業を実施し、体験学習会を行うことができた。

## 活動の目的・概要

## 学校運営協議会運営目標

- ・愛宕小学校児童の「生きる力」を身に付けさせる教育充実のため、地域住民の潜在能力を活用することにより、社会との接点を保持しつつ、より一層の支援を行う。
- ・様々な実働的支援活動を通して、学校・家庭・地域が連携を強め、地域住民による協働を推進する事によって、子どもを取り巻く地域環境そのものを向上させる。

総務・学校運営協議会だよりの発行各種事業の会計業務

## 環境整備担当

- ・学校図書館
- ・学校事務 用務との連携

## 行事企画担当

- ・放課後子ども教室推進委員会
- ・愛宕 Camp 実行委員会
- ・漢字検定実行委員会
- ・講演会企画
- ・保護者ケア（さくらの会）
- ・授業サポート
- ・卒業式児童サポート

## 地域連携担当

- ・町内会担当
- ・保幼小担当
- ・医療機関担当
- ・人材活用担当（地域住民・近隣大学）

## 活動の特徴・工夫

## 愛宕Camp

夏休みに学校施設を利用した児童の防災体験活動を実施。地域の方や卒業生等にボランティアとして参加してもらっている。例年愛宕Campでは、防災体験だけでなく、お菓子作りやプール遊び、火起こし体験などの毎年恒例の行事の他、星空観察や音楽鑑賞、チャンバラなど新しい企画を取り入れて活動を行っていた。また、夜間は、市から借りた防災用の毛布などを使用し、校庭に張ったテントや体育館でダンボールを使用して仕切りの中に泊まる宿泊体験を行っていたが、今年度は、感染症拡大防止のため防災体験のみ行った。

## 教育支援

学校コーディネータを中心に地域の方や近隣大学の学生等を巻き込んで、活動を展開し、学校と地域が一体となって子どもを育てていくための体制づくりを構築している。

学習支援やキャリア教育授業をはじめ、たけのこ掘りや地域防災訓練等の体験活動も実施している。地域の方による放課後の音楽指導を経て、青少年音楽祭での発表会に参加する児童もいる。

また、土曜日に保護者と地域住民で練習を重ねた「スポーツ鬼ごっこ」では、大会にも出場している。



## コロナ禍における特徴的な取組

○地域人材を招いて行う「日本の伝統文化を知る」教室は、例年の茶道教室や染物体験など、感染症対策を徹底し、三密にならない環境で行うことができた。

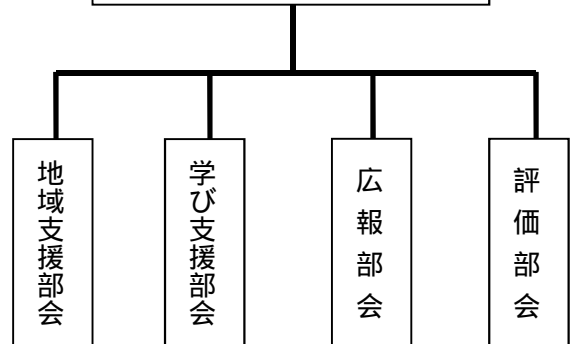
## 活動の目的・概要

## 活動方針

学校経営方針の「自己実現できる学校」を目指し、「みんなの子どもをみんなで育てる」ことを重視した学校・家庭・地域協働の学校づくりを実現する。

- ・松木中学校区3校合同協議会を行い、学校とともに地域等が連携し、参画意識の向上に努める。
- ・学校運営協議会が核となり、実働できる人材の確保と実働支援組織の立ち上げを行う。
- ・広報・HPなどを活用し、地域運営学校の趣旨や活動内容について積極的に周知する。

## 松木小学校学校運営協議会



## 活動の特徴・工夫



## 放課後・夏休み学習会

5月から10月・3月の金曜日の放課後、夏休みの3日間、開催。指導者は保護者・地域の方、学生にお願いし、毎回100名程度の子どもが参加している。



## 学習支援ボランティア

コーディネーターを中心に、ニーズに合わせて、年間を通して募集をしている。ボランティア登録者専用メールがあり、円滑な運営ができるようになっている。



## 松木プリントはなまる先生

自分の課題に合わせて自由に取組める「まつぎプリント」を、毎日、保護者・地域の方が「はなまる先生」になって丸つけをしている。毎年1万枚以上の提出がある。



## 学校運営協議会通信

ボランティア活動の理解と協力を得るために、その様子や感想等を掲載し、年1回通信を発行。カラー印刷にすることで購読者が増加している。



## 教職員との交流

学校運営協議会と教職員のコミュニケーションを図ることを目的に本音トークの会を開催。教職員の思いを直接聞ける良い機会になっている。



## 漢字検定

「級合格！」を目標に、毎年多くの子どもが参加。受検監督は保護者・地域の方にお願いしている。毎年挑戦する子どもも多く、成績優秀者は朝会で表彰している。

その他の活動として、松木中学校区3校合同学校運営協議会、学習支援各種ボランティア（授業支援・校外学習引率補助・新1年生生活指導補助・低学年水泳着替え指導補助）、特別支援ボランティア、松木小学校避難所運営会設置・防災訓練等を展開している。

## 活動の目的・概要

宮上中学校区の学校運営協議会と連携を図りながら学校支援体制を確立する。

「地域運営学校」としての取組を充実させ、保護者・地域の教育力を発揮しながら、協働した学校運営を推進する。

## 学校運営協議会

(下部組織として)

## 5委員会

【学力向上委員会】【学校図書館推進委員会】

【放課後見守り委員会】【地区班担当委員会】

【学校林活用推進委員会】

## 活動の特徴・工夫

## 学校運営協議会の活動内容

主に学校運営承認機関としての役割を果たし、平成27年度から学校運営協議会に下部組織として4つの委員会を設置し、平成28年度には、さらに1委員会を加え活動している。

学期に1回、拡大学校運営協議会を開催し、保護者・地域・関係機関と学校とが協働して、児童の健全育成に取り組む仕組みづくりにより、学校運営協議会を軸に「地域運営学校」としての運営力が確実に発揮されている。

- (1) 学力向上委員会：平成25年度に「放課後算数教室」(通称・下柚木道場)を開始。3年生以上の入門希望児童(対象児童の約20%)が、東京都ベーシック・ドリルを活用して学習している。また、授業時間にも保護者や地域からボランティア支援を募り進めている。
- (2) 学校図書館推進委員会：毎週金曜日、朝の読み聞かせ(全学年)学校図書館整備、寄贈図書運動の推進などを主な活動とする。平成29年度からは、休み時間にも読み聞かせを行い、毎回、約3分の1の児童が参加している。
- (3) 放課後見守り委員会：主に放課後子ども教室の企画・運営に携わり、委員の人選等も行っている。域や施設使用団体、近隣中学校とも連携し、同時間帯に催し等を実施している。
- (4) 地区班担当委員会：各地区の担当者(保護者)と学校とが意見交換をして課題解決に当たっている。拡大学校運営協議会の回を重ね、PDCAが機能してきたため、円滑な運営につながっている。
- (5) 学校林活用推進委員会：八王子市都市公園指定管理者等の支援の下、講師やボランティアの協力を得て、計画的に学校林を活用した学習を進めている。特に5年生は、環境学習の観点から、学校林の自然観察を行い、森林保全についてレクチャーを受けるなどの体験的環境学習を実施している。

左から、下柚木道場  
朝の読み聞かせ  
学校林学習活動 風景



## 活動の目的・概要

学校長の経営方針を理解し、学校運営協議会として情報共有等しながら、学校と家庭・地域が連携した上柚木小学校らしい地域運営学校の運営を目指すため熟議を重ねている。(上柚木小学校学校運営協議会として、どんなコミュニティスクールを作れば、学校と家庭・地域が連携した学校づくりが推進できるか、保護者・地域に何を・どう発信していくか)

上柚木小学校学校運営協議会

上柚木小学校

上柚木小学校放課後子ども教室

上柚木小学校かみゆぎ会

## 活動の特徴・工夫

### 漢字検定

学校運営協議会設置以前(平成26年度)から、学校コーディネーターの活用により、児童・保護者の参加を促し、年2回の漢字検定を実施している。学校運営協議会を設置した平成29年度からは、学校運営協議会のバックアップにより、地域人材の確保や検定運営に協力している。

(令和4年度からは英語検定も実施を予定している。)

### 放課後子ども教室「ゆずっこひろば」との連携

放課後の子どもの居場所として保護者の有志が自発的に立ち上げ、学校運営協議会と連携しながら活動している。活動日を年々増やし、今では毎日実施するようになっている。放課後の子供たちの居場所として、重要な役割を担っている。コロナ禍においても児童を受け入れる工夫をしている。校庭遊びだけでなく、複数の教室を使って室内遊びや工作遊びを行うなど、限られた中でも多くの児童が楽しい時間を過ごしている。さらには、週1回の学習教室や地域のスポーツ団体と連携したスポーツ教室も開催、令和4年度からは音楽教室やサタデー教室も計画し、活動の幅が広がっている。

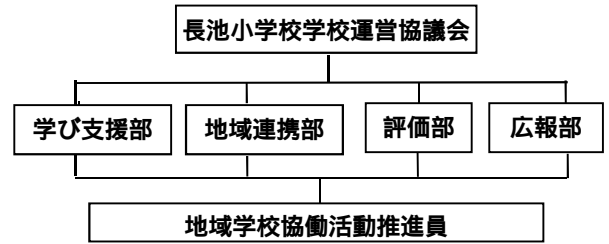




活動の目的・概要

長池小学校の学校経営方針の具現化を目指し、学校・保護者・地域が協働する学校づくりを実現する。

- ・学校・家庭・地域が連携し、児童の健全育成に努める。
- ・中学校区3校と連動し、E S Dの構成概念である公平性「一人一人を大切に」、連携性「力を合わせて」を目指して地域の教育力を向上させる。
- ・学校運営協議会が核となり、学校教育への協力者を確保する。
- ・広報活動により、地域運営学校の主旨や活動内容について積極的に周知する。



「学び支援」「地域連携」「評価」「広報」の4部会を設置し、活動を分担して推進。松木中、松木小の各学校運営協議会でも同じ部会を設置し、3校合同学校運営協議会としての活動も展開。

活動の特徴・工夫



学校運営協議会の実施

コロナ禍においても、感染状況等に応じ、オンラインや対面形式を選択しながら月に1回の学校運営協議会を実施。



あいさつ運動の実施

あいさつの大切さを子どもの社会性を育てるための一つ的手段として取り入れ、あいさつ運動を推進。



いじめ対策委員会への参加

長池小学校のいじめ対策委員会へ参加し、長池小のいじめ対策について、教員との意見交換を実施。



保護者や地域との連携

登校時の危険個所について学運協として検討し、児童の登校時の見守り活動を企画、実施。



漢字検定の実施

年間1回、土曜日に長池小の児童を対象に漢字検定を実施。  
(令和3年度は5・6年生が実施)



学校運営協議会だよりの発行

学校運営協議会便りを発行し、広報活動を実施。また、3校合同学運協のお便り、HPも作成。

その他の活動 (令和3年度は、新型コロナウイルス感染症のため、実施できていない取組もあります。)

- 松木中学校区3校 (小学校2校・中学校1校) 合同学校運営協議会 (年間3回・各学期1回)
- 学校運営協議会とながいけ会 (保護者の会) との意見交換会
- 避難所運営会運営補助
- 浄瑠璃祭りの企画・運営
- 子育て応援講演会
- 教職員との懇談会 等

活動の目的・概要

学校・保護者・地域が協働して、学校教育目標「本気で考える子 勇気をもって行動する子 元気で心豊かな子」の実現を目指すとともに、ふるさと鑓水（八王子）を愛する子どもを育成する。

- 1 学校運営協議会は、学力向上、子供の安全確保、学校・地域の環境美化地域防災という3つの学校経営課題の改善に向けて、具体策の評価・改善・拡大などを一層推進する。
- 2 学校運営協議会は保護者・地域住民に活動を公表し、支援者の一層の拡大を図り、子供と一緒に育てる『共育』（ともいく）を推進する。

鑓水小学校  
学校運営協議会

鑓水中学校  
学校運営協議会

広報部

学運協通信  
「やりみず」

学校コーディネーター

学習支援部

安全環境美化部

【支援】

- ・放課後子ども教室
- ・おはながかり
- ・放課後補習教室(ｽﾀｯﾌ)
- ・通学路の安全確保

活動の特徴・工夫

放課後子ども教室の充実

放課後子ども教室およびスタサポ（放課後補習教室）でのスタッフ募集を行い、学習支援活動の充実を図る。

学校支援基金(やりみずっ子基金)の設立

学校運営協議会の知名度拡大と活動の理解を図るとともに、学校支援活動資金を得るために、運動会での飲み物販売などを行う。

緑あふれる学校づくり

おはながかりのボランティア募集増員を図り、学校花壇やみどり広場の整備を行う。

通学路の安全確保

児童の安全確保のため、通学路の夏草刈り、落ち葉掃き、融雪剤散布などを行う。

小中学校運営協議会の連携

鑓水中学校学校運営協議会とともに、鑓水地区の子どもの成長を支える基盤を整備する。また、広報活動を一本化し、学習支援部や安全環境美化部の具体的活動の様子や成果などを「学校運営協議会通信やりみず」にまとめて発行している。



放課後子ども教室



通学路落ち葉掃き



「学校運営協議会通信やりみず」



運動会飲み物販売



花いっぱい活動

### 活動の目的・概要

- 高尾山学園の教育目標の効果を最大限に高める環境づくりのため、市教委と連携しつつ、「不登校対策拠点校としてのあるべき姿の協議」及び「高尾山学園の抱える課題を明確にし、具体的な改善や対策の協議」を行う。
- 学校運営協議会委員を中心として下部組織として「学校サポート本部（TSnet）」を立ち上げ、保護者や保護者OB、地域住民などが活動できる場を創設している。

高尾山学園学校運営協議会



高尾山学園学校サポート本部



メンバー：保護者・保護者OB・地域住民他  
 活動内容：学園四季祭ボランティア  
 農園サポーター  
 学習サポーター  
 保護者力向上のための活動など

### 活動の特徴・工夫

#### 学校運営に関する協議

本校学校運営協議会委員には複数の学識経験者が参画しており、その豊かな知識を生かし、不登校対策拠点校としての抱える課題を明確にし、具体的な改善や対策の協議を行っている。

また、年度当初には、教員全員と学校運営協議会委員が面談を実施し、教員の抱える課題などに対する確かなアドバイスを行い、円滑な子どもへの指導が行えるようにしている。

#### ○地域ボランティアを活用した「学力と社会性の向上」への取り組み

地域住民の方々を活用し、「講座学習」への学習支援や、「地域清掃」等を実施し近隣住民とのふれあいを通じ、「学力と社会性の向上」への取り組みを行っている。

#### ○学校サポート本部（通称：TSnet）の取り組み

平成27年度に設立準備を行い、平成28年度から運用開始。

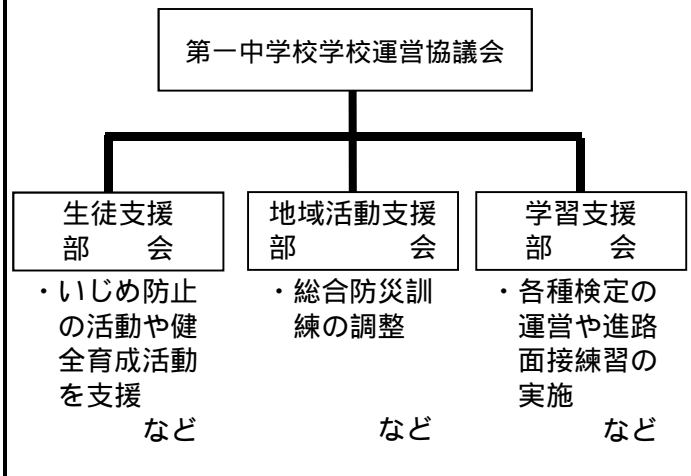
本校にはPTA組織や、青少対などの支援組織がない。また保護者も八王子市全体に点在し、かつ途中転入生が多くを占めるため、横の繋がりが持ちにくい環境となっている。そこで不登校対策の一つとして「保護者力向上（参画意識や保護者の体験活動）」を目的として「学校サポート本部」を立ち上げ活動を行っている。学校運営協議会委員が中心となり、「学園四季祭」等において教職員と連携し活動の企画、運営を行い保護者の参加を促している。

## 活動の目的・概要

学校運営の報告や教育活動アンケート、授業の参観や懇談などから学校運営の状況を把握・分析し、改善策を提言する。

学習状況アンケートなどから、生徒の学習状況の実態を把握・分析し、放課後学習教室などの学習機会を支援する。

学校と地域が連携する総合防災訓練を充実させ、生徒に地域の担い手としての意識づくりをする。また、防災への具体的な技能習得を支援する。



## 活動の特徴・工夫

### 教育活動アンケート

毎年2回実施している教育活動アンケートは、生徒対象のものと保護者対象のものがある。機械を使って集計を行い、丹念に分析をし、貴重な意見をより良い学校づくりへ活かしている。

### 総合防災訓練



「学校と地域が連携した総合防災訓練」は、学校運営協議会の会長が実行委員長を務めている。例年、生徒と地元消防団、地域の消防署、市の防災課とも連携した活動を行っていたが、昨年度はコロナ禍のため、実技を伴った訓練ではなく、八王子消防署小宮出張所長を講師とした講演を行った。今後は、地域の企業と連携した防災訓練を模索、実施していく予定である。

### 教員との懇談

学校運営協議会に必要に応じて教員が参加し、懇談を行っている。教員から学校行事や生徒の様子を聞くことで、学校の状況を正確に把握することに役立っている。

### 授業の参観

委員は、学校公開はもちろん、学校行事や校内研修の研究授業にも参加して生徒や教員の様子を見学し、課題を明らかにして生徒の成長や教員の授業力向上に役立っている。

### 学区内の3小学校の学校運営協議会との連携

学運協委員が学区内3小学校の学運協の会議に参加することで、学校運営協議会レベルでの小中連携を深め、義務教育9年間の取組を模索している。

### 進路決定に向けた支援、健全育成のための支援

学運協委員が自ら面接練習を行い、進路決定に向けた支援を行っている。

生徒支援部会の委員が「いのちの大切さを共に考える日」に校長の依頼を受けて講義を行っている。



### 特記事項 コロナ禍における特徴的な取組

1月22日に元タカラジェンヌの沙月愛奈さんをお招きした道徳授業地区公開講座の講演会を学校運営協議会主催で行った。コロナ感染防止のため、学年ごとに「講演+ダンス」をセットにし実施した。

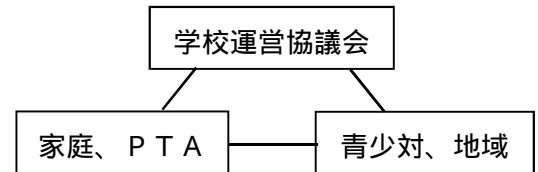
## 活動の目的・概要

校訓「自律」 学校教育目標「進んで学ぶ生徒」「心の豊かな生徒」「協力し勤労する生徒」を学校、家庭、地域の協働により達成する。

学校運営協議会を年6回開催し、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。地域住民や保護者に対して、運営目標や協議の結果を情報提供していく。

年間行動目標を「授業の充実」「地域貢献」とし、学校運営協議会として協議を行う。

平成30年度に地域運営学校としてスタートし、徐々に学校運営協議会としての活動を確立することができている。今後も学校運営協議会と家やPTA、青少対第二地区委員会を中心とした地域との連携を深めていく。



## 活動の特徴・工夫

### 授業の充実

- ・ 学校運営協議会による授業参観、協議  
生徒による授業評価アンケート（每学期実施）
- ・ 授業改善の推進  
生徒理解、授業研究を深める研修（講師招へい）



### 地域貢献

- ・ ふれあい講座  
生徒がスポーツや伝統文化にふれる機会をつくり、指導を地域の方々（50名くらい）にお願いしている。下記のような講座を10以上開設して年2回実施している。  
講座では、生徒が普段できないことを体験したり、生徒の興味関心を深めたりすることができている。また、生徒は地域の方々とのふれあいを通して多くのことを学んでいる。  
「卓球」「ネオテニス」「剣道」「サッカー」「ダブルダッチ」  
「囲碁」「箏（こと）」「大正琴」「手話」「和太鼓」  
「写真教室」「民謡踊り」



### 地域ボランティア

生徒の「地域貢献」に対する意識を高めること、「地域への感謝の気持ち」をもつことをねらい、地域の自治会等と連携し、中学生ボランティアの受入れをお願いしている。

- 「地域の清掃活動」「地域の防災訓練」
- 「夏祭り 和太鼓、子ども神輿、山車」
- 「九小 算数教室、夏期講座（陸上競技）」
- 「吹奏楽演奏 地域運動会、高齢者施設、どんど焼き」など



## 活動の目的・概要

本校の校章『藤の花房』のごとく、一人一人の子どもの輝きが美しい花房となり、それを温かく力強く包み込む地域社会となるよう、学校運営協議会がパイプ役となり協働体制を構築する。

- 学校運営に関する熟議
- 保護者、地域住民の学校運営への参画促進、連携
- 開かれ信頼される学校づくり
- 義務教育学校に向けた準備



八王子市立第四中学校  
学校運営協議会

広報・評価部

学校コーディネーター

学校支援部

地域連携部

## 活動の特徴・工夫

### 学校運営、教育活動に関する協議 教職員との連携

年間3回以上の学校運営協議会委員と教職員の協議会を行っている。『持続可能な社会の実現に向けて、子どもたちが地域と共に学べること』『前期学校評価アンケート結果を踏まえ、後期教育活動の充実に向け。』『地域全体で子どもたちの道徳性を育むために』などをテーマとして意見交換を行い、育てたい生徒像を共有し、教育活動への具体的な連携体制を築いている。



### 学校コーディネーターを中心とした教育活動への支援

学校コーディネーターを中心として、学校支援部、地域連携部、PTA、青少対と連携を図りながら教育活動への支援を進めている。花ボランティアによる校内環境整備、学校図書館の蔵書点検や整備、朝の挨拶運動、授業への支援など、地域社会の力を教育活動に活用できる体制を築いている。



### 学校関係者評価の取組

学校が1年間の教育活動について、保護者・地域・生徒によるアンケート調査結果や授業評価等を基に自己評価を行う。その評価の妥当性や今後の改善点を明らかにし、次年度の教育活動への指針を提示する学校関係者評価を行っている。



### コロナ禍における特徴的な取組

感染症拡大防止の観点から、小中学校合同による学校運営協議会は開催できなかったが、両校に関わる複数の委員により、相互の情報を共有することができた。

## 活動の目的・概要

- 学校運営方針の承認と学校運営への支援。
- 年間10回の協議会を開催し、地域とともにある学校づくりを目指す。  
「歴史と伝統のある地域社会、卒業生、保護者等の思いをつなぎあわせ、子どもたちの成長のために、具体的な行動へと道筋をつけ育成環境を創り上げる。地域の子どもを育てるという観点から、小中(一小・四小・五中)合同学校運営協議会を実施している。



## 活動の特徴・工夫

### 学校運営協議会委員と教職員の連携

年度当初に、学校運営協議会委員と教職員が目指す生徒像・学校像・教師像について、夏季休業中には「いじめ防止」「学級経営」「道徳授業」等の教育活動に関する協議を行っている。相互に顔の見える関係づくりを進めるとともに、教育活動を客観的に見つめ具体的な改善策を考えることのできる時間となっている。また1・2月には学校の自己評価に対する学校関係者評価を実施している。



### 文化芸術・スポーツ講演会の実施

地域連携部が中心の活動で、世界で活躍する方たちを招へいし、本物に触れることを目的としている。講演者から、挫折や努力を実際に聞くことにより、生徒自身が不安に感じる将来の未知の部分を肯定的にとらえる機会としている。また、プロ選手と実践を行うことができる体験型学習の場でもある。



### 五中応援団による支援

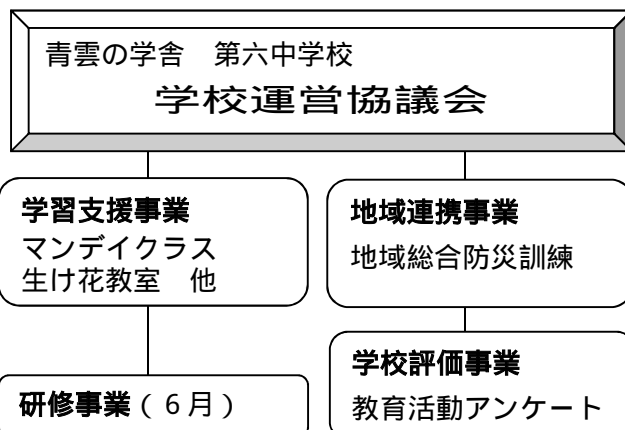
学校支援部・学校コーディネーターを中心に、PTA・地域との連携を図りながら教育活動への様々な支援を進める「五中応援団」のコーディネートを行っている。「放課後学習会」「学校図書館ボランティア」「体育大会等学校行事支援」「学習見守りボランティア」等の充実を図り、子どもたちの育成環境の質を高めている。



## 活動の目的・概要

「志高く、高い目標・理想の追求」「グローバル人材の育成」を目指し、年8回の定例会での評議のほか、4つの事業に取り組んでいる。特に、学習支援事業であるマンデイクラスはコーディネーターがサポートセンターとしての機能を果たし、約30名の学習サポーターと連携し、生徒の自主学習支援にあたっている。

また、地域総合防災訓練は災害時に共助の精神のもと地域とともに動ける生徒の育成を目指し、総合的訓練を実施。平成28年度から、生徒も町会ごとに分かれ、同じ地域の方と訓練をしている。



## 活動の特徴・工夫

### 学習支援事業

- ・学習支援コーディネーター中心に、地域人材による生徒の各種学習サポート活動
- ・マンデイクラス(放課後自習教室)
- ・寺子屋(テスト前自習教室、夏季休業中)
- ・生け花教室
- ・図書サポート(図書館開館)
- ・音楽サポート(合唱伴奏者など)



### 地域連携事業(令和3年度は生徒のみ参加)

- ・平成23年度から生徒と地域による協働行事「地域総合防災訓練」を実施
- ・地域20町会中、毎年15町会以上、総勢500名規模
- ・初期消火訓練、仮設トイレの設営、避難所設営、炊き出し、防災討議
- ・学校・地域・消防署・市役所と多岐にわたり連携



### 研修事業(令和3年度はオンラインによる交流を行う)

「グローバル人材の育成」に関する理解の深化を図るために、ヨコタミドルスクールの生徒と本校の生徒(希望者)をオンラインで結び、自分の志を発表しあう交流を行った。

### 学校評価事業

- ・学校を事務局として、八王子市共通項目を中心に以下の評価を実施
- ・教育活動アンケート(2回) 生徒授業評価アンケート
- ・教職員学校内評価
- ・12月からの定例会では学校からの報告をもとに活発に議論



## コロナ禍における特徴的な取組

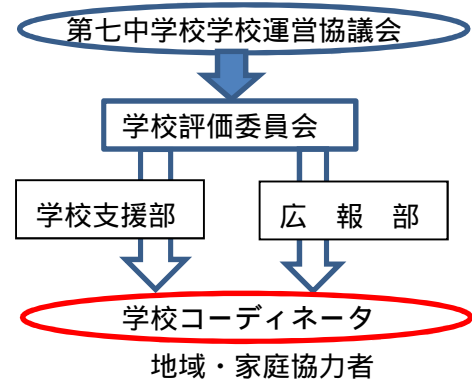
オンラインで、本校とヨコタミドルスクールの生徒がお互いに自分の志を英語と日本語で発表しあう形で交流を行った。アメリカの中学生もアニメ好きな生徒が多く、フリートークで共通の話題で盛り上がった。



## 活動の目的・概要

保護者を含めた地域住民の学校運営への参画により、第七中学校の生徒が生き生きとした学校生活が送れるようにするとともに、地域住民に張り合いや生きがいを創出することを実現する。

各種取組や協働を行うための組織を構築する。



## 活動の特徴・工夫

### 学校運営委員会の役割・目的の明確化と組織づくり

学校・家庭・地域が共通の目標をもって第七中学校の生徒の成長を支えていくため、学校運営協議会の役割・目的を明確にし、学校・家庭・地域の連携・協働体制を構築していく。

学校運営協議会に部会を設置し、学校コーディネーターとの連携を図りながら学校運営・学校支援の充実を推進している。

### 地域人材の活用について

- ・図書ボランティアをはじめ、学校支援者を地域から発掘し、地域の教育力を学校運営に生かしている。
- ・美化ボランティアによって学校の花壇等の整備に取り組み、多くの球根を植えることで春の開花に向けて、多くの方に協力をいただきながら整備を行ってきた結果、学校の敷地内に多くの花を咲かせることができた。
- ・令和4年度から新たに展開する放課後学習教室「チャレンジタイム」の企画検討を行った。



### 〇コロナ禍における特徴的な取組

昨年度も行事を行うことができなかった3年生が、修学旅行も中止になったことによって落胆していた。しかし、代替行事として鎌倉校外学習を実施し、少しでも多く行事を経験させることができたことは大きな成果であると考えます。

### 学校経営計画・教育課程への意見、承認

### 学校の活動報告・予算執行状況等の確認

### 学校評価のまとめに対する意見

### 人事に関する要望

## 活動の目的・概要

地域の人材を生かし、学校と保護者・地域が互いに双方向の連携・協働する特色ある学校教育を実現することを目的に、「学力向上部」「農業振興部」「地域支援部」を設置し、熟議を重ね、地域運営学校づくりに取り組む。



### ひよどり山中学校学校運営協議委員会

#### 学校ボランティアコーディネーター

#### 学力向上部

放課後学習教室  
夏休み学習教室  
チャレンジ学習  
(英・漢字等検定)

#### 農業振興部

「総合的な学習の時間(ひよどりタイム)」の農業体験学習支援  
農業アドバイザーの確保

#### 地域支援部

青少対(ひよどり山・十地区等)の地域連携行事への参画・協力による健全育成活動

## 活動の特徴・工夫

### 学力向上部の活動

学校運営協議会設置当初より、生徒の基礎学力の定着・向上を目指し取組を展開してきた。

年5回ある定期考査前に「放課後学習教室」、7月下旬に「夏休み学習教室」を地域の学習ボランティアの方と教職員が連携し、数学・英語を中心として補充・自主学習支援を行っている。生徒の「学習意欲を喚起するための指導の在り方」や「できる・わかる喜びや達成感を実感させ基礎・基本を定着させるには？」等、学習支援・指導を工夫して取り組んでいる。



### 農業振興部の活動

総合的な学習の時間(ひよどりタイム)に全学年で「農業体験学習」に取り組んでいる。指導スタッフは、教職員はじめ、市農業塾修了生等、地域の農業経験のある方に依頼し「農業アドバイザー」として指導・支援していただいている。「土作り・畑作り」「種まき・苗植え」「雑草とり・肥料散布」「収穫」という、作物を収穫するまでの一連の活動を生徒一人一人が体験し、「食」「いのち」「共存共栄」「地産地消」「命のリサイクル」等のキーワード=『生きる』力を身近に感じた課題学習に取り組んでいる。

### 地域支援部の活動

本校は、青少対や町内会・自治会等、青少年健全育成団体との関わりが強く、生徒の健全育成に通じる地域行事等に多く連携・協力・協働した活動を行っている。具体的には、町内子供会の野外体験活動として本校校庭で子どもキャンプの実施。青少対グラウンドゴルフ大会の実施。小中一貫連携校である市立第十小学校での青少対音楽会の実施やひよどり山音楽祭を実施している。その他、地域と連携した防災訓練や各自治会等の活動にも、本校施設を可能な限り開放し学校と地域で相互に協力しあう関係を築いている。また、20年近くの伝統を持つ「ひよどり太鼓」の保存、運営を担い、今年度は生徒10名とOBや支援者によって見事な演奏を披露することができた。地域に根付いた活動をレガシーとして引き継いでいる。

## 活動の目的・概要

## 学校の応援団としての位置づけ

- ・ 学力向上の支援
- ・ 図書室運営及び図書環境向上の支援
- ・ 地域に貢献する生徒の育成の支援
- ・ 様々な課題を抱える生徒の個別支援 等

## 学校ボランティアのとりまとめと人材確保

## 甲中美術館の地域作品の情報収集と連絡・調整

## 地域での生徒の見守りと情報提供

## 学校運営協議会の運営方針 》

- ・ 肩ひじ張らず力まない。
- ・ 小さくゆるやかに活動する。
- ・ スモールステップ(小さな一歩)精神を大切にする。
- ・ 学運協委員の個性を活かす。
- ・ 学運協だよりを発行する。
- ・ 開催通知は、メール等で発信する。

## 活動の特徴・工夫

## 学校への主な支援

## (1) 学力向上の支援

## 授業内における学習支援

## チャレンジタイム(学校主催の自学自習教室:希望者)の支援

- ・ 毎週水曜日の放課後：全校生徒対象
- ・ 夏季休業中：全校生徒対象 ・ 冬季休業中：3年対象
- ・ 土曜日の午前中：3年対象(9月以降、月2回程度)



授業内での学習支援

## (2) 図書室運営及び図書環境向上の支援

## 平日の図書室の開館、閉館業務の支援と生徒の見守り

## 図書ボランティア定例会

- ・ 月1回、学校司書の勤務日に開催
- ・ 図書担当教員、学校司書、図書ボランティアが参加
- ・ 図書、書架の整理、飾り物の制作と図書の廃棄作業



チャレンジタイムでの学習支援

## (3) 地域に貢献する甲中生の育成の支援

## 青少対活動への参加

- ・ 健全育成標語 ・ クリーン大作戦 ・ 小さな冬の音楽会

## 吹奏楽部の福祉施設訪問

- ・ 蒲公英組(ハンドベルのボランティア団体)と  
コラボした福祉施設での演奏活動

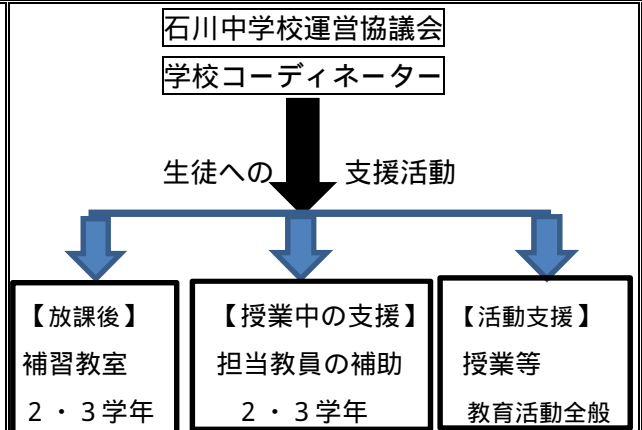


図書ボランティア：書籍の廃棄作業

## 活動の目的・概要

本校の教育方針に基づいた、学力の優劣や発達障害の有無にかかわらず、すべての生徒が『わかる・できる・楽しい』ことをめざす授業である「石川中 授業スタンダード」を実現するために、学校と地域が連携し、生徒への支援方法の一つとして「学習ボランティア」を充実するよう力を注いでいる。

授業・放課後の補習教室や校内研修会を参観や支援することにより生徒理解を通して教職員への助言を行っている。



## 活動の特徴・工夫

### 放課後の補習教室からの基礎学力の充実を目指す

平成29年度から、放課後の学習教室の充実を核として「学ぶことが楽しい」と感じることができるよう、基礎学力の定着を目指している。2・3学年の数学においては、週2日間（月・木）放課後学習教室を行っている。支援者は大学生、地域の方や学運協委員の方々をお願いして取り組んでいただいている。担当教員と共に教室に入り生徒たちの様子を共有し、石川中生への理解を深めている。

2・3学年では授業に入り、机間巡視や生徒への声掛け等、支援活動も行っている。支援者が入ることにより、生徒が安心して授業に取り組むことができる環境づくりの一助となっている。



### 授業等の参観における支援活動

校内研修会（平成30年度・令和元年度の研究主題は、「特別の教科 道徳」における言語活動の充実を通して）に参加し、授業参観後の協議会で助言を行っている。授業を参観することにより、現在の道徳授業への理解を深めるとともに、生徒の思考活動の様子を直接見ることで、教員への授業展開について活発な意見交換が可能となり、生徒の育成と教職員の指導力向上につながっている。

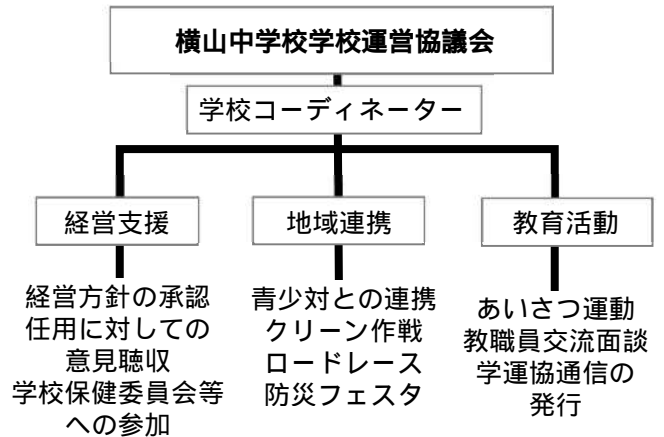


## 活動の目的・概要

運営目標 「地域の力を生かした学校づくり」  
横山中学校と保護者・地域の方が生徒の健やかな成長のために考え、話し合える環境作りに努める。

横山中学校が地域のコミュニティの中心となるように支援し、横山中学校の学校力、生徒育成力の向上を目指す。

学校運営協議会として学校・地域・保護者が一体となって多様な学校支援活動を行う仕組みを構築する。



## 活動の特徴・工夫

### 教職員との交流面談と授業参観

学校運営協議会委員と教職員との交流面談、学校運営協議会委員による授業参観を行っている。教職員から意見を聞いたり、授業参観をしたりすることで、学校の様子を知ることができて、具体的な支援策の策定・実施につながっている。



### 経営支援

学校保健委員会や修学旅行業者選定等で意見を出してもらっている。また、学習支援室への地域ボランティアの導入では、学校コーディネーターが地域人材の導入計画を立て、配置を行っている。



### 地域との連携

クリーン作戦（地域清掃活動）（7月）ロードレース大会（12月）等の青少対に関わる行事に協力して取り組んでいる。多くの地域の方にもボランティアとして参加していただき、中学生も地域の一員として活躍している。多くの生徒が参加することで、地域の活性化にもつながるとともに、学校と地域の協力関係を高めることにもつながっている。



## 活動の目的・概要

地域の将来を担う子どもたちを自らの手で育成するために、「生きる力」の基本となる学力向上を目的に、長房中学校生徒の自立した学習を支援する。

時間を掛け、「学習支援ボランティア」を募集し、PTAの協力や地域人材を導入し、本校の教育職員の負担を加重にすることなく、独自に実行できる範囲で放課後学習教室を開設している。

## 地域運営学校【長房中】

落ち着いた環境、落ち着いた生徒の授業態度の中で、生徒の基礎学力の定着と更なる学力の向上を目指す。

- ・基礎学力の定着と学習習慣の育成・・・支援部
- ・授業内容の改善、生徒の習熟度の向上・・・評価部
- ・挨拶や礼儀の徹底・・・・・・・・・・健全育成部

## 活動の特徴・工夫

### 放課後学習教室『まなび』の内容

- (1) 放課後、自学・自習する場所を学校が提供する。
- (2) 本校の実態に合わせて開室時間を決める。  
(17時00分閉室とする)
- (3) 自習教材は原則として各自が持参する。
- (4) 自習している時にいつでも質問ができるように、学生を中心としたの学習ボランティアをお願いする。  
放課後学習教室担当教員と連携して、個別の支援を行う。
- (5) 週1回の開室をする。(木曜日の予定)
- (6) 夏季休業中にも1週間程度開室し、1学期の復習などの支援を行う。



### 図書ボランティア・園芸ボランティアの内容

- (1) 学校コーディネーターを中心に、ボランティア活動の計画を立て、環境整備を行う。
- (2) 図書ボランティアは月1回程度、書庫整理、展示物作成等を行い、読書活動を推進する。
- (3) 園芸ボランティアは季節に応じて、花壇の整備、落ち葉掃き等で美化活動を推進する。



図書室装飾作り

## 活動の目的・概要

教育目標及び目指す学校像の「生徒や保護者、地域に信頼される学校」の実現を学校・家庭・地域の協働により達成する。

- 1 学校運営協議会を年9回実施する。また、協議会以外の取組にも積極的に活動し、青少対桐田地区委員会主催の行事にもすすんで協力する。学校・家庭・地域が連携し、心身ともに健康で社会に貢献する生徒を育てる。
- 2 地域の力を活用した多様な教育活動を推進するため、学校運営協議会が学校及び生徒を支える原動力となる。

## 活動の特徴・工夫

### 学校運営に関する協議

学校教育目標や経営方針について、校長が提示し、それについて協議した。

各学年主任や養護教諭からの報告を受け、学校運営についての意見交換を行った。

各行事に参加し、事後に意見・感想を共有し改善点等について協議した。

道徳地区公開講座に参加し、学校が取り組んでいる「命を大切にす教育」について意見交換を行った。

修学旅行、スキー移動教室の業者選定のためのプレゼンテーションに参加し、協議した。

### 地域のボランティアと連携した登校支援教室の運営

登校支援教室「ひだまり」の運営を行い、不登校生徒の居場所づくりや学習支援などを行った。「ひだまり」の運営を安定的に行うことができたことで、不登校生徒が引きこもりにならず、定期的に通学してくるきっかけとなった。また、「ひだまり」のボランティアが生徒の話し相手になったり、学習支援を行うことで、通常登校への橋渡しをできたケースもあった。

### 校内外の環境美化活動

学校の花壇整備を生徒とともにやり、明るい校内環境を作ることに努めた。また、入学式、卒業式の会場内外を花で飾り、生徒の入学・卒業を祝うムード作りをした。学校の中に花があることで、生徒、教職員の気持ちが和む要因となった。また、生徒が地域住民と協働して花壇の整備を行ったことで、地域やそこに住む人々に関心を向け、地域の一員としての意識をもたせることができた。



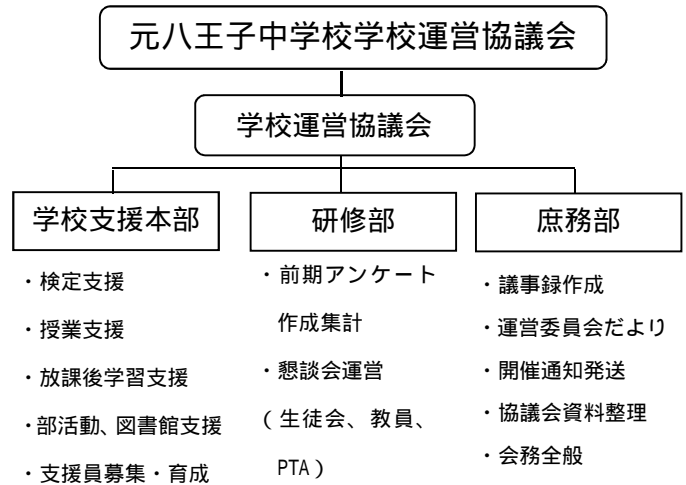
### 地域人材の発掘

スクールサポートスタッフや「ひだまり」のスタッフなど地域人材発掘をした。

## 活動の目的・概要

特色ある教育活動の実現に向けて、今までの取り組みを中心に一層の充実を図る。

- 生徒の学力向上のための学習支援として、各種検定試験の企画とサポートを実施する。
- 生徒、保護者及び地域との情報共有を図る。
- 地域とのかかわりを深める。特色ある教育活動の実現に向けて、今までの取組を中心に一層の充実を図る。



## 活動の特徴・工夫

**各種検定（漢字検定・英語検定・数学検定）のサポート**

地域・家庭で学ぶ機会を上げ、学習意欲の向上を図るため各種検定試験を実施している。受検者は本校生徒だけでなく、近隣小学校の児童も対象としている。地域の方も受検できる機会を設けたことにより、親子での受検や卒業生の参加が見られた。学校運営協議会 学校支援本部を中心に、学校コーディネーターと連携を図り、学習協力ボランティアとして地域の方に入っ

- ・ 漢字検定試験・・・年間3回（7、11、2月実施）
- ・ 英語検定試験・・・年間3回（5、10、1月実施）
- ・ 数学検定試験・・・年間1回（10月実施）

**○放課後学習サポート教室**

年間18回の放課後学習サポート教室に、地域の方のボランティアを活用し、生徒の学習意欲の向上や基礎学力の定着を図った。

生徒は約1時間、自分の学習したい教科をボランティアの方に質問しながら、宿題等を進めた。  
( 延べ72名の生徒が参加 )

**学校運営協議会だよりの発行**

学校運営協議会の取り組みの内容について、保護者や地域の方に周知し、学校の教育活動に協力するために学校運営協議会だよりを学期に1回発行した。また、学校運営協議会主催で保護者アンケートを実施し、学校と保護者とで、現在抱えている課題に対する必要な取組みについて共有することができた。

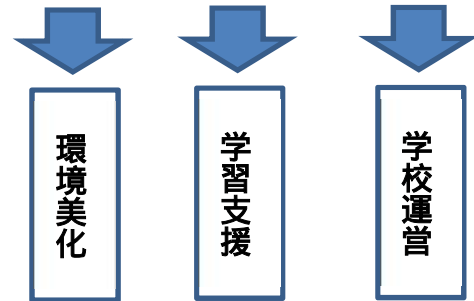




## 活動の目的・概要

1. 学校運営協議会を年6回開き、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。
2. 「学力向上」を基本方針とし、学校運営協議会として協議を行う。
3. 教職員の勤務負担軽減への地域協力の在り方について検討していく。
4. 小中連携を推進する。

### 四谷中学校学校運営協議会



## 活動の特徴・工夫

### 学校運営に関する協議

基礎学力未定着生徒への対応について協議した。

四谷中におけるいじめの実態と対応について協議した。

地域全体での健全育成について具体策について協議した。

学校運営協議会を開催する際には、生徒の活動を必ず参観してもらい生徒の実態に基づいて協議を行っている。

### 地域のボランティアと連携した放課後補習教室の運営

外部人材を活用した授業サポートや放課後学習教室を実施しており、一斉授業では学習内容の定着が困難な生徒たちに対し、個別指導や少人数指導の学習形態で丁寧に学習支援を行っている。また、大学生ボランティアを数多く採用し、個別指導や少人数指導に適した「学習室」を学年ごとに設置したことで、放課後学習教室に参加希望をする生徒が確実に増加している。また、学運協で力を入れている漢字検定や英語検定の受検者が確実に増えている。

### 校内外の環境美化活動

学校運営協議会を設置してから、恒常的な取組として「学校花壇の整備」を毎月定期的に行っている。雑草で荒れ放題だった花壇が、今では一年中花が咲くようになった。生徒たちが優しい心で学校生活を過ごすためには、「まずは環境美化」と考え、学校運営協議会最初の取組として始められた。特に入学式や卒業式に向けては、たくさんの花で学校が飾られている。生徒たちは登下校時だけでなく、教室の窓から美しい花・可愛らしい花を見ながら学校生活を送ることができている。

### 地域人材の発掘

学習を支援してくれるボランティアの確保が難しい。

## 活動の目的・概要

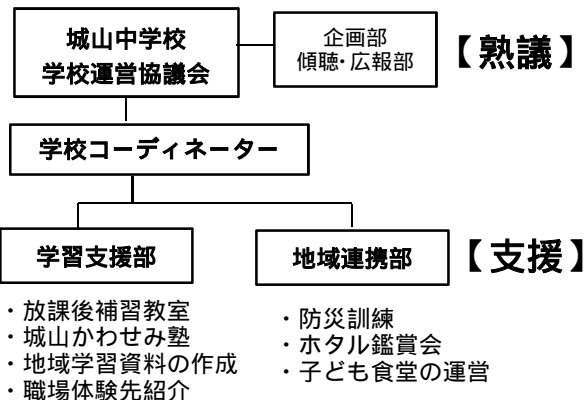
活動目標：「生徒・教職員の支援」

概要：地域の将来を担う子どもたちは学校（小学校を含む）・家庭・地域が連携して育てていかなければならない。

そのために必要な学校支援活動を行う。

学校運営協議会の基本方針

- ・城山小学校の学運協と連携した活動を推進する。
- ・不登校や問題行動生徒の支援を行う。
- ・教職員の負担を減らすための方策を提案し、支援する。
- ・快適な学び舎にするための環境整備を推進・支援する。
- ・地域の情報や要望を学校に伝える。



## 活動の特徴・工夫

### 小中合同学校運営協議会の開催

城山小学校とは小中一貫教育で繋がっているため、学校運営協議会も連携した活動を行っている。委員は小中兼務5名、小学校5名、中学校5名で、各学期1回年間3回合同協議会を開催している。また、中学校単独では4回協議会を開催している。

生徒の家庭生活は本来「保護者を含めた地域の責任であり、学校の責任ではない」という明確な考え方の下、学校運営協議会を開き、学校・家庭・地域が連携した学校づくりを推進する。

### 不登校生徒の居場所「城山かわせみ塾の運営」

- ・不登校の生徒については担任・校長・保護者と情報の共有を図り、学運協が運営を主導している城山かわせみ塾を紹介する。
- ・令和3年度は4名の生徒が利用し、ひきこもり生活をある程度解消することができた。先駆的な取り組みとして今後も継続して運営していく。

### 教職員の負担軽減策の実施

- ・ホームページの更新支援ならびに学校要覧の改版支援（パソコンで編集し、庁内印刷で費用節減をはかる）。

### 元八王子地域学習総合マップの活用

地域学習に資するため住民協議会に協力し制作した「地域学習総合マップ」を全教職員と学運協委員に配布した。特に新任の教職員が地域のことを理解するのに大変役立っている。

### 特記事項 コロナ禍における特徴的な取組

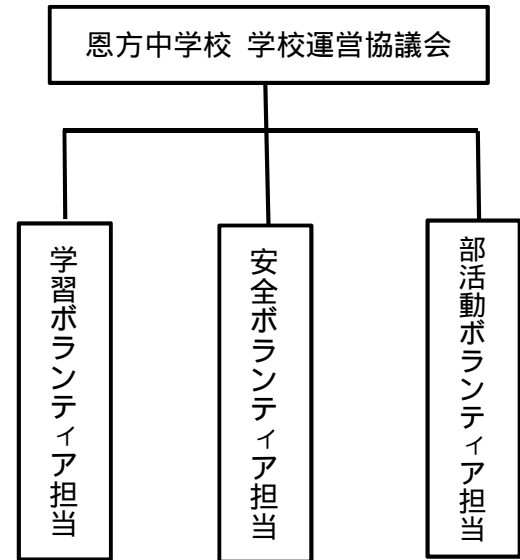
- ・会長宅がホストとなり Zoom オンライン会議システムを活用することにより予定した会議7回をすべて実施し、新型コロナウイルスの感染を防ぎ、充実した協議を行うことができた。



## 活動の目的・概要

「地域に根差した学校」としての教育活動に参画し、地域力を活用して「生きる力」を育成するために、地域との橋渡しを行う。

- ・教育活動への参画
  - 「教育課題」への対応策の協議
  - 「学校行事」への積極的な参加
  - 「放課後基礎教室」「英語・漢字検定」の実施
  - 「福祉体験」受け入れ施設の紹介と調整
- ・環境整備の推進
  - 「夏休み環境整備」の実施
- ・地域との関わり
  - 「地域行事」への積極的な参加
  - 「学校運営協議会だより」の発行



## 活動の特徴・工夫

### 放課後基礎教室

本校の課題である学力向上への対応として、平成27年度から実施している。水曜日の放課後に定期開催、定期テスト前に特別開催として、基礎・基本の定着を目的とした補習学習を行う。地域人材の活用により、個に応じた少人数指導を実現している。また、長期休業期間中には「夏休み（春休み）基礎教室」として、補習学習を実施している。特に、夏休み基礎教室では、教員と協働運営をすることで活動を充実させることができている。さらに、漢字検定や英語検定を主催して実施し、リスニングや面接指導などの検定対策講座を実施して、合格者を多数出している。学区内小学校と連携を図り、小学生の英語検定受検生も受け入れている。



### 夏休み環境整備

より良い教育環境をつくることを目的として、平成27年度から実施している。夏季休業中、普段は十分に取り組むことができていない場所（体育館や特別教室等）の清掃を重点的に行っている。教員・生徒・PTA・地域との協働により、活動に対しての成就感や一体感を味わうことで、それぞれの立場における「愛校心」の醸成に結びついている。



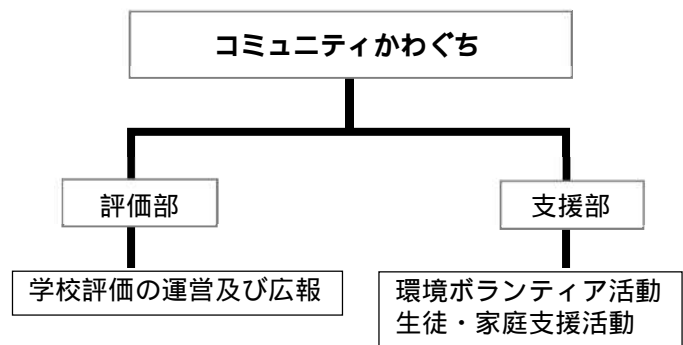
### コロナ禍における特徴的な取組

三密に十分気をつけながら英語検定・漢字検定に対する取り組みを継続させた。コロナ禍にあっても、決して「学びを止めない」という気構えは大切にしつつ、感染症防止には十分な対策を講じ続けてきた。今後も基礎学力の定着を図る「放課後基礎教室」と「英検・漢検対策」は活動の根幹に据えていく。また新任、転任教員に対する地域巡検も再開させ、特色ある恩方地域の伝統、文化をより浸透させていきたい。

## 活動の目的・概要

生徒の教育に関わる支援の充実に重点を置き、年間6回の学校運営協議会(会議)を行うほか、委員は公開授業や学校行事等へ積極的に参加する。

各部に分かれ、支援部・教養部の活動を通して、「コミュニティかわぐち」の認知度を上げ、評価部においては年2回の学校評価アンケート結果を集計・考察し、大人に見守られた穏やかで落ち着いた学校づくりを推進する。



## 活動の特徴・工夫

### 定例会、公開授業・学校行事等への参加

定例会は年6回実施。他にも学校公開をはじめ、体育大会では学校運営協議会会長が表彰する場面を設けるなど、様々な学校行事に積極的に参観し、学校経営方針や生徒の様子、課題等について意見を交わしている。コロナ禍の行事の実施など、学校運営協議会への説明・承認をおこない、学びを止めない活動が実施できた。

### 教養講座

平成26年度から講座を開設し、平日に地域の方が楽しみながら活動する場所を提供している。展示会に生徒とともに出品するなど、地域の方と生徒との交流を図っている。

竹クラブ竹細工教室の参加者の皆様が制作してくださった一輪挿しを校舎内の各教室の入口に飾ったり、ミニ門松を玄関に飾るなど、美しい教育環境の提供にも寄与している。

#### 【開設講座(令和3年度)】

火曜日：囲碁教室 <ふるさと学習室>

水曜日：竹クラブ竹細工教室<地域の部屋>

(金曜は地域人材がふるさと学習室を生徒に開放)



### 支援部(フラワーサークル、学習支援、標準服リサイクル)

生徒が花のある環境のもと、落ち着いて学習に取り組む学校を目指して、フラワーサークル活動として、春・夏・秋・冬の4回、花の植え替えを行っている。12月に青少年対策地区委員会主催で行われる地域清掃には、生徒がボランティアも参加しており、その際にも花植え活動を実施している。

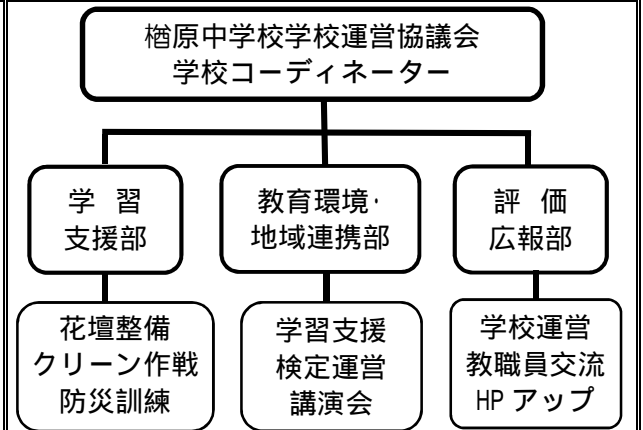
生徒・家庭への支援活動として、英検の実施や標準服等のリサイクル活動を行っている。年3回の英検では、延べ60人の生徒が受験している。

### 評価部(学校評価)

前期と後期の年2回、学校評価アンケートを行い、学校経営に生かしている。集計・考察の結果は、学校だよりに掲載し、地域や保護者に周知している。

## 活動の目的・概要

- 教職員と保護者や地域住民等、お互いの意向を適切に把握する機会を積極的に設定し、情報共有を一層進め、学校支援体制を強化する。
- 学力向上について教職員との情報共有・協働を図り、漢検や数検等の各種検定や補習教室の運営などの取組の定着と活性化を図る。地域の学校運営への参画・教育活動への支援等、様々な取組を通して、義務教育9年間の生徒の健やかな成長・発達、「人間力」「社会力」の育成を目指す。



## 活動の特徴・工夫

### 学校運営に関する協議

令和3年度学校経営方針・計画の教育目標を達成するための基本方針として示した

#### 【目指す学校像】

「生徒が喜んで登校し、教職員が生き生きと勤務し、保護者や地域に愛される学校」の具現化についての協議

学校評価アンケート等を踏まえ、学校・地域における課題とその解決策についての協議

### 地域のボランティアと連携した検定等の運営

ボランティアを活用して、特別な支援が必要な生徒に寄り添い、教育活動を支える。また漢字検定や数学検定等の各種検定、放課後の補習教室の運営などの継続的な活動

学校環境整備について、青少年対策地区委員会やPTAとの連携による年3回の挨拶運動や地域清掃、校内花壇整備の取組



漢字検定監督



花壇整備

### コロナ禍における特徴的な取組

新型コロナウイルス感染症のため、様々な学校行事等が延期や縮小となったが、基本的にはすべて実施できたため、道徳授業地区公開講座や体育大会、合唱コンクール等の行事に参加し、必要な支援や助言をした。八王子市版GIGAスクール構想の下、学校の取組の進捗状況を確認し、必要に応じて支援や助言を行った。

コロナ禍でも学校環境整備について、青少年対策地区委員会やPTAとの連携による校内花壇整備は計画どおり実施できた。



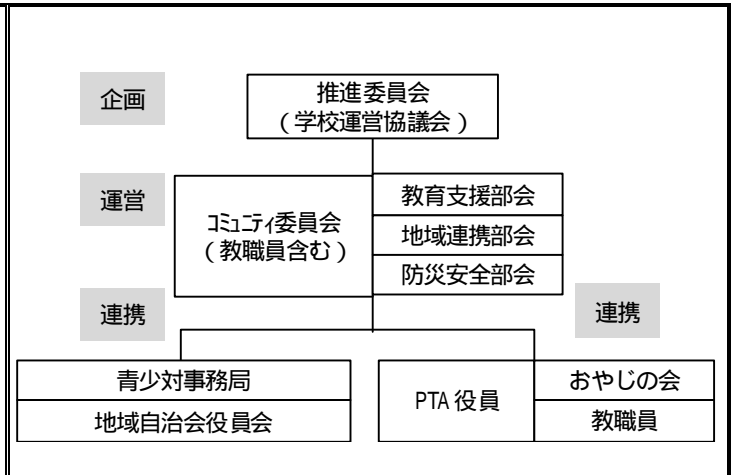
オンライン体育

## 活動の目的・概要

学習を支援する取組（各教科・放課後学習教室）  
地域連携と大学連携について強化。2つを連携することで構築させ、生徒へのきめ細かな学習を展開する。

地域行事や地域美化活動における主体的な役割を担えるように、具体的活動目標と達成基準を設定して地域活動に参加する。

年2回～3回行う防災訓練（避難所受付炊き出し訓練）を通して地域の連携する力を強化する。



## 活動の特徴・工夫

### 高尾山校外学習(1年)

地域の自然環境を活かした生物多様性に関する学習を推進するため、高尾599ミュージアムやビジターセンターを利用し、校外学習を実施。事前学習では、1人1台の学習用端末を利用して、調べ学習を行い、発表する活動を行い、生徒の課題設定能力やまとめる力、わかりやく発表する力を育てた。

本学習を実施するために作成した「高尾山フィールド調査」冊子を片手に、行きは珍しい植物について調べたり、ムササビが食べた葉っぱを見つけるなど動植物の観察、帰りは外国から観光で来られた方へミシュラン三ツ星の高尾山の魅力を伝えるため、参道の途中にある名所を英語で紹介する取り組みを行っている。自然豊かな八王子市の宝である高尾山の生態系を調べることや、諸外国の方々へ名勝を説明する取組を行うことで、理科教育(ESD)、英語教育・日本の伝統であるおもてなし教育(オリンピック・パラリンピック教育)につながる効果的な学習を展開している。また、生徒は外国の方との交流の中で、英語が通じたときの喜びは、今後の学習につながるきっかけとなっている。

### 放課後学習教室

地域の方や学生サポーターに協力をいただき、放課後の学習教室を開催。前期・後期各10回程度をベースに実施している。本校教員が作成したプリントや東京ベーシック・ドリル、iPadを活用した漢検・英検に向けた学習など、一斉指導を取入れた少人数学習を展開している。

地域の方には、青少年健全育成指導員の方も含まれ、多くの生徒と触れ合うことで、成長を感じとっている。また、生徒との接点も多いことから、話をしていく中で困ったことを察知し、相談できる関係が築かれている。

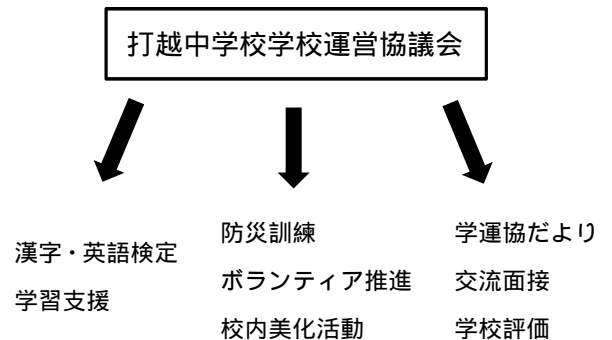
### 防災訓練(避難所受付炊き出し訓練)

青少年対策由井西地区委員会、PTA、GSO(おやじの会)、学校運営協議会が連携し、受付、炊き出しについて詳細に分担し、災害があった場合に備えている。



## 活動の目的・概要

「共に学ぶ、人に優しい学校」を目指して、生徒の学習、教育環境、防災等、多方向から、生徒の活動を支え、学校、家庭、地域が協働する体制づくりを行う。学校と共に、家庭、地域が連携し、学び合う学校づくりを推進する。  
打越中学校区の小学校との連携を図る。



## 活動の特徴・工夫

### 地域と連携した総合防災訓練の実施

これまで、各町会自治会、学校と個々に防災訓練を行ってきたが、平成30年度より、学校と地域が連携した総合防災訓練「地域と共に・打越中防災フェスタ」を実施。学校と学校運営協議会が主体となり、各町会自治会、青少対由井東地区委員会、打越中学校区の小学校、PTA、関係各機関が連携して行っている。

中学生の防災意識を高めるとともに、地域の方と一緒に訓練を行い、交流を深めることで、地域の一員であることの自覚を促し、万が一の災害時に中学生が少しでも地域の力となれるようにすることをねらいとし、この取組を企画・実施している。



<防災訓練に参加>

### 漢字・英語・数学検定の実施

学校運営協議会の主催で漢字検定、英語検定、数学検定を実施している。また、年に1回、由井第一小学校と合同で漢字検定を実施している。

### 学習支援

授業の学習や実技教科の実習、放課後補習の人材支援を行っている。

### ボランティア活動の推進

平成29年度より、ボランティアカードを導入し、地域の行事や活動への打越中学生の積極的な参加を促している。生徒の地域貢献に対する意識も高まり、地域ボランティアへの参加も増えてきた。

### 学校環境整備

学習環境の整備に向けて、PTAとも協力し、学校花壇の手入れや傷んだ教室壁面のペンキ塗りを実施。



<クリーン活動>

### 評価活動

学校生活アンケートやいじめアンケート等の各種アンケート、学校評価等を分析し、課題や成果の確認を行うことで、学校改善に向けて協議を行う。また、各学年の学力調査の結果を分析し、生徒の学力の達成状況を把握することで、課題や改善点を整理する。

## 活動の目的・概要

学校目標の実現に向けて、地域力を学校経営に取入れ、地域との協働で子どもを育てる学校づくりを推進する。

学校運営に関して協議し、学校の運営、管理、改革などの審議、提案、実施を推進する。(地域住民が積極的に学校運営に関わる地域運営学校の実現を目指す。)

学校と地域が子どものために、ともに考え、手を携え、支援する体制を構築する。(地域力を活かし、学校支援を行う地域運営学校を目指す。)

### 浅川中学校学校運営協議会『まなびの杜 あさかわ』

学校評価部

総務部

学校支援部

学校評価 情報発信 各種能力検定 地域の部屋  
授業評価 生徒会と連携 あさかわ支援の会と連携

学校支援コーディネーター

#### あさかわ支援の会

- ・授業支援
- ・学習支援
- ・施設、環境整備
- ・部活動支援
- ・図書支援
- ・行事支援 など

## 活動の特徴・工夫

### 学校評価部

学校評価部が主体となり、年間2回、「学校評価アンケート」と「授業評価」を実施している。「学校評価アンケート」は、保護者、生徒、教職員、地域住民(年間2回)を対象に実施、集計し、学校運営協議会が推薦した評価委員により分析、提言を校長に行い、校長の学校経営を支援している。

### 総務部

学校運営協議会の活動を地域に知ってもらうため、学校運営協議会だよりの発行や学校運営協議会で協議した議事をHPへ掲載している。また、部活動支援プロジェクトとしてパンフレットを作成し、学区の小学生への配布や地域住民へのPRにも役立てている。その他にも、年間3回の小中合同のあいさつ運動や生徒会役員との懇談会等を実施している。さらに、令和元年度からは、地域の部屋等を整備し、地域の方による教養講座や健康体操等の活動を行っている。学校の敷居を低くする取組である。

### 学校支援部

活動ごとに約60名、述べ約100名でボランティア活動を実施。学校の要望に応えるため、学校コーディネーターが中心となり活動。幅広く活動を展開しており、これらの活動は、生徒や教職員から好評で、地域の方が毎日来校する学校の実現に寄与している。主な活動は以下のとおり。

- ・家庭科や技術科の実習時の補助や支援
- ・放課後の数学と英語の学習支援
- ・年間2回開催する漢字検定・英語検定の実施。
- ・図書ボランティア
- ・学校林「栗山」の整備
- ・環境教育支援「林をつくるコミュニティー」
- ・花壇の手入れ「花のうらおいボランティア」
- ・行事支援ボランティア など

ボランティアの声：生徒に「ありがとう！」と言われると、やってよかったなと思います。生徒の笑顔を見ると、うれしくなり、頑張ろうと思います。



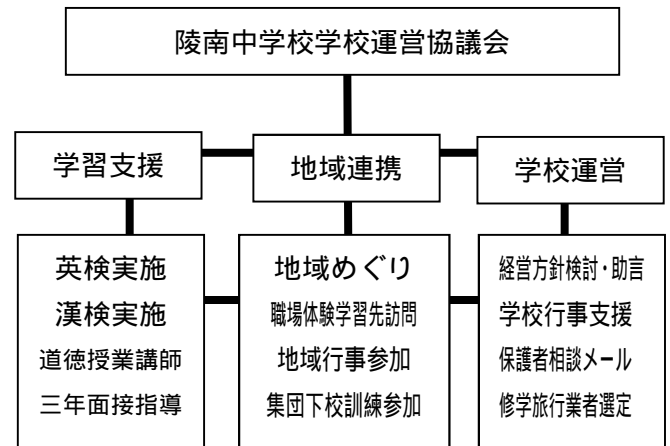


## 活動の目的・概要

教育目標の「みずから学び工夫し 思いやりの心を持ち 体を鍛える生徒」を学校・家庭・地域の協働により達成していく。

年間11回の学校運営協議会での協議を通じ、学校と家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。

年間行動目標を「生徒が誇りに思える学校づくり」とし、学校運営協議会として協議を行う。



## 活動の特徴・工夫

### 3年面接指導

本校では、進路の選択を目前にひかえた3年生全生徒に対し、学校運営協議会委員と教員がペアを組み、面接指導を継続して実施している。管理職による面接指導は、各中学校で一般的に実施されているが、教員以外が面接担当者となって面接を実施することは稀で、本校の学校運営協議会の活動の大きな特色の一つとなっている。手順としては、12月初旬、学年教員による面接の心得に関する指導があり、生徒は、面接に関しての事前質問用紙を記入する。それをもとに学校管理職が面接を実施し、その結果をもとに個別指導を行う。その後、年が明けた1月中旬、生徒は学校運営協議会委員を交えた面接指導に臨むこととなる。このことに関しては、以下のような効果が期待できる。

- (1) 3年生は、教員以外の人物の面接指導を通し、より本番に近い緊張感のある面接を体験できる。
- (2) 学校運営協議会委員が、直に生徒と対面することにより、学校状況をよりの確に把握できる。
- (3) 学校運営協議会委員と教員が協力して面接指導を実施することにより、双方の連携が深まり、協働で学校づくりを進めるための意識の高揚を図ることができる。

上記のような観点から、今後もこの取組を継続していきたい所存である。

### 陵南中学校「ふれあいプロジェクト」の支援

本校では、陵南中「ふれあいプロジェクト(放課後の地域有志との活動)」を、全面的に学校運営協議会として支援している。活動内容は「花づくりの会」「陵南翼太鼓」「空手の会」の三団体で、委員のメンバーも指導者として中心になり、直接生徒と交流を持ち、地域と学校の協働体制の強化につなげている。

「花づくりの会」は、放課後に、有志の生徒と年齢層の幅広い地域住民のボランティアを中心にして、花壇をはじめとした校内美化を推進し、生徒と地域住民とのコミュニケーションを図り、生徒の健全育成を図っている。

「陵南翼太鼓」「空手の会」も、夕方の地域への施設開放の時間を利用し、週1回の活動を実施している。こちらは、生徒の希望者や、小学生の希望者等を集め、地域の専門家が指導を行っている。異年齢集団とのコミュニケーションや、児童・生徒の居場所づくりに一役買っている。



## 活動の目的・概要

教育目標の「豊かな心をもち優しく強い人、心身の健康に努め夢と志を抱く人、向上心と主体性に富み共に学ぶ人」を学校や地域の協働により達成を目指す。

学校運営協議会を年11回行い、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。

年間行動目標を「学力向上」とし、学校運営協議会として協議を行う。

### 由木中学校学校運営協議会

#### 4つの部会

広報活動	環境美化	読書活動	教育支援
地域人材の活用による 広報活動の 推進	地域人材の活用による 環境整備の 推進	地域人材の活用による 図書活動の 推進	地域人材の活用による 学習支援の 推進
広報活動 ボランティア	花壇整備 ボランティア	読書活動 ボランティア	補習学習 ボランティア

## 活動の特徴・工夫

### 放課後楽習会（教育支援部会）

平成28年度から始まった本活動は、毎週水曜日の放課後に教室を利用して生徒の勉強会を行っている。学校運営協議会を中心に教員だけでなく、学習ボランティアとして地域の方や大学生に入っただき、数学や英語等の基礎学習を中心に授業の補習や宿題などの学習サポートを行っている。

「楽習会」の名称通り、強制的な勉強会でなく「楽しい場所と時間」となるように、生徒・教員・地域の方がコミュニケーションを取りながら活動している。



### ビブリオバトル（読書活動部会）

ビブリオバトルとは決められた時間内に本を紹介し合う競技のことで、放課後の学校図書館を活用し、年間3回程度開催している。より本に親しむ態度を育て、読書活動を活性化させるとともに、発表する体験を通して自分に自信をつけてもらうことをねらいとしている。

ビブリオバトルをきっかけに学校図書館に足を運んでくれる生徒も増加している。



### 花いっぱいプロジェクト（環境美化部会）

校庭にある11か所の花壇に、春に花開く球根と花を生徒・保護者・地域の方が共同で植える活動。毎年10月～11月に行っている。

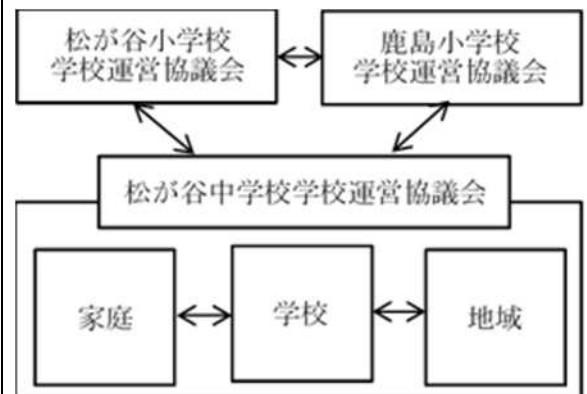
1つの花壇で一緒に作業し、コミュニケーションをとることを目的としている。日常の水やりや整備は生徒会やPTAで行っている。



## 活動の目的・概要

教育目標である「進んで学びよく考える人・正義を愛し心の豊かな人・体を鍛え健康な人」の達成に向けて、学校・家庭・地域の連携、協力を推進する。

- 1 年間目標を「地域の力を活用した連携活動」とし、学校運営協議会で活動内容を検討する。
- 2 小中一貫教育推進のために、3校合同学校運営協議会を実施し、地域にある幼稚園・保育園、小学校、高等学校・大学との連携活動を推進する。



## 活動の特徴・工夫

### あいさつ運動

本校の特色として「あいさつ」があげられ、学校を訪れた方々からは、「中学生がよくあいさつをしてくれる。」と評価をいただいている。学校運営協議会としても、この特色を生かすために、毎年11月に青少年対策松が谷地区委員会が実施している「あいさつ運動」に参加・協力している。中学校では、11月を「あいさつ月間」として、「地域の中でも小学生や知っている大人の方に積極的にあいさつしよう。」をスローガンに取組を展開している。



### 鹿島・松が谷あいさついっぱい歌

地域の方が作ってくださった「鹿島・松が谷あいさついっぱいの歌」がある。コロナウイルス感染症予防の観点から、地域で披露する機会がなかなかないのが悩みである。

### 花いっぱい運動

毎年3月に、卒業・入学に向けて青少年対策松が谷地区委員会が実施している「花いっぱい運動」に参加・協力している。中学校では、園芸部がプランターに花を植え、校内に配置する活動を展開している。



### 3校合同学校運営協議会

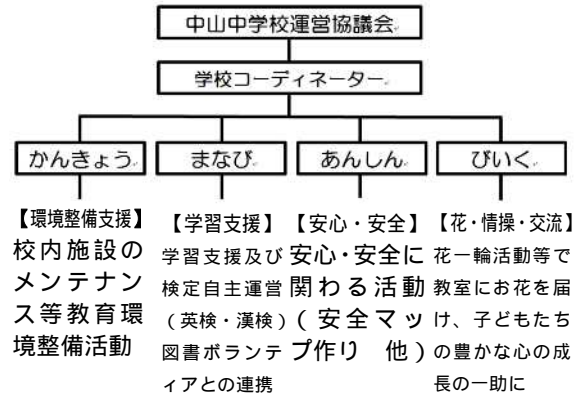
地域の特色を生かした教育活動の展開・小中一貫教育の推進を図るため、近隣の小学校の学校運営協議会と3校合同学校運営協議会を開催している。

### 地域人材の発掘

学校運営協議会と学校コーディネーターが連携し、地域人材を発掘することで、学習支援や体験活動等をはじめとした、教育活動の充実を図っている。

## 活動の目的・概要

中山中学校区学校運営協議会が「共に育てる」という理念で連携し、地域とつながる学校づくりを推進  
 学校・家庭・地域の連携・協働による学校の活性化  
 「目指す学校」実現に向けた学校支援体制の構築  
 「地域運営学校」を基盤とした特色ある小中一貫教育の推進  
 P T A 杉の沢会と連携した、生徒のより良い成長の支援



## 活動の特徴・工夫

学校運営協議会の開催

月1回、学校運営協議会を開催し、学期に1回3校合同学校運営協議会を開催。

「花一輪の活動」

平成25年度から花をとおして心を癒し、情操を高めて欲しいとの願いから活動を開始。月に一度、地域の方から花をいただき、各教室、職員室、保健室、校長室、応接室に花を届けている。



花一輪の活動

地域と連携した「環境整備」の実施

石碑と花で飾られた花壇の一つである「希望の丘」を中心に校庭に点在するいくつかの花壇の整備。（年4回、本校の「ボランティア部」、P T Aである「杉の沢会」と共同して、草取り、種や苗の植え付けを行った。



環境整備

「英語検定」「漢字検定」の自主運営

学校運営協議会の主催で地域の方の支援をいただき、「英語検定」「漢字検定」をそれぞれ年間2回実施している。これまで漢字検定は中山小学校の児童も本校に来て行っていたが、令和3年度はコロナ感染症予防のため、会場を小学校、中学校に分けて行った。



環境整備

## 活動の目的・概要

目標：地域の力を生かした学校づくり

- ・地域の学校としての南大沢中学校づくりを進める。
- ・学校運営協議会の活動を学校教育に生かす。
- ・学校ボランティアや学校サポーター、学生ボランティア等の人材を確保する。

## 南大沢中学校学校運営協議会

おはようコミュニ  
ケーション係

しゃべってみ  
よう係

コミュニティ・  
スクール通信係

おはようコミュニ  
ケーション活動の  
調整・運営

しゃべってみよ  
うの企画・運営

コミュニティ・  
スクール通信の作成

学校の教育活動の見守り、支援、参加・協力  
学校の教育活動の報告、地域と学校をつなぐ

## 活動の特徴・工夫

学校運営に関する協議

月1回 18時30分から19時30分で開催（年10回開催）

活動内容

学校運営協議会の存在や取組内容について、保護者や地域の方に周知し、協力を仰ぐために、保護者会への参加に取組む。

勉強に対して不安を抱えている子どもたちの支援を充実させるために、地域人材を活用し、放課後補習や学習支援に取組む。

地域防災の取組内容を、生徒に周知し保護者、地域の方と協力し、地域防災の担い手を育成するため、体験型の学習を支援する。

講師派遣や関係団体との連絡調整

おはこみ、しゃべってみよう、コミュニティ・スクール通信

学校と地域、地域住民どうしのつながりを深めるため「おはこみ」(おはようコミュニケーション)を行う日を設け、校門周辺に生徒が立ち、学校の前を通る方たちにあいさつ運動を行い、生徒、教職員、地域住民の交流の場を設ける。

コミュニティ・スクール通信を南大沢小、柏木小、南大沢中合同で作成して、南大沢中学校区の地域の方に様々な情報を発信する。



おはようコミュニケーション

活動の特徴

各係は3校（南大沢中学校、柏木小学校、南大沢小学校）の学校運営協議会で共通して設け、連携し活動を行っている。

3校合同（南大沢中学校、柏木小学校、南大沢小学校）の学校運営協議会を定期的で開催している。

《特記事項》

「南大沢地域自主防災協議会」、「青少年対策南大沢地区委員会」と連携し防災教育を推進している。

## 活動の目的・概要

地域運営学校として、地域と学校の連携を強め、地域の中で子どもたちを育てる。

- (1) 学校の諸活動に対して、保護者・地域の方の協力体制を築く。
- (2) 地域行事に対して、中学生として積極的に参加させる。
- (3) 学校を通して、地域の活性化を図る。

本校では、様々な活動を、学校運営協議会、宮上中PTA、青少年対策宮上地区委員会と連携して実施している。学校運営協議会では、主に学校行事や活動内容について協議し、それぞれの担当が実際に動く組織とつなげるという形をとっており、学校運営協議会が学校と地域を結ぶ役割を果たしてきている。

## 活動の特徴・工夫

### 土曜学習教室

- ・平成26年度から実施。
- ・定期考査準備期間の土曜日午前中に教室を開放して学習教室を運営。
- ・生徒は、自主的に出席するかどうかを届け出る。
- ・教室の運営は、PTA学習支援部が行っている。
- ・毎回3～6名の学生ボランティアが学習補助を行っている。



- ・平成29年度から、学習が遅れている生徒対象の土曜補習教室に教員のサポートとして、学生に協力をいただいている。地域の大学生ボランティアや日常的に本校に来ている学生ボランティア、教職大学院で学んでいて本校で実習を予定している方に来ていただいている。

### その他の活動

- ・英検、漢検を学校にて実施（PTA学習支援部と連携）
- ・移動教室、修学旅行のプレゼンと業者選定
- ・学区小学校（宮上小、下柚木小）学校運営協議会との合同熟議（年3回）など
- ・学校博物館「みやかみミュージアム」の運営  
生徒や地域の方が作成した作品を常設展示する場所を開設し、保護者や地域の方が交流できる地域のコミュニティルームとして運営。

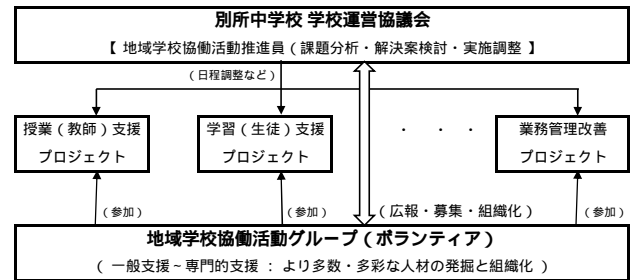
### コロナ禍における特徴的な取組

- ・令和2年度当初、学校休校期間中にオンラインホームルームを実施できるように支援を行った。今後もいち早い学校支援を目指している。

## 活動の目的・概要

○(新)学習指導要領に基づき計画される、学校経営計画の『方針と目標』を学校と共有し、地域の人材のリソース(知恵・工夫)を投入することで、目標の達成(課題解決)を効果的に実施する。

○上記の実現のため、地域の人材のリソースである地域学校協働活動グループの拡大と組織化を図る。



## 活動の内容・特徴

### ○学習支援プロジェクト

別所中学校の教育現場での重要課題と認識されている生徒の『学力の2極化』に対し、躓きのある『成績下位層』に対する『個別指導』を基本とする学習支援を実施している。

令和3年度(2021年度)は、長期休暇中\*1、放課後\*1、定期試験前\*2の計4回の学習教室を実施した(写真1参照)。

別所中学校が目指す『誰一人取り残すことのない公正に個別化された学びができる』学校像の実現のため、基本的な取り組みと位置づけている。また、令和2~3年度の実践を通じて、その目的達成の実感と実施効果を得ている。

### ○授業支援プロジェクト

現場教諭と検討し、より充実した授業の実現を目指し、**ALT**(Assistant Language Teacher)授業(写真2参照)および**英検二次試験練習**を請負い下記の特徴ある授業を実施している。ALTでは、

- ・英会話指導経験のある講師による授業
- ・海外勤務豊富なメンバー(講師)の経験逸話紹介  
グループ化した生徒の話し合いからの質問事項作成(別講師が支援し) 講師 生徒での質疑応答

英検二次試験練習では、先行する近隣松木中学校に学び、かつ、現役の英会話教師(講師)による面接練習

### 地域に潜在する人材の積極的な発掘

地区の諸団地、近隣のスーパーなどを通し、積極的に講師を募集し、30人超の多彩かつ知見豊富な講師陣での地域学校協働活動グループを実現している。



写真1

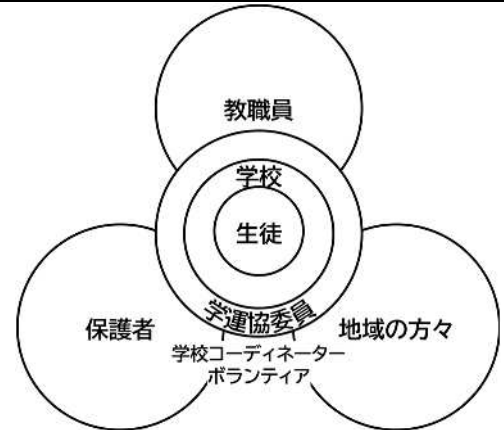


写真2

## 活動の目的・概要

学校運営協議会は地域で学校を応援するものと捉え、保護者や地域の方々、教職員の意見も取り入れて連携し、生徒たちがすこやかに成長できるよう、学びの機会を確保し、学校運営をサポートしながら見守っていきたくて考え活動している。

P T A、青少年対策地区委員会、学校コーディネーターなどと連携するだけでなく、大学生、地域の学習ボランティアや卒業生保護者の力も借り、小中一貫教育で連携する小学校2校の学校運営協議会とも合同の協議会を開催するなど、関係者を広く巻き込んで活動している。



## 活動の特徴・工夫

### 英語検定・漢字検定準会場実施と関連する学習教室開催

- 先生方の負担軽減のため、学校運営協議会が各検定協会に登録し、年2回ずつ、先生方の協力の下、案内配布から集金、検定実施まで担当している。また、学習ボランティアと先生方とに協力いただき、生徒が英検の学習や面接練習、漢検の学習に取り組む環境を放課後に設けている。案内は全生徒に配布し、保護者への一斉メールで周知している。この取組によって生徒の学習意欲が高まり、受検者数も合格者数も増加している。



英検学習教室

### 学校運営協議会だより「たぶの樹」発行

- 校樹タブノキの名前を冠したお便りを不定期で発行し、保護者や地域の方々に学校運営協議会の活動を周知し、情報共有を図っている。また、開校当初から地域に開かれた学校作りが推進され、あじさいがその象徴であることを、お便りで伝承している。今年度は教職員向けの特別版も発行し、教職員による学校運営協議会の認知向上に努めた。

### キャリア教育講演会

- 大学で高大連携を担当されている先生を講師にお招きし、卒業する3年生へ向けて「将来を考えた中学卒業後の過ごし方」と題した講演をいただいた。進学就職にかかわらず必要な知識や取り組み方などについて学んだ生徒たちからは質問も活発にあり、先の見えない時代に未来へ前進する支援になっている。3年生担任団にも好評だった。



キャリア教育講演会

### コロナ禍における特徴的な取組

- 英語検定・漢字検定の準会場実施にあたって、コロナ禍前は、卒業生保護者有志に入会してもらった「上中サポーターズクラブ」に協力を求めていたが、感染拡大防止のために学校運営協議会委員だけで実施した。

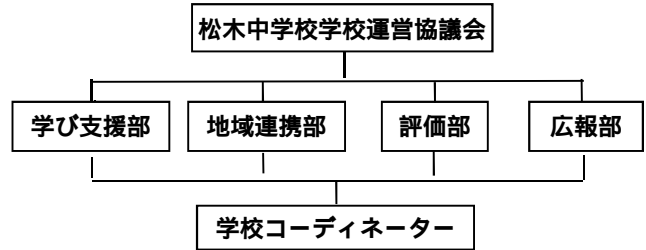


## 活動の目的・概要

地域の子どもである松木中学校の生徒を、学校運営協議会を中心に、PTA・おやじの会・青少年対策委員会・教職員・地域のNPO法人等の各種団体との連携を強化し、地域ぐるみで育てていく。

松木小学校・長池小学校・松木中学校3校の教育課程、子ども理解、学校行事、特別支援教育など教育活動全般にわたり連携を一層強力に推進し、地域の教育活動の活性化を図る。

地域に開かれた教育拠点としての役割を果たす。



協議会内に4つの部会を設置し、活動を分担して推進。松木小、長池小の各学校運営協議会でも同じ部会を設置し、3校合同学校運営協議会としての活動も展開している。

## 活動の特徴・工夫

### 教職員との面談

毎年9月には、協議会委員が全教職員から個別に聞き取りをする場を設け、改善したいことや問題点があればそれについて意見交換し、学校経営に反映している。

### 英語検定・漢字検定・数学検定

子どもたちの学習意欲を高めることは喫緊の課題であり、努力により少しずつ級が上がる喜びと達成感、そして受験にも役立つこれらの検定を、学び支援部会が主催している。各検定とも年1回ずつ学校を準会場として、地域支援スタッフの力をお借りして開催している。英検では、2次面接対策の勉強会も実施している。

### 夏休み・放課後学習教室

3年生を対象に、基礎・基本の復習を目的に、希望進路の実現も視野に入れながら学び支援部会が実施。令和3年度は、夏休みは実施できなかったが、放課後学習教室は10月～2月の間に毎週2回、生徒の自習を卒業生の大学生ボランティア・地域講師などが見守り、質問を受ける形で実施できた。

### 子育て応援講座の開催

保護者の皆さんの子育ての手助けになるように、子育ての先輩のお話を聞く研修会を開催した。

### 3校の連携

3校合同学校運営協議会を年2回開催し、学校運営協議会の本来の役割を考えるための研修会と、子どもの社会性を考える熟議を実施した。活動の内容を周知するために3校合同学校運営協議会だより Third place を発行し、HPを立ち上げた。

### 浄瑠璃祭り

地域の子どもたちにふるさとを作りたい...という思いから3校合同学校運営協議会が中心となり、青少対地区委員会と共催で、平成24年度から松木中学校を会場に始まった。開催することを3校の協議会で決定しPTAを含めた実行委員会で準備を進めていたが、新型コロナウイルスの感染状況により、中止を決断した。

### コロナ禍における特徴的な取組

感染防止のために、全ての協議会をオンラインまたはオンライン併用で実施した。保護者向けの子育て応援講座も対面参加とオンライン参加を選べる形で実施し、参加者を増やすことができた。

## 活動の目的・概要

学校・保護者・地域が協働して、教育目標「すすんで学び向上をめざす人（自学）共に助けあう思いやりのある人（共生）心身を鍛え最後までやり遂げる人（自立）」の実現を目指すとともに、ふるさと鑓水（八王子）を愛する子供を育てる。

- 1 学校運営協議会は、学力向上、子供の安全確保、学校・地域の環境美化、地域防災という3つの学校経営課題の改善に向けて、具体策の評価・改善・拡大などを一層推進する。
- 2 学校運営協議会は保護者・地域住民に活動を公表し、支援者の一層の拡大を図り、生徒会の自治活動とも連携し、地域で生徒の生きる力を育てる。

鑓水小中学校 学校運営協議会

鑓水中学校 学校運営協議会

学習支援部

安全環境美化部

広報部

## 活動の特徴・工夫

### 花いっぱい学校づくり

学校運営協議会、PTA、青少対、生徒ボランティア等が連携し校舎前の花壇の整備等、学校の環境整備を推進する取組

### クリーン作戦・落ち葉掃き清掃

学校運営協議会、生徒会役員、美化委員会が連携して、ボランティアの生徒を募集し、地域清掃、落ち葉掃き清掃を実施。地域の一員として、地域の環境整備を推進する取組

### 生徒たちのサポート

真夏日等において、スポーツドリンク等を生徒に配布し、暑い時期の熱中症対策を行う等、生徒たちをサポートする取組

### 補習教室の充実

学習サポートスタッフを募集して、定期考査前の一週間の学習支援を行う取組を学校運営協議会として企画したが、昨年度はコロナでやむを得ず休止となった。

### 学校運営協議会通信やりみずの発行

鑓水小学校の学校運営協議会とともに、広報活動を一本化し、学習支援部や安全環境美化部の具体的活動の様子や成果などを「学校運営協議会通信やりみず」として発行する取組

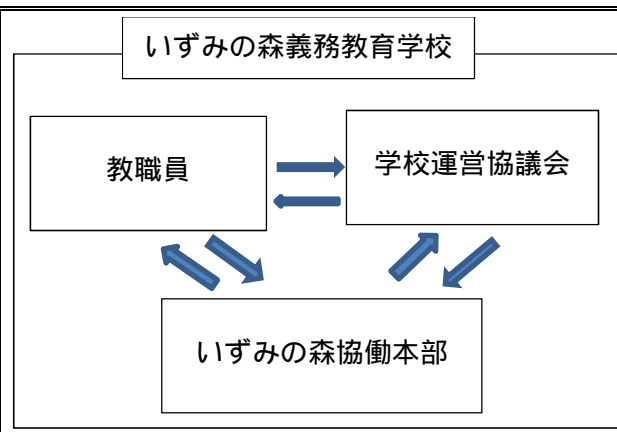
### 学校支援基金（やりみずっ子基金）の設立

学校支援活動資金を得るための基金の設立



## 活動の目的・概要

地域とともにある学校づくりを推進することで、本市初めての義務教育学校としての教育活動等の充実を図る。学校複合施設としての有効活用、いずみの森協働本部の活動やその可能性について協議するとともに、活動を通して模索する。



## 活動の特徴・工夫

### 地域とともにある学校づくりの推進

- ・ 地域との連携を深めていく上での課題や今後の取組についての協議
- ・ 学校運営協議会及びいずみの森協働本部の役割についての協議
- ・ 学校複合施設としての活動の企画・調整・運営についての協議

### 教育課程編成及び学校複合施設としての活動の企画・調整・運営についての在り方を検討

- ・ 学校を核とした地域防災体制の充実を図るために、学校と地域が連携した防災訓練の実施実現に向けた協議を継続している。
- ・ 地域コミュニティスペースの運営、活用の推進。地域協働本部と PTA 本部の共催で山梨大学教授を招いた子育てワークショップを年 3 回実施。地域住民と保護者の交流を深める機会となった。
- ・ 学校図書館関連事業の充実。地域ボランティアによる図書の貸出・返却、蔵書の整理が定着し、読書に親しみやすい環境が保たれている。
- ・ 地域協働本部主催によるクリスマスコンサートを開催。地域の音楽団体及び吹奏楽部、和太鼓部、音楽クラブの児童・生徒が出演。地域住民と児童・生徒が交流する機会となった。
- ・ 学校、保育園、学童保育所、町会、青少対、PTA、放課後子ども教室等、それぞれの活動・取組を一覧できるコミュニティ・カレンダーを作成した。

### 地域のボランティアと連携した学習支援

- ・ 学校コーディネーターを中心に地域ボランティアによる年間を通じた平日の学習支援を実施した。
- ・ 地域ボランティアによる漢字検定 3 回、英語検定 2 回、数学検定 1 回の運営を実施、各回 100 名前後の受検者に対応できた。
- ・ 長期休業時の学習支援として大学生を含む地域ボランティアが活動した。

### コロナ禍における特徴的な取組

- ・ コロナ禍で職業体験ができなかった 9 年生に対して職業学習を実施。地域人材を活用するため、地域協働本部が地域事業所等に働きかけた。多様な職種 13 名を講師として招くことができた。進路を考える生徒にとって貴重な機会となった。



地域運営学校 活動事例集  
令和3年度版  
令和4年(2022年)7月発行

(発行) 八王子市教育委員会  
(編集) 学校教育部地域教育推進課  
〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目24番1号  
TEL 042-620-7403 FAX 042-627-8811  
E-mail [b302300@city.hachioji.tokyo.jp](mailto:b302300@city.hachioji.tokyo.jp)  
URL <https://www.city.hachioji.tokyo.jp>